

中小企業庁
令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業
(展示会出展支援等を通じた事業化支援に
関する事業)

事業実施報告書

令和5年2月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

LIBERTAS
・ ・ ・ ・

目次

第1章 事業の目的・概要	1
1-1 目的	1
1-2 概要	1
第2章 事業実施結果	3
2-1 「中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展」開催概要の決定	3
2-2 運営事務局の設置	4
(1) 実施体制の整備	4
(2) 関係機関との連絡調整	4
(3) 専用回線の設置と運用	4
(4) 他の運営事務局との連携	4
2-3 WEBサイトの構築	5
(1) 専用WEBサイトの構築	5
(2) 専用WEBサイトの構成	5
(3) 専用WEBサイトの統一性	5
(4) 展示会専用Webサイト画面	6
2-4 出展者の募集・選定	15
(1) 出展者募集要項	15
(3) 出展物の内容	29
(4) 出展促進	29
(5) 出展者数	30
(6) 出展決定後の状況	32
2-5 出展者支援	33
(1) 出展者説明会	33
2-6 イベントの実施	48
(1) ピッチ発表の実施	48
(2) ビジネスマッチング及び商談の実施	50
(4) マッチングの仲介	50
(5) 商談件数	53
2-7 来場者募集（集客）	54
(1) 集客のための周知・広報	54
(2) 来場者数	55
2-8 会場設営・レイアウト・展示ブース設置	56

(1) 会場準備	56
(2) 会場設営	56
(3) レイアウト	56
(4) 展示ブースのスペック	57
(5) 基本設備に関する費用	58
2-9 会場運営	59
(1) 会場運営	59
(2) 来賓者への対応	59
(3) ガイドブック作成と配布	59
(4) 出展者名刺交換会	59
2-10 WEB 出展会場の運営	68
WEB 展示ブースのスペックは下記の通り。	68
2-11 出展者及び展示会来場者に対するアンケート調査	69
(1) 出展者アンケート集計結果	69
(2) 来場者アンケート集計結果	79
2-12 来年度以降の展示会の検討	90
(1) 調査概要	90
(2) 集計結果	91
参考資料	100
1. 会場写真	100

第1章 事業の目的・概要

1-1 目的

中小企業庁では、中小企業のものづくり基盤技術の高度化を通じて、我が国製造業の国際競争力の強化及び新たな産業の創出を図ることを目的に、中小企業・小規模事業者（以下「中小企業者等」という）が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う製品化に繋がる可能性の高い研究開発等の支援を戦略的基盤技術高度化支援事業（以下「サポイン事業」という）により実施してきた。また、中小企業者等が産学官や、異業種分野の事業者との連携を通じて行う新しいサービスモデルの開発等のうち、地域経済を支えるサービス産業の競争力強化につながる取組を支援する、商業・サービス競争力強化連携支援事業（以下「サビサポ事業」という）を実施してきた。本年度からはサポイン事業とサビサポ事業を統合し、成長型中小企業等研究開発支援事業（以下 Go-Tech 事業）を開始したため Go-Tech 事業の制度普及も必要としている。

「サポイン事業・サビサポ事業の成果の事業化を支援」「サポイン事業・サビサポ事業（Go-Tech 事業の関連中小企業者等・研究機関等間のコミュニティ拡大）」「Go-Tech 事業の制度普及」の3つを果たすため、展示会を行うことを本事業の目的とする。

Go-Tech 事業では、研究開発の支援だけでなく、事業終了後の販路開拓及び事業化促進までを支援の目的としているが、市場・川下企業的情勢変化等の多くの課題を抱えており、事業終了後のフォローアップ調査の結果によれば、必ずしも事業化まで至っている事業者は多くないのが現状である。

こうした背景を踏まえて、本事業は、補助事業の成果に係る販路開拓支援のための商談機会として、中小企業庁主催「中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展」（成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業（旧サポイン・サビサポ事業））成果展示・商談会）」（以下「中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展」と記す）を提供することにより、補助事業者の事業化促進に対する支援を実施した。

なお、「中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展」は、単独開催よりも来場者を増やし、商談・企業間連携・情報収集等で相乗効果を生み出すため、ものづくり補助事業展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」及び「新価値創造展 2022」と連携を行いつつ開催した。

1-2 概要

補助事業の成果に係る販路開拓支援のための商談機会を提供することにより、補助事業者の事業化促進に対する支援について、具体的に以下の（1）～（12）を実施した。

- （1）運営事務局の設置
- （2）WEBサイトの構築
- （3）出展者の募集・選定
- （4）出展者支援
- （5）イベントの実施

- (6) 来場者募集（集客）
- (7) 展示ブース設置
- (8) 会場設営・レイアウト
- (9) 会場運営
- (10) WEB 出展会場の運営
- (11) アンケート調査
- (12) 来年度以降の展示会の検討

第2章 事業実施結果

2-1 「中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展」開催概要の決定

開催概要は下記の通りとした。

- (1) 名称：「中小企業 研究開発 (サポイン・サビサポ) 展」
- (2) 日時：令和4年12月13日(火)～16日(金) (※13日は搬入・設営日)
- (3) 場所：東京ビックサイト 東8ホール
- (4) 出展料：無料
- (5) 入場料：無料
- (6) 主催：中小企業庁 / 共催：全国中小企業団体中央会
- (7) 備考：ものづくり補助事業展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」(全国中小企業団体中央会主催)及び、ビジネスマッチングイベント「新価値創造展 2022」(独立行政法人中小企業基盤整備機構主催)と同時開催。

2-2 運営事務局の設置

(1) 実施体制の整備

展示会運営事務局を設置し、業務全般に係る企画・調整・制作事務処理を行い、業務に必要な実施体制（ヘルプデスク等）を整備した。

(2) 関係機関との連絡調整

「中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展」専用の電話回線（03-6262-7678）・メールアドレス（jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp）を設置し、出展者や来場者からの問い合わせ対応、関係機関との連絡調整を行った。メールアドレスの取得については仕様書「情報セキュリティに関する事項」に従った。

(3) 専用回線の設置と運用

電話回線については、契約締結後に即時に設置し、10:00～17:00（土、日、祝日を除く）を稼働時間とした。また政府ドメイン（go.jp）の専用メールアドレスを設置し、出展者や来場者からの問合せ対応、関係機関との連絡調整を行った。

(4) 他の運営事務局との連携

中小企業庁及び連携先機関等との打ち合わせを適宜実施し、連携に関する調整・意思決定や相互の作業進捗状況の報告・確認等を行った。

特に、同時開催された、ものづくり補助事業展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」の主催者である全国中小企業団体中央会及び「新価値創造展 2022」の主催者である（独）中小企業基盤整備機構とは、開催までに複数回の合同会議を持ち、各展示会来場者の相互入場・受付方法、合同開会式への対応、政務官視察への対応方法、国会議員への案内状配付と視察時のアテンド方法等に関する協議・調整を行った。

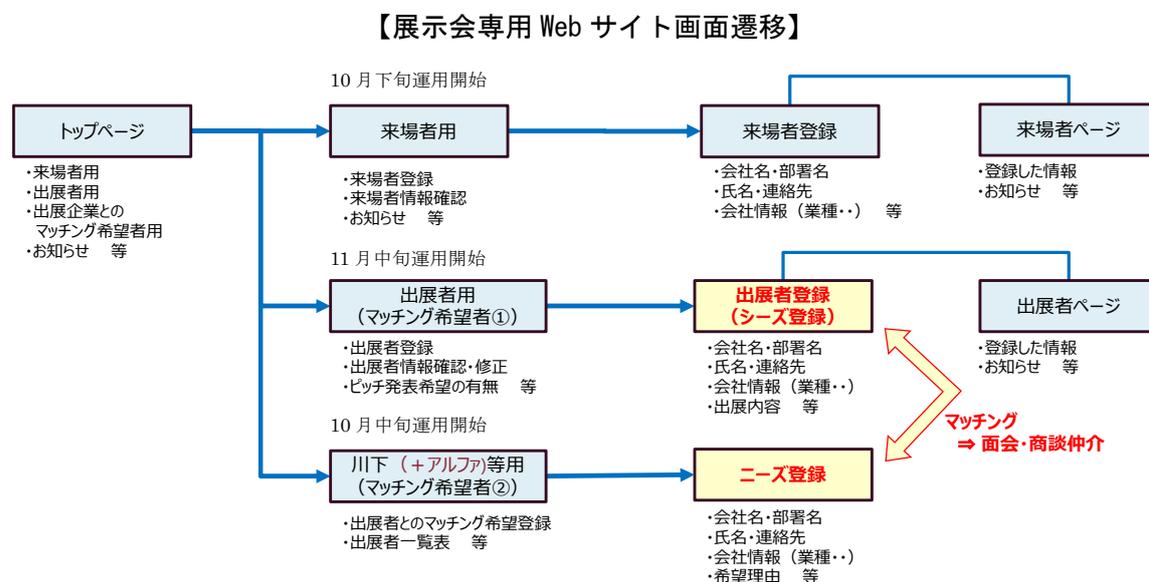
2-3 WEB サイトの構築

(1) 専用 WEB サイトの構築

本展示会専用の WEB サイト (<https://www.gotech-tenjikai.go.jp/>) を開設し、事業期間中に適宜、機能・コンテンツの更新・変更及びシステムメンテナンスを行った。WEB サイトの構築、運用に際しては、仕様書内の「9.セキュリティに関する事項」を遵守した。

(2) 専用 WEB サイトの構成

WEB サイトの構成・コンテンツは出展募集受付・ビジネスマッチング等の機能を有するものとした。特に、出展者紹介ページについては、ビジネスマッチング等に関する重要情報として詳細な情報を開示し、出展者（オンライン出展者を含む）、一般来場者、バイヤー企業等の WEB 閲覧者に訴求し、来場促進・ビジネスマッチング等の活性化を図るようにした。



(3) 専用 WEB サイトの統一性

WEB サイトのデザインイメージは、連携イベントである「中小企業 新ものづくり・新サービス展」サイト (<https://www.shin-monodukuri-shin-service.jp/>) を参考とし、一定の統一感が出るよう意識した。

(4) 展示会専用 Web サイト画面

① 展示会専用 Web サイト：トップページ画面

中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展

成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業(旧サポイン・サビサポ事業)) 成果展示・商談会

2022年12月14日(水)～16日(金) / 東京ビッグサイト東8ホール

(主催：中小企業庁、共催：全国中小企業団体中央会)

出展希望の方 **マッチング希望の方** **来場希望の方**

※メンテナンス日時 毎週日曜日・祝日：9:00～18:00 (サイトへのアクセスを停止させていただきます。)

② 出展登録 Web サイト：トップページ画面

中小企業 研究開発 (サポイン・サビサポ) 展
成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業(旧サポイン・サビサポ事業)) 成果展示・商談会

ログイン

ホーム 開催概要・会場 出展者一覧 特別企画 (ピッチイベント)

出展者申込サイト

本展には、サポイン事業の共同体に参加した【中小企業者 (主たる研究等実施機関、法認定企業)】、【事業管理機関】、【中小企業者、大学・公設試等 (従たる研究等実施機関、研究実施者)】、並びにサビサポ事業の連携体に参加した【連携体のうち中核となる中小企業者】、【連携体に参加した中小企業者や大学・公設試等】がご出展いただけます。

[出展者登録](#)

出展募集要項は[こちら](#)

出展規約は[こちら](#)

③ 出展登録 Web サイト：出展者登録フォーム画面

中小企業 研究開発 (サ
成長型中小企業等研究開発支援事

ログイン

出展者登録フォーム

出展者登録済みの方は[こちら](#)→ ログイン

[ミッチイイベント](#)

出展者申込サイト

本展には、サポ
実施機関、法認
設試等（従たる
連携体に参加し
加した中小企業

◆ID登録情報

メールアドレス*

パスワード*

※英大文字+英小文字+数字+記号を組み合わせた10文字以上で入力してください。

◆会社情報

会社名*

会社名フリガナ

所在地*

◆出展代表者情報

担当者氏名*

部署名

電話番号*

◆出展者属性

出展者の属性（複数に該当する場合は別途お問い合わせ下さい。）*

- サポイン事業の中小企業者（主たる研究等実施機関、法認定企業）
- サポイン事業の事業管理機関
- サポイン事業の中小企業者、大学・公設試等（従たる研究実施等実施機関、研究実施者）
- サビサポ事業の連携体のうち中核となる中小企業者（いわゆるコア企業）
- サビサポ事業の連携体に参加した中小企業者や大学・公設試等
- その他

※その他を選択された場合は、以降の入力は不要です。下部の「登録する」をクリックしてください。

◆応募対象者（※）

- ◆過去にサポイ
- ① 中小企業者
- ② 事業管理機
- ③ 中小企業者
- ※ 上記②と③
- （主たる研

◆出展方法

出展方法

- リアル出展希望
- オンライン出展希望

◆サポイン・サビサポ情報

「サポイン事業の場合は受付番号」を記入してください。「サビサポ事業の場合は採択年度を西暦」で記入してください。

者登録

項は[こちら](#)

は[こちら](#)

④ マッチング申込 Web サイト：トップページ画面

中小企業 研究開発 (サポイン・サビサポ) 展
成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業(旧サポイン・サビサポ事業)) 成果展示・商談会

ログイン

ホーム 開催概要・会場 出展者一覧 特別企画 (ピッチイベント)

マッチング申込サイト

本展は、出展企業 (サポイン・サビサポ事業により成果を上げた事業者) とのマッチング・商談を通じて、新規顧客獲得・販路拡大を図っていただきます。

マッチング希望登録
本展チラシは[こちら](#)
出展者一覧は[こちら](#)
ガイドブックは[準備中](#)

⑤ マッチング申込 Web サイト：マッチング希望来場登録フォーム画面

中小企業 研究
成長型中小企業等研究

登録済みの方は[こちら](#) ログイン

ログイン

マッチング申込

本展は、
とのマ
けます。

◆ID登録情報

メールアドレス*

パスワード*

※英大文字+英小文字+数字+記号を組み合わせた10文字以上で入力してください。

◆会社情報

会社名*

会社名フリガナ

所在地*

◆来場者情報

来場者氏名*

来場者フリガナ

部署・役職名

電話番号*

◆サポイン・サビサポ成果に関する関心事項

技術ニーズ（外部連携を通じて解決したいもの）*

◆マッチング（商談）を希望する出展者

商談を希望する出展者①

商談を希望する出展者②

商談を希望する出展者③

商談を希望する出展者④

商談を希望する出展者⑤

※商談を希望する出展者が5つ以上の場合は、⑤の欄に「/」で区切って記入してください。

イベント)

登録

近

近

準備中

いて商談を

づくり企

IoT、AI等の

高度化に取

⑥ 来場者登録 Web サイト：トップページ画面

中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展
成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業(旧サポイン・サビサポ事業)） 成果展示・商談会

ログイン

ホーム 開催概要・会場 出展者一覧 特別企画（ピッチイベント）

来場者申込サイト



サポイン・サビサポの成果事例集や関連Webサイトにはない、「リアルかつ直接的に成果に触れる機会」を提供し、サポイン・サビサポ事業の意義や有用性に対する社会認知を高め、制度活用の促進につなげます。

来場者登録
本展チラシは[こちら](#)
出展者一覧は[こちら](#)
ガイドブックは準備中

⑦ 来場者登録 Web サイト：来場者登録フォーム画面

中小企業 研
成長型中小企業等科

来場者登録フォーム

登録済みの方は[こちら](#)⇒ ログイン

ログイン

来場者申込

サポート
直
や有

◆ ID登録情報

メールアドレス*

パスワード*

※英大文字 + 英小文字 + 数字 + 記号を組み合わせた10文字以上で入力してください。

◆ 会社情報

会社名*

会社名フリガナ

所在地*

◆ 来場者情報

来場者氏名*

来場者フリガナ

部署・役職名

電話番号*

◆ 関心がある出展者

※出展者一覧は[こちら](#)。

関心がある出展者①

関心がある出展者②

関心がある出展者③

関心がある出展者④

関心がある出展者⑤

※関心がある出展者が5つ以上の場合は、⑤の欄に「/」で区切って記入し

タッチイベント)



録

[こちら](#)

[こちら](#)

は準備中

ものつ
小企業
試等と
を実放
戦略的
(Go

術等を用いて中
大学・公設
大3年間の支援
ゴサボ事業)と
究開発支援事業

開催概要・会場

開催概要

日程・会場

開催概要

■名称

「中小企業 研究開発（サポイン・サピサポ）展」
成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業（旧サポイン・サピサポ））成果展示・商談会

■目的

中小企業庁「成長型中小企業等研究開発事業」（以下「Go-Tech事業」と記します）、「戦略的基盤技術高度化支援事業」（以下「サポイン事業」と記します）及び「商業・サービス競争力強化連携支援事業」（以下「サピサポ事業」と記します）（下記注1）において、以下の3点を果たすことを目的として開催いたします。

- サポイン事業・サピサポ事業の成果の事業化を支援
- サポイン事業・サピサポ事業・Go-Tech事業の関連中小企業者等・研究機関等間のコミュニティの拡大
- Go-Tech事業の制度普及

本展は、中小企業庁の「令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業（展示会出展支援等を通じた事業化支援に関する事業）」の事業予算を活用して実施されます。

注1：令和4年度から「サポイン事業」と「サピサポ事業」が統合されて、「成長型中小企業等研究開発支援事業」（Go-Tech事業）として実施されております。

⑨ 出展・マッチング・来場登録サイト共通：出展者一覧画面

出展者一覧

- 本展に出展されるサポイン事業を一覧から閲覧できます。
- 詳細情報欄の「詳細」をクリックすると出展されるサポイン事業の詳細情報を閲覧できます。
- 各列表頭項目の↑↓をクリックするとソートされます。
- 出展者一覧はPC環境での閲覧を推奨いたします。

出展形態	企業名	計画名	事業の概要	基盤技術	利用技術	技術のキーワード	製品PR	詳細情報
リアル	株式会社ロータス・サーマル・ソリューション	脱炭素を実現する熱ソリューションビジネスエコシステムの共創	サポイン事業ではユーザーの熱問題の潜在的付加価値を引き出し、設計から価値創造、製造と“オールインワン”で提供する熱ソリューション技術を開発した。そこで今回、Go-Tech事業では当該技術をマस्पログアクションに落とし込み、熱ソリューションのイノベーションを創出するため、パートナー企業との共創に取り組んでいる。	デザイン開発/情報処理/接合・実装・複合・新機能材料/サービス	設計/AI/IOT/ブロックチェーン/XR/ビッグデータ	サーバーシステムの無動力冷却技術/小型高性能な冷却器	展示会では、無動力冷却サーバーデモ機、小型高性能空冷サーバーデモ機の展示を予定しています。車載向け冷却やサーバー冷却にとどまらず様々な電動化に伴う熱問題の解消をお手伝いさせていただきます。	詳細
リアル	豊橋鍍金工業株式会社	めっきの多層化とグラフェン複合銀めっきによる大電流電気接点用めっきの開発	電気自動車には充電用プラグに代表される硬質銀めっきを施した大電流コネクタが多く使われている。本事業では、グラフェンを複合化した硬質銀めっき被膜を電流密度測定により最適な配置で多層化することにより、高耐摩耗性と低電気抵抗という、相反する二つの性格を持った全く新しい高機能めっき技術を開発し、大電流による昇温を防ぎ、安全性の向上とコストダウンを目的としました。	表面処理	表面処理	銀めっき/コネクタ/複合めっき/グラフェン/電気接点	サポイン事業等の国プロによる共同研究や自社開発を積極的に行っております。特にEV関連の電気接点めっきに特化した多くの開発を手掛けておりますので、高電流タイプ接点へのめっきに関するご相談等ございましたら是非弊社プースの担当者にお声がけください。	詳細
リアル	豊橋鍍金工業株式会社	コンタクトプローブ耐久性向上のための表面処理及び微小部品用小ロットめっきシステムの開発	半導体デバイス検査機器の電極として使用されるコンタクトプローブは、検査時にデバイス側電極のハンダの転写で通電性が劣化することで耐久性が著しく低下し検査コストを押し上げている。このため耐久性の高いめっきが切望されている。本事業では耐久性が飛躍的に向上するめっき被膜を開発するとともに、プローブを低コストで生産できるめっき装置を開発することにより、半導体検査工程の大幅な	表面処理	研磨、切削及び表面処理/塗装及びめっき	コンタクトプローブ/小ロット生産/高圧コネクタ	コンタクトプローブについては現時点でめっき加工の注文をいただいております。また別事業の技術を用いた製品の生産も手掛けておりますので、コンタクトプローブのめっきに関するご相談等ございましたら弊社プースの担当者にお声がけ下さい。	詳細

2-4 出展者の募集・選定

(1) 出展者募集要項

出展募集要項及び出展募集申込画面（専用 WEB サイト上）の作成、出展申込の受付、出展応募者関連データの管理など、出展者の募集・選定に関する業務を行った。出展者募集要項は「中小企業 新ものづくり・新サービス展」の同要項を参考に、中小企業庁と協議の上で作成した。

【出展者募集要項】



中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展
成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業(旧サポイン・サビサポ事業))
成果展示・商談会

会期：2022年12月14日(水)～16日(金)
会場：東京ビッグサイト 東8ホール

出展料 無料

出展募集要項

本展は、万全な新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて開催します。
「ウイズコロナ/ポストコロナ」の新たな未来に向けた営業活動の場として、本展示商談会を活用していただきたく、出展者を募集します。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止（またはオンライン開催への変更）となる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

出展申込締切 2022年11月7日(月) 17:00迄

※原則的に先着順受付としますので、締切日前に申込数上限に達した場合は、その時点で募集を終了します。

主催：中小企業庁 共催：全国中小企業団体中央会

■ 目次

- 本展の特長（出展メリット、サポート） & 昨年参加者の声 P.1
- 開催概要 P.3
- 出展申込方法・遵守事項 P.5
- 出展ブース説明 P.8
- ブース規格 P.9
- スケジュール P.12

本展示会のお問い合わせ先

中小企業 研究開発（サポイン・サピサポ）展

「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業（旧サポイン・サピサポ事業））成果展示・商談会」事務局（株）リベルタス・コンサルティング

〒102-0085 東京都千代田区六番町 2-14 東越六番町ビル

TEL : 03-6262-7678 / Fax : 03-6262-3040

E-mail : jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp

受付時間 : 10:00-17:00（土日祝日を除く）

■ 本年度の特長（出展メリット、サポート）& 昨年参加者の声

1. 本年度の特長

1. 出展者枠の大幅な拡大

① サビサボ事業の出展

出展者の業種は、これまでのものづくり企業に加えて、IoT、AI 等の先端技術を活用したサービスの高度化に取り組む中小企業（サビサボ事業者）等もご出展いただけます。

② 出展者の対象拡大

ご出展いただける方は、中小企業者のみならず、サポイン事業及びサビサボ事業に参画した大学・公設試、事業管理機関等、幅広くご出展いただけます。

③ 出展者の要件緩和

昨年度と比較して事業化の進展段階による出展要件を緩和し、研究実施中の事業においても出展のお申込みが可能です。（詳細は後述 p.4「応募対象者」をご参照下さい）。

2. 併催展との来場者回遊を強化

同期間にて開催中の併催展「中小企業 新ものづくり・新サービス展」（東7ホール）及び「新価値創造展 2022」（東6ホール）とは、再申込不要の相互入場を可能とし、各会場等において積極的に他展への誘引を図るなど、3つの展示会合同で来場者回遊による集客強化を図ります。

3. 新規顧客獲得・販路拡大につながるマッチング機会を提供

事務局は、出展者がマッチングを希望する川下企業や支援機関、金融機関等の情報を事前に収集し、当日のマッチングに向けた仲介を行います。さらに、開催期間中には、中小企業の経営相談等に精通した中小企業診断士等が各出展ブースを巡回し、商談につながる情報提供やアドバイスをを行います。

4. 多彩なイベント等の開催

幅広い業種が一堂に会する本展示会では、各種出展者からのピッチ発表、名刺交換会に加えて、Go-Tech 事業の目玉である“出資獲得枠”に関連するファンド等に関するセミナー、Go-Tech 事業に関する最新動向等の説明会の開催を予定しており、参加者は幅広く情報を収集することができます。

II. 昨年参加者の声



○ 出展者の声

- ✓ 大阪に本社があることからこれまで関東の顧客がなかったが、本展を通じて関東に本社がある中小企業やベンチャーと接点を持ち、商談につながることもあったため、満足している。
- ✓ 当社は自動車業界を相手にする素材の会社だが、釣りの会社と接点を持ち、カーボンを用いるという点での共通点を知った。一方で、それぞれに特徴があってその違いを発見できて面白かった。
- ✓ 既存の取引先である自動車業界に囚われず、色々な業界の方々と交流でき、名刺交換さらには今後面談・商談につながる機会が得られたのが非常に大きかった。なんとなく来て、なんとなく見ていただいたということはなく、お互いが「サポイン採択企業としてもっとものづくりを盛り上げていこうよ」というところで共通の意識を持っているところが、すごく嬉しく思えた。
- ✓ 弊社はどちらかというと研究開発がメインの会社だが、今までと全く違う業種の企業と、弊社の開発の幅が広がるような話もできた。また、今まで想定してない分野の業種にアピールできた。
- ✓ 自分たちの技術をどちらの方向にブラッシュアップすればいいか、また基礎技術をどうやって高めていけばいいか、そういったところの技術課題が明確になった。「お陰様で早速大手の企業様からお声かけがあり、来年早々に技術交流会となりました。新規事業の立ち上げということで、大変面白い内容です。」
- ✓ 従来取引があったところや、過去に何らかのコンタクトがあったり、名刺交換をしたりしたところに 250 通くらい DM を出したところ結構反応があり、開催期間中に予想以上のコンタクトができて、実物を見て是非うちにお話をいっぱいいただいた。予想以上の出来だったと満足している。
- ✓ コロナで接触が途絶えていた従来のお客様と久しぶりにお会いして、現物を交えながら自社の現況についてお話することで、色々と新しい案件に対する前向きな姿勢をお互いに引き出すことができた。

○ 来場者の声

- ✓ 取引先と出展者の引き合わせを狙って来たが、出展者側から「こういったところとマッチしたい」というニーズをもらえたことが収穫。(金融機関担当者)
- ✓ それぞれの分野で中小企業の技術がどこまで進んでいるのかということが 1 か所で見られるのがメリット。
- ✓ 出展者にとっては、同業他社の技術や自社との棲み分けを知る情報交換の場としても活用できる。
- ✓ どのブースを訪ねても外れがない。手当たり次第にブースに飛び込みでお話しをお伺いしても、それぞれが独自の世界を築いている。それに触れることにより、今後色々な機会でもマッチングするイメージが湧く。
- ✓ その他の一言コメント (新しい技術の説明が分かりやすくて良かった。役に立ちそうな技術があった。目を引くテクノロジーが散見された。等)

開催概要

名称

中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展
成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業（旧サポイン・サビサポ事業））成果展示・商談会

目的

- 中小企業庁「成長型中小企業等研究開発事業」（以下「Go-Tech 事業」と記します）、「戦略的基盤技術高度化支援事業」（以下「サポイン事業」と記します）及び「商業・サービス競争力強化連携支援事業」（以下「サビサポ事業」と記します）（下記注1）において、以下の3点を果たすことを目的として開催いたします。

- サポイン事業・サビサポ事業の成果の事業化を支援
- サポイン事業・サビサポ事業・Go-Tech 事業の関連中小企業者等・研究機関等間のコミュニティの拡大
- Go-Tech 事業の制度普及

- 本展は、中小企業庁の「令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業（展示会出展支援等を通じた事業化支援に関する事業）」の事業予算を活用して実施されます。

注1：令和4年度から「サポイン事業」と「サビサポ事業」が統合されて、「成長型中小企業等研究開発支援事業」（Go-Tech 事業）として実施されております。

会期・会場

会期：2022年12月14日（水）～16日（金）

会場：東京ビッグサイト 東8ホール（東京都江東区有明3-11-1） <https://www.bigsight.jp/>

出展料・入場料：無料

時間：12/14（水）11:00～17:00（開会式10:40予定：東7ホール「中小企業 新ものづくり・新サービス展」会場にて）

12/15（木）10:00～17:00

12/16（金）10:00～16:00



主催

主催：中小企業庁 共催：全国中小企業団体中央会



応募対象者

本展に出展いただける方

- 過去にサポイン事業の共同体に参加した以下の方

- ① 中小企業者（主たる研究等実施機関、法認定企業）
- ② 事業管理機関
- ③ 中小企業者、大学・公設試等（従たる研究等実施機関、研究実施者）

※上記②と③に関して、定員を超える出展申込があった場合においては、①中小企業者（主たる研究等実施機関、法認定企業）による出展を優先とさせていただきます。

- 過去にサビサポ事業の連携体に参加した以下の方

- ④ 連携体のうち中核となる中小企業者（いわゆるコア企業）
- ⑤ 連携体に参加した中小企業者や大学・公設試等

※上記⑤に関して、定員を超える出展申込があった場合においては、④連携体のうち中核となる中小企業者（いわゆるコア企業）による出展を優先とさせていただきます。

出展物の内容

- 出展物は、サポイン事業及びサビサポ事業を活用して開発した成果等に関する実物、またはパネル展示・動画等とします。
- 「大学・公設試等」、「事業管理機関」においては、参加したサポイン事業、サビサポ事業における役割・活動内容等に関する内容とします。

出展における要件

- 過去に実施された中小企業庁サポイン事業及びサビサポ事業に採択された事業のうち、**その成果の事業化に取り組み、一定の進展段階（※1）に達していること。**
- 出展を希望するサポイン事業において、サポイン事業の公募要領に記載の期限までに所管の経済産業局等への「**事業化状況報告**」および「**フォローアップ調査票**」の提出が完了していること。ただし、令和3年度に補助事業が終了した場合は、本展開催までに下記（※1）の条件を満たす可能性がある者となります。
- 出展を希望するサビサポ事業において、サビサポ事業の公募要領に記載の期限までに所管の経済産業局等への「**事業化状況報告**」の提出が完了していること。ただし、令和3年度に補助事業が終了した場合は、本展開催までに下記（※1）の条件を満たす可能性がある者となります。
- 最終的には上記の要件等を踏まえて、主催者（中小企業庁）および事務局が出展の可否を決定いたします。

（※1）

「サポイン事業」及び「サビサポ事業」の事業化の進展段階について：

- ・ サポイン事業及びサビサポ事業の進展段階は下記の通り区分します。現時点（お申込み時）で A、B、C、D のいずれかに該当するサポイン事業及びサポイン事業を優先とさせていただきますが、定員に余裕がある場合においては E、F においても出展申込が可能です。G は出展申込不可です。

- A：事業化に成功し継続的な取引が続いている
- B：事業化に成功
- C：実用化に成功し事業化間近
- D：実用化に成功し事業化に向けて取り組み中
- E：実用化間近
- F：研究実施中
- G：研究中止または停滞中

■ 出展申込方法・遵守事項



重要 出展申込方法

- 本展示会への出展受付に際し、基本情報や詳細情報を **2段階**でご提出いただけます。
- ① 本展の Web サイトの**出展者登録フォームより基本情報等（以下参照）**をご提出ください。
本展の Web サイト：<https://www.gotech-tenjikai.go.jp/>
- ② 運営事務局から出展可否を個別にご連絡いたします。（基本的に出品者登録をご提出いただいて 1 週間以内にご連絡いたします（出展申込数の状況によっては、1 週間以上連絡に時間をいただく可能性もあります））
- ③ ②のご連絡とあわせて、詳細情報登録シート（エクセルファイル）、自社紹介ページの見本、出展に関する具体的な注意事項を記載した「出展マニュアル」等をお送りします。
- ④ **詳細情報登録シートを事務局にメールでご提出**ください。（登録内容は以下ご参照ください。下記は中小企業者用であり、他の出品者は若干異なります）



【基本情報等】	【詳細情報等】
<ul style="list-style-type: none"> ・出展方法（リアル出展 or オンライン出展） ・会社名・部署名 ・ご担当者氏名 ・メールアドレス（次回ログイン時の ID） ・パスワード（次回ログイン時のパスワード） ※英大文字小文字+数字+記号を組み合わせた 10 桁以上のパスワードを設定していただけます。 ・住所、電話番号 ・サボイン事業あるいはサビサボ事業の受付番号/計画名 ・事業化の進展段階 ・事業化状況報告及びフォローアップ調査の提出有無、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者以外の当日来場者（ブースでの対応者）の数 ・来場者に向けた技術 PR（本展の Web サイトや当日配布するガイドブックに掲載予定） ・希望する商談相手（川下企業等） ・具体的な出展内容（商品を表示する、画像を流す、ポスター・パネルを表示する、等） ・自社のサボイン・サビサボ事業成果について支援や助言を希望する相手 ・ピッチ発表（10 分程度、10 社程度）希望の有無 ・本展 URL とのリンク、広報用ポスター・チラシの送付の必要の有無、等 <p>※詳細情報登録シートに記入いただいた内容は当日配布するガイドブックの貴社紹介ページ・該当項目に掲載予定です。見本の掲載ページでご紹介いただきたい情報もあわせて登録シートにご記入ください。</p>

【申込に関する注意事項】

- 原則的に先着順受付としますので、締切日前に申込数上限に達した場合は、その時点で募集を終了します。
- 締切までに下記 Web サイト内の「出展者登録フォーム」への入力を完了して下さい。
- 出展者登録フォームの各項目に漏れなくご入力下さい。入力漏れがあると出展不可となる場合があります。
- 応募者多数でリアル出展枠が埋まった場合は、事務局よりオンライン出展をご案内する場合があります（逆も在り得ます）。
- 「出展者登録フォーム」をご提出後、確認審査の上、個別に出展可否の通知をご連絡いたします。



出展申込の締切

2022 年 11 月 7 日(月)17:00 迄

【本展の Web サイト】

[URL] <https://www.gotech-tenjikai.go.jp/>



※**出展申込時にサボイン事業またはサビサボ事業の受付番号と計画名が必要**です。あらかじめ受付番号と計画名をご確認の上、お申し込み下さい。

※複数の事業成果の展示を希望する場合は、**展示する全ての年度のサボイン事業またはサビサボ事業の受付番号と計画名が必要**です。

重要 出展に関する諸注意

- 出展申込時に出展料は不要ですが、以下の場合にはキャンセル料を請求させていただきます。

【キャンセルの定義】

- 出展申込締切以降（11月7日（月）17:00）の出展取り止めの申し出
- 開催期間中の欠席（会期中からの参加または途中からの不参加）
- その他事務局が判断した場合

【キャンセル料】

キャンセル料はブース装備品準備・製作の実費を補填するものです。

- 出展申込締切前（～11月7日（月）17:00）	無料
- 11月7日（月）17:00以降～11月22日（火）17:00	38,500円（税込）
- 11月22日（火）17:00～	110,000円（税込）

以下の場合、キャンセル料は不要です。

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、展示会開催を主催者都合で中止とした場合
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染者もしくは濃厚接触者が出展関係者（従業員等）に発生したことにより、出展をキャンセルする場合（要書面提出）
- ③ 天災地変等の不可抗力により、展示会開催を中止とした場合
- ④ 出展者の所在地で緊急事態宣言が出たことにより、出展をキャンセルする場合

重要 遵守事項

- 本展は、サポイン事業やサビサポ事業の成果を効果的にPRするため出展者の創意工夫を促すことから出展料を無料にしています（※）。そのため、各種遵守事項があります。本事項に違反した場合は、来年度以降も本展が開催される場合、次回以降の本展へのお申込ができませんので、ご注意ください。
※事務局が用意する基本設備以外の手配物、出展物運搬費や会場までの旅費・宿泊費等は、出展者の自己負担となります。

① 出展規約の遵守

出展の際は、出展規約を必ずご確認の上、遵守して下さい。Web サイトよりお申込の際、出展規約をご確認いただき、同意の上でお申込下さい。

② 会期中の人員の常駐

サポイン事業・サビサポ事業の成果や取り組みについて説明できる人員を会期の3日間常駐させ、来場者や関係者に説明して下さい。「ブースを訪問したのに誰もいない」というようなことは本展のイメージダウンにつながります。出展者の皆様で本展を盛り上げて下さい。ただし、商談等により不在となる場合、「ブース不在」が来場者にわかるように掲示して下さい。

③ 原則、1社につき1小間

1社でも多くの方に出展機会を平等に提供するため、原則として、1社が使用できる小間数は1つとします。ブースに収まらない大型出展物などの場合は、ポスター、パネル展示等の方法をご検討下さい。
同一社が2件以上の採択事業を有している場合においても、出展ブースは1社につき1ブースとします。

⑤ アンケートの提出

出展直後や出展事後など複数回のアンケートを行いますのでご提出下さい。アンケート対象にはオンラ

イン出展者も含まれます。アンケート結果は、本展の効果・成果測定を行うための重要なデータですので必ず提出をお願いします。

⑤ **出展物の販売行為の禁止**

本展は Go-Tech 事業（サポイン事業、サビサポ事業）の一環で実施しますので、会場内での販売行為（金品の授受）は禁止します。

⑥ **展示会開催へのご協力**

本展示会はサポイン・サビサポ事業の成果発表、事業化支援、Go-Tech 事業の推進を目的としております。積極的なピッチイベントへの参加、事務局へのニーズ(希望商談相手・支援等)提供をお願いいたします。

■ 出展ブース説明

◆ 募集ブース数

※会場面積、各種スペース配置等を踏まえた現時点での見込み数です。

90ブース（展示会場でのリアル出展）

- 基本的に先着順で受け付けますので、お早めにご応募下さい。
- 応募者多数でリアル出展枠が埋まった場合は、事務局よりオンライン出展をご案内する場合があります。
- 申込状況に応じてブースの数を変更することがあります。

◆ 出展物（展示会場でのリアル出展の場合）

- 出展物は、サポイン事業及びサビサポ事業を活用して開発した成果等に関する実物、またはパネル展示・動画等とします。
- 「大学・公設試等」、「事業管理機関」においては、参加したサポイン事業、サビサポ事業における役割・活動内容等に関する内容とします。

◆ 出展ブースの配置

- サポイン事業活用企業は、出展申込に際し、以下の12の技術分野（中小企業の特定ものづくり基盤技術の高度化に関する指針）から、実際の出展物（サポイン事業の成果）に最も適した技術分野を1つ選択して下さい。
- サビサポ事業活用企業は、出展申込の際に、下記の出展区分13の「サービス」を選択ください。
- 出展内容が複数区分にまたがる場合は、最も適合すると考えられる出展区分を1つ選択して下さい。
- **本年11月10日（木）に開催予定の出展者説明会**にてブース配置図を配布しますので、出展者説明会に必ずご参加下さい。（ブース配置を出展者が指定することはできません。また、事務局の許可なく出展者間でブース交換等を行うことを禁止します。）

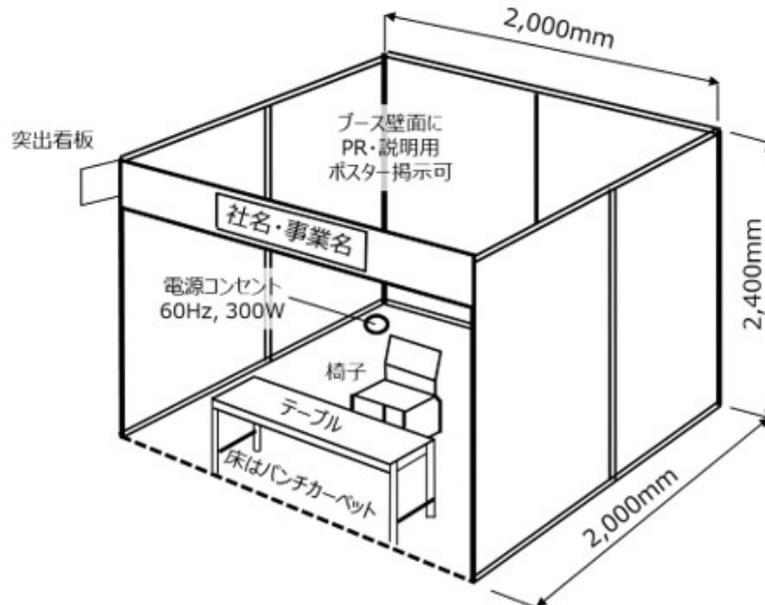
【12の技術分野とサービス（サビサポ用）】

- | | |
|----------------|------------------|
| 01：デザイン開発に係る技術 | 07：表面処理に係る技術 |
| 02：情報処理に係る技術 | 08：機械制御に係る技術 |
| 03：精密加工に係る技術 | 09：複合・新機能材料に係る技術 |
| 04：製造環境に係る技術 | 10：材料製造プロセスに係る技術 |
| 05：接合・実装に係る技術 | 11：バイオに係る技術 |
| 06：立体造形に係る技術 | 12：測定計測に係る技術 |
| | 13：サービス（サビサポ用） |

■ 出展ブース規格

【基本規格】 ※仕様が一部変更される場合があります。

■ 直接出展用ブース



■ ブースの大きさ

幅 2,000mm × 奥行 2,000mm × 高さ 2,400mm
(白色・厚み 3mm のペニヤとシルバーのステンレス製支柱の組み合わせ)

■ 基本設備 (無料)

- ① バックパネル・サイドパネル (オクタノルムシステムパネル・白色)
サイズは幅 1,000mm × 高さ 2,400mm
- ② 社名・事業名看板 (幅 1400mm × 高さ 280mm) ゴシック体・黒文字
- ③ 突出看板 (幅 300mm × 高さ 280mm)
- ④ サポインまたはサビサボ事業計画概要説明パネル A1 サイズ程度 (最大 3 枚までは事務局にて印刷してご提供)
- ⑤ 展示台 1 台 (幅 1,800mm × 奥行 600mm × 高さ 700mm 程度、白布付き)
- ⑥ パイプ椅子 1 脚
- ⑦ 床 (バンチカーペット貼り)
- ⑧ スポットライト (ブースごとに 2 灯程度を想定)
- ⑨ コンセント 1 個 (100V 2 口タイプ、アース無し 300W まで使用可)

※上記以外のオプション設備 (有料) は出展者説明会でご説明します。

※展示台、パイプ椅子の使用は必須ではありません。

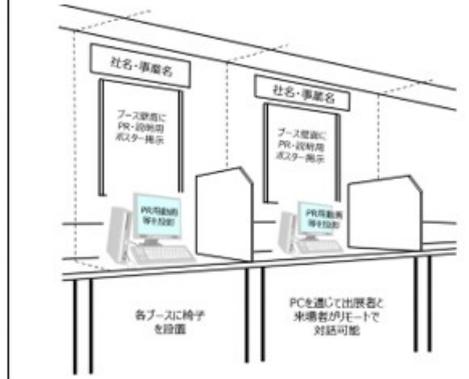
◆ オンライン出展をする場合の申込方法

【オンライン出展とは】

- オンライン出展は、会場でのブース展示の形式を取らず、本展の会場内に設置されるPC画面等で、出展する形態です。
- 応募対象者に関する要件は、ブース出展（リアル出展）者と同じです。
- ブース出展（リアル出展）の申込者が先着順の関係で出展できない場合、オンライン出展に申し込むことが可能です。ただし、オンライン出展についても受け付けは原則として先着順とします。

※ オンライン出展は直接来場できない企業に出展機会を保障する形態であることから、出展が了承された後のキャンセルはご遠慮下さい。やむを得ずキャンセルした場合は、不要となった機材等に係る費用をキャンセル用として申し受ける可能性がありますのでご注意下さい。

■ オンライン出展ブース（※一部変更される可能性があります。）



【募集件数】

10社（展示会場内のPC画面上での出展）

※会場面積、各種スペース配置等を踏まえた現時点での見込み数です。

※先着順で受け付けますので、お早めにご応募下さい。

※申込状況に応じてブースの数を変更することがあります。

【紹介内容】

- 出展物は、サポイン・サビサポ事業を活用して開発した成果等に関する説明文またはパネル展示・動画等とし、サポイン・サビサポ事業とは関係のない商材等を画面上に表示することは禁止します。
- 「大学・公設試等」、「事業管理機関」においては、参加したサポイン事業、サビサポ事業における役割・活動内容等に関する内容とします。

■ スケジュール

I. 全体

10月21日(金)

- 出展受付開始(原則、先着順)
- 受付順に出展要件を確認した上で、事務局が出展可否を個別通知。あわせて詳細情報登録シートを送付致します。

10月下旬以降

- 各出展企業は詳細情報登録シートを事務局に提出
- 展示会 Web サイトにて出展者情報等の掲載を開始
※2022年2月下旬まで掲載予定

11月7日(月)

- 出展申込締切 17:00 迄
※締切間際はアクセスが集中するため、お早めにお申し込み下さい
※出展決定は個別に随時お知らせします

11月10日(木)

- 出展者説明会開催
※詳細については下記「出展者説明会」をご参照下さい

12月13日(火)

- 搬入日(出展準備) 13:00~18:00

12月14日(水)
~ 16日(金)

- 展示商談会開催
※最終日(12/16)の展示会終了後、即日搬出

12月23日(金)

- 出展者アンケート提出期限

II. 出展者説明会

説明会

日時: 11月10日(木) 13:30 ~ 15:30

対象: 出展予定者

形態: オンライン会議(リモート会議ツールには Microsoft Teams を用いる予定です。)

内容: 出展に関する詳細のご説明

- ① リアル出展とオンライン出展の概要
- ② ブース、搬入出、装飾等の説明
- ③ 什器、照明、電力等のオプション説明
- ④ 重要事項の説明、商品 PR 方法の紹介等

本展示会のお問い合わせ先

中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展
成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech
事業(旧サポイン・サビサポ事業)) 成果展示・商談
会事務局(株式会社ベルタス・コンサルティング)

〒102-0085 東京都千代田区六番町 2-14
東越六番町ビル

Tel: 03-6262-7678/Fax: 03-6262-3040
E-mail: jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp
受付時間: 10:00-17:00(土日祝日を除く)

(2) 出展対象者の範囲

出展対象者の範囲は、過去サポイン事業に採択された企業前者と過去にサビサポ事業を採択された企業全社を対象とした。加えて、出展者確保の観点と「サポイン事業・サビサポ事業（Go-Tech 事業）の関連中小企業者等・研究機関間のコミュニティ拡大」の観点から、中小企業庁と協議の上で、サポイン事業における事業管理機関や従たる研究等実施機関、サビサポ事業における連携体に参加した中小企業者や大学・公設試等を応募対象者とした。

(3) 出展物の内容

出展物はサポイン事業及びサビサポ事業を活用した開発した成果等に関する実物、またはパネル展・動画等とした。また、「大学・公設試等」、「事業管理機関」においては、参加したサポイン事業、サビサポ事業における役割・活動内容等に関する内容とした。

(4) 出展促進

令和4年10月19日から案内メールの送付等を通じて出展を受け付け、10月下旬～11月初旬には前回出展者並びにサビサポ事業を中心に個社への架電も実施した。

(5) 出展者数

出展受付は先着順としたが、事前に設定した出展枠の上限数を超える応募はなかった。最終的な出展者数は、オンライン出展の2社を含めて、計57社であった。

【出展者リスト】

ブース番号	参加形態	出展企業名	計画名
1	リアル	JMR株式会社	上行弓部大動脈解離を治療するための次世代型大口徑ステントとデリバリーシース及び周辺デバイスの総合的な開発
2	リアル	有限会社坂本石灰工業所	「お灸文化に革命をもたらす『aQua』～火を使わないお灸のデザイン開発～」
3	リアル	株式会社インフォファーム	次世代カラーバーコードの独自技術「カメレオンコード」を活用した個体を特定する動線の認識・収集・分析のデジタル化とAI解析による生産性向上の高度化技術開発
4	リアル	ファーフィールドサウンド株式会社	次世代自動車ハンズフリー通話システムのための音声強調信号処理技術の研究開発
5	リアル	ミクロン精密株式会社	マイクロ超音波・電解ハイブリッド内面加工装置の開発
6	リアル	中村製作所株式会社	航空機用先進熱制御システム用ヒートシンクの製造技術開発
7	リアル	株式会社ナノテム	高能率・高品位加工を実現する多孔質ハニカムダイヤモンド砥石とハイドロプロセスを融合させた研削・研磨システムの開発
8	リアル	森鉄工株式会社	多軸精密制御による次世代型プレス機及び金型の研究開発
9	リアル	株式会社三友製作所	IoTデバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発
10	リアル	Zメカニズム技研株式会社	自然空気（GWP=1）を冷媒として用いる極低温冷凍空調機の開発
11	リアル	VISTA株式会社	液体を検査媒体とすることで高圧工程を安全・低コストに実現する量産対応高圧漏れ検査装置の開発
12	リアル	川並鉄工株式会社	摩擦攪拌接合を適用した航空機構造部品の製作
13	リアル	イサハヤ電子株式会社	高調波規制に適合し省エネ・小型化を実現するためブリッジレスアクティブフィルタ方式を用いた次世代高効率三相交流電源ユニットの開発
14	リアル	富士端子工業株式会社	アルミ・銅バイメタル端子の製造に資する異形・異種金属の摩擦攪拌接合技術の開発
15	リアル	豊橋鍍金工業株式会社	めっきの多層化とグラフェン複合銀めっきによる大電流電気接点用めっきの開発
16	リアル	株式会社アサヒメッキ	あらゆるアルミ系素材に適用し、かつ毒物を使用しない表面処理技術の開発
17	リアル	坂口電熱株式会社	ミニマルレーザ水素アニール装置と原子レベルアンチエイリアス（AAA）技術の研究開発
18	リアル	ダイカテック株式会社	表面テクスチャリングによる環境負荷低減型熱交換器用プレートの開発

ブース番号	参加形態	出展企業名	計画名
19	リアル	大阪富士工業株式会社	非モルテンプール型レーザークラディングによる超耐熱玉軸受(ボールベアリング)の開発
20	リアル	株式会社プラズマイオンアシスト	大電流急速充電を可能にした蓄電デバイス用導電性DLC長尺アルミ箔電極の開発
21	リアル	株式会社熊防メタル	意匠性に優れた硬質アルマイト皮膜形成技術の開発
22	オンライン	株式会社ディ・ビー・シー・システム研究所	航空機用ジェットエンジン向け遮熱・拡散バリアコーティングシステムの研究開発
23	リアル	株式会社東設	低消費電力半導体の貫通電極ウエハ ボイドレス超高速めっき装置技術の開発
24	リアル	有限会社エイチ・エス・エレクトリック	HiPIMS対応可能なフレキシブルパルス電源システムの開発
25	リアル	株式会社ヤマダ	風力削減に風車を用い、削減過程で発電、その電力により回転を自己制御し、風害の発生を防ぐ建材の研究開発
26	リアル	エクストコム株式会社	光MEMS技術を用いた独創的な構造の超小型・高精度・高速応答変位計測エンコーダの実用化開発
27	リアル	株式会社ロータス・サーマル・ソリューション	革新的冷却部材の最適化量産製造プロセスの開発
28	リアル	株式会社八木熊	PEEK含浸炭素繊維フィルムシートハイブリッド精密成形技術によるX線透過型開胸器の開発・事業化
29	リアル	高木綱業株式会社	高耐疲労高強度全天候型絶縁ロープの製造・点検技術の開発
30	リアル	株式会社朝日ラバー	色のバラツキが少なく、視認性に優れ疲労低減特性のある自動車内装照明用LEDの蛍光体層開発
31	リアル	美濃窯業株式会社	高機能材料を用いたセラミックスーパー金属ハイブリッド金型の開発
32	リアル	I&Tニューマテリアルズ株式会社	電池の大容量化、充放電速度の高速化及び高サイクル特性並びに低コスト化を目的とした、アルミニウム繊維を集電体として用いた革新的リチウムイオン電池の開発
33	リアル	矢島工業株式会社	自働車構造用CFRP-金属ハイブリッド部品のプレス成形加工技術に関する研究
34	リアル	日本マテリアル株式会社	自動車部品適用のための高強度・高熱伝導マグネシウム合金の開発
35	リアル	三協化学株式会社	建築物におけるアスベスト含有仕上塗材を安全かつ完全に除去できる革新的剥離工法の開発
36	リアル	株式会社U-MAP	AINウィスカー(窒化アルミニウム針状結晶)を用いた次世代高機能放熱材料の研究開発
37	リアル	株式会社宮城化成	不燃透明複合材とそれを用いた照明カバーの製造技術の開発
38	リアル	株式会社ジュークス	燃料電池用電極触媒の低白金化の技術開発と量産技術の開発
39	リアル	株式会社レクザム	次世代半導体プロセスに対応可能な超臨界技術を用いたウエハ乾燥技術の開発
40	リアル	株式会社幹細胞&デバイス研究所	配向性ファイバー足場で培養した神経細胞とこれを用いた薬の有効性と毒性を信頼性高く評価できる試験法の開発
41	リアル	薩摩酒造株式会社	世界初の脂溶性ポリフェノールの量産化を目的に、独自の抽出・濃縮・精製技術による焼酎かすからの製造技術の確立

ブース番号	参加形態	出展企業名	計画名
42	リアル	アダマンド並木精密宝石株式会社	内視鏡3D光プローブ式精密測定機の開発
43	リアル	クモノスコーポレーション株式会社	信頼性・経済性に優れた高精度な測定技術による建物外壁の点検・診断技術の研究開発
44	リアル	ライフケア技研株式会社	発汗計を搭載した世界初のウェアラブル型熱中症予兆チェッカーの開発
45	リアル	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団	血中の微量金属測定によるがんリスク診断技術の開発
46	リアル	金属技研株式会社	次世代有機ELディスプレイを省電力化・低コスト化に対する超耐熱高靱性タングステン材の大型化に向けた製造装置の開発
47	リアル	株式会社サーモグラフィティクス	異方性グラファイトをヒートスプレッダーとして用いた高熱伝導パワーモジュール基材の開発
48	リアル	東京理科大学	キノコ廃培地からの高純度希少糖生産法の研究開発
49	リアル	MIG株式会社	VRゴーグルによる3D脳機能定点観測の研究開発
50	リアル	株式会社コーユービジネス	AR技術を活用した教えやすいワクワクするプログラミング教材の開発と提供
51	リアル	株式会社オーカワパン	AI・IoT活用の中小食品製造業向け「工程計画自動作成システム等」開発・販売事業
52	リアル	株式会社サリバテック	唾液がん検査サービス事業における非医療機関での検査可能な環境構築
53	リアル	株式会社八幡ねじ	溶液を使用しない環境に優しいアルミニウムの新表面処理「水蒸気プロセス」とその設備の開発
54	オンライン	久保井塗装株式会社	サポイン事業の成果展示
55	リアル	公益財団法人くまもと産業支援財団・熊本県産業技術センター	情報提供・相談コーナー
56	リアル	一般社団法人エコまちフォーラム	情報提供・相談コーナー
57	リアル	NPO法人日本マーチャンダイザー協会	情報提供・相談コーナー

(6) 出展決定後の状況

出展決定後の出展者の自己都合によるキャンセルの場合、出展者からキャンセル料の徴収を行うこととしていたが、実際にはそれに該当するケースはなかった。

2-5 出展者支援

(1) 出展者説明会

出展者を対象として、令和4年11月10日(木)及び11月17日(木)に、オンライン形式で出展者説明会を開催し、下記項目について説明した。また、両日に参加できなかった企業に対しては、個別に説明会を開催した。

- ・ リアル出展とオンライン出展の概要
- ・ ブース、搬入出、装飾等の説明
- ・ 什器、照明、電力等のオプション説明
- ・ 重要事項の説明、商品 PR 方法の紹介等 など

【出展者説明会出展要項】



中小企業 研究開発 (サポイン・サビサポ) 展
成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業 (旧サポイン・サビサポ事業))
成果展示・商談会

会期：2022年12月14日(水)～16日(金)
会場：東京ビッグサイト 東8ホール

出展要項
[11/17出展者説明会用]

■本展示会のお問い合わせ先 ■

中小企業 研究開発 (サポイン・サビサポ) 展
「成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業 (旧サポイン・サビサポ事業))」
成果展示・商談会

事務局 (株式会社リベルタス・コンサルティング)
〒102-0085 東京都千代田区大番町 2-14 東越六番町ビル
☎: 03-6262-7678 / Fax : 03-6262-3040
E-mail : jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp

出展者の皆様へ 注意事項

●開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。

- ①会期中、会場入りされる社員やスタッフの皆様の名簿（氏名・緊急連絡先）を作成し、事務局にご提出いただきます。（会期前に規定フォーマットをご用意します）
必要に応じて、保健所等の公的機関へ提出され得ることの事前周知と承諾を頂戴します。
- ②会場内では、マスクやフェイスシールドの着用及び手洗い・手指消毒をお願いします。
- ③ブース内に裝飾・設営をされる際は、換気を妨げるデザインは避けるようご協力ください。
- ④ブース内で商談等の際、飛沫防止用のアクリルボード等をお持ちであればご用意ください。
- ⑤会場入りの際、会場入口のサーモグラフィ（非接触体温計を含む）で、体温チェックさせていただきます。発熱のある方の入場をお断りします。
- ⑥以下の方々は、ご来場をお控えください。
 - a) 発熱（37.5° 以上）がある方
 - b) 咳・咽頭痛・息苦しさの症状が認められる方
 - c) 保健所等の健康観察下にある方
 - d) 政府が指定する期間に海外渡航歴のある方
（当該期間に帰国した方と接触した方も含む）
 - e) その他、体調の優れない方（味覚・嗅覚異常、強い疲労倦怠感など）
- ⑦場合により会場への入場者を制限することがありますが、ご了承おねがいます。

11月1日付東京ビッグサイト対応指針を基に作成

開催概要

■ 名称

中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展

成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業（旧サポイン・サビサポ事業）） 成長展示・博覧会

■ 目的

中小企業庁「成長型中小企業等研究開発事業」（以下「Go-Tech事業」と記します）、「戦略的基盤技術高度化支援事業」（以下「サポイン事業」と記します）及び「商業・サービス競争力強化連携支援事業」（以下「サビサポ事業」と記します）（下記注1）において、以下の3点を果たすことを目的として開催いたします。

- サポイン事業・サビサポ事業の成果の事業化を支援
- サポイン事業・サビサポ事業・Go-Tech事業の関連中小企業等・研究機関等間のコミュニティの拡大
- Go-Tech事業の制度普及

本展は、中小企業庁の「令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業（展示会出展支援等を通じた事業化支援に関する事業）」の事業予算を活用して実施されます。

注1：令和4年度から「サポイン事業」と「サビサポ事業」が統合されて、「成長型中小企業等研究開発支援事業」（Go-Tech事業）として実施されております。

日程・会場

会期：2022年12月14日（水）～16日（金）

時間：12/14（水）11:00～17:00

12/15（木）10:00～17:00

12/16（金）10:00～16:00

※12/14（水）10:40より「中小企業 新ものづくり・新サービス展」、「新価値創造展」と合同開会式を予定

会場：東京ビッグサイト東8ホール（東京都江東区有明3-11-1） <https://www.bigsite.jp/>
入場料・出展料：無料(事前申込制)



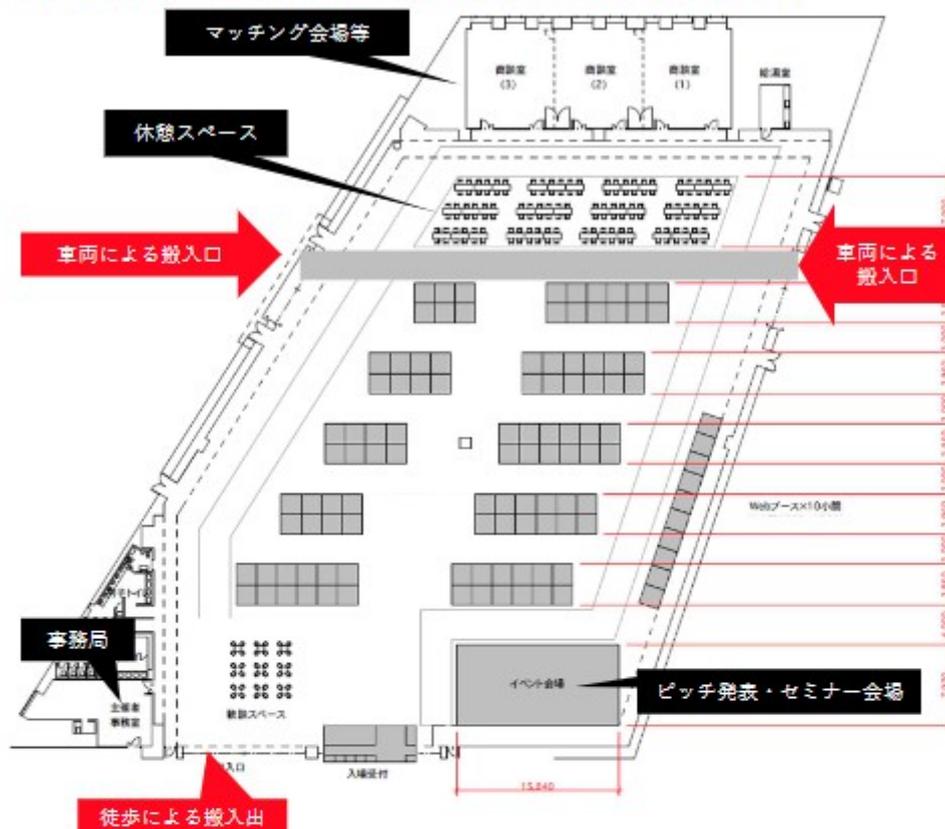


全体スケジュール

	12月13日（火）	12月14日（水）	12月15日（木）	12月16日（金）
7:00	事務局工事			
7:30				
8:00				
8:30				
9:00		9:00▼出展者入場可能	9:00▼出展者入場可能	9:00▼出展者入場可能
9:30				
10:00			開催時間 10:00～17:00	開催時間 10:00～16:00
10:30		10:40▼開会式（共同開催）		
11:00				
11:30		開催時間 11:00～17:00		
12:00				
12:30				
13:00	13:00▼通電予定時間 ▼出展者準備開始			
13:30				
14:00				
14:30				
15:00	出展者 出展準備時間 13:00～18:00			
15:30				
16:00	車両侵入は17時まで			
16:30				▼通電終了 16:30▼車両侵入可能
17:00				
17:30		出展者名刺交換会		
18:00				▼展示物撤収完了
18:30		18:30▼退館時間	18:30▼退館時間	
19:00				
19:30				
20:00				

中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展 会場案内図

※11月16日現在、今後変更になる場合があります。
 ※各出展者のブース配置図については、11/18(金)までにご案内予定でございます。



<出展者のみなさまへ>

12月13日搬入時、会場に着きましたら事務局にお立ち寄りいただき受付をすませてから、ご自身のブースでの作業に取り掛かりください。(事務局前に搬入受付を設置いたします)
 12月16日最終日も会場から搬出される時は事務局にお立ち寄りください。

●感染症対策

搬入日を含めて会期中全て、出展者、装飾作業に携わる方も含めて会場に入る際は、搬入出口にて検温チェック、手指消毒をお願いします。会場内では常にマスクの着用をお願いします。

●出展者バッジの着用

出展者は、搬入日時及び会期中は、事務局指定の出展者バッジの着用をお願いします。1社あたり5枚をあらかじめ提供させていただきます。追加が必要な場合は12ページの申込書をご利用ください。
 またブースの装飾設置作業をされる方は作業員バッジを着用してください。こちらの申込も12ページをご覧ください。お持ちでない場合は、会場内に入ることができません。

●出展者バッジ(イメージ)



搬入について

●事務局の会場施工日程

12月13日(火)0:00～13:00まで基礎ブース工事・電気工事を行います。
各ブースへの通電予定時間は、13日(火)13時を予定しています。

●各出展者様の搬入・小間裝飾工事

会場内で作業される出展者・裝飾業者・運送業者の方も換気チェックをお願いします。
12月13日13時から18時の間で、出展者(裝飾会社)は小間裝飾を行ってください。
なお、展示準備に時間が必要な場合は、事前に事務局にご相談ください。

※会場内にバックヤードはございません。搬入物品の梱包資材等は、出展者の責任において
保管から搬入出まで行ってください。

●搬入出庫可証 (イメージ)



●展示品・裝飾物の搬入方法について

展示品・裝飾物の搬入方法については以下の方法をお願いします。

- ①持参 会場まで徒歩で持参
- ②車面による搬入 下記「車面乗り入れ時間」「車面により搬入される方へ」「会期中の車面の留め置き」をご確認ください。
- ③宅配便等利用 下記「宅配便による搬入」「宅配便による搬出」をご確認ください。

●車面乗り入れ時間

大型の展示物等、施工時間がかかると思われる場合は、事務局へご相談ください。
基本的に13日13時から車面搬入可能です。
搬入搬出に関しては、事前に「搬入出庫可証」が必要です。(⇒12ページ申込書)
なお、裝飾業者・運送業者による搬入出庫についても同様です。

●車面により搬入される方へ

東京ビッグサイトの「東8ホールに隣接するトラックヤード」(地図参照)に一度車面を入れてください。
ホール内の状況から、車面搬入が可能になりましたら、順番に警備スタッフがご案内いたします。
事前にお返しの「搬入出庫可証」は、必要事項をご記入の上で、警備スタッフが視認できるようにフロントガラスの見える位置に置いてください。

●会期中の車面の留め置き

会期中の車面の留め置きはできません。→9ページ有料駐車場MAP参照

■宅配便による搬入

宅配便等の送付状は下記をご参照ください。
尚、基本として事務局では宅配便等の荷物を代理でお受け取りすることはできません。
受け取り日時に出展小間内にてご担当者が直接お受け取りください。

※宅配便送り状記入見本

発送先住所	〒135-0063 江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト 東8ホール 【中小企業 研究開発展】気付
ブース番号	※必ずご記入ください
出展社名	〇〇株式会社
ご担当者	東京太郎
電話番号(携帯)	〇〇〇-1234-5678
受取指定時間	12月13日(火) 〇〇時 ※基本として13時～16時の間

搬出について

●展示品の搬出時間

搬出は12月16日(金)18時展示会終了後、来場者の退場が確認され次原事務局がご案内いたします。
車両による搬出に関しては、事前に「搬入出車両証」が必要です。(⇒12頁申込書)
なお、装飾業者・運送業者による搬出に関しても同様です。

●展示品・装飾物の搬入方法について

展示品・装飾物の搬入方法については以下の方法をお願いします。

- ①持参 会場から徒歩でお持ち帰り
- ②車両による搬出 下記「車両により搬出される方へ」をご確認ください。
- ③宅配便等利用 下記「宅配便による搬出」をご確認ください。

●車両により搬出される方へ

東京ビッグサイトの「東8ホールに隣接するトラックヤード」(地図参照)に一度車両を入れてください。
ホール内の状況から、車両侵入が可能になりましたら、順番に警備スタッフがご案内いたします。
事前にお渡しする「搬入出車両証」は、必要事項をご記入の上で、警備スタッフが視認できるようにフロントガラスの見える位置に置いてください。

■宅配便による搬出(予定)

会期最終日12月16日18時から18時の間、臨時の宅配便(ヤマト運輸)受付をご案内する予定です。
着払い伝票のみ受付可能です。ご利用希望の方は会期最終日に会場内事務局までお申し出ください。

東京ビッグサイト駐車場MAP



	会議棟地下駐車場	南棟立体駐車場
台数	62台 (車椅子用 5台を除く)	349台(車椅子用 8台を除く)
営業時間	8:00~22:00	8:00~22:00
料金	普通車: 250円/30分 1日最大 2,000円 (営業時間内限り) ※交通系ICカード利用可	普通車: 250円/30分 1日最大 2,000円 ※交通系ICカード利用可
制限	高さ 2.5m、幅 1.9m 長さ 5.3m、重量 2.5t	高さ 2.1m 幅 1.9m 長さ 5.0m 重量 2.5 t

※イベントの状況により変更される場合があります。

東京ビッグサイトの駐車場をご利用の方は下記のホームページで必ず詳細をご確認くださいませようお願いします。
<https://www.bigsight.jp/visitor/parking/>

ブースについて

■ブース内に含まれるもの

- システムパネル基礎:バックパネル、袖パネル及び社名版
※角小間の場合は通路側の袖パネルは基本としてはお付けしておりませんので、袖パネルが必要な場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。

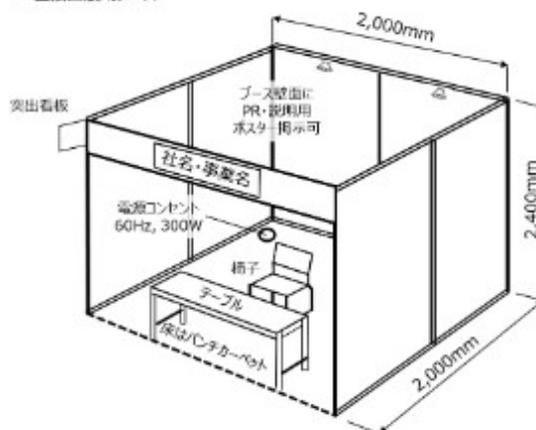
- 床面：パンチカーペット施設
※色指定不可
- 電気：コンセント（300w使用可）
バックパネルにスポットライト2灯
- 備品：1200テーブル 1台
（w1200 x d 600 x h 700）
白クロス付き
パイプ椅子 1脚

- 社名版は各社一枚となります。
※社名版の仕様は、スチレンボード白地に黒ゴシック文字です。
出展申込時にいただいたサポイン計画名と社名を表示します。

- システムパネルへのパネルポスター等の取付は、S字金具+チェーン又はマジックテープ等にて行ってください。
（上記取付用部材は、当日事務局にて無料でご用意しております。）

上記以外に電気工事の追加、またはテーブル等備品の追加は別途申込が必要になります。電気工事については13ページ、備品については14～15ページをご覧ください。これらの追加分については、会期後請負業者から直接請求書が出展者に届きますので、記載されている所定の期日までにお支払いをお願いします。

■直接出展用ブース



■社名版イメージ(サイズW1200×H300)

都道府県

■■■による●●機能の利用拡大

□□□株式会社

ブース内での注意事項

下記の項目は厳守して頂く注意事項です

●裸火の使用は原則禁止

裸火とは気体、固体燃料を使用する火気器具などで、炎・火花を発生させるもの、または発熱部を外部に露出するものをいいます

●次の危険物品の持ち込みは禁止

第1石油類(ガソリン・シンナー類)、アルコール類、第2石油類(灯油、軽油類)
第3石油類(重油、マシン油、潤滑油類)、第4石油類(スピンドル油、ギヤ油、潤滑油、
作動油類)動植物油類(食用油)、指定可燃物(大量マッチ、セルロイド類、ローソク、
印刷機などのインク、洗浄液類、火薬等)、可燃性ガス(アセチレン、水素、ブタン、
プロパン、ベンゼン、アンモニア)火薬類(がん具燐火、爆薬)、アロマオイル
水素関連機器

●小間内高さ制限は2.7m。

ブース壁面の高さは2.4mですが、展示製品の高さが上限2.7mを超える場合は、事前に事務局へお届け下さい。

●出展物の保護

事務局では搬入期間を含めて、期間中防火・盗難の防止及び安全の確保にあたりますが
出展者が火災・盗難により被った損害について責任は一切負いかねます。
小間内出展物の保護・管理に付いては出展者が各自行ってください。
展示物に関しては出展者が個別に保険を掛けることをお勧めします。

●事故防止及び責任

出展者は、出展物の搬入出・展示・実演・撤去に際して安全に務め、事故発生防止に
務めてください。事務局は、出展者が行う作業において必要が認められた際は、事故発生
防止のための処置を命じ、またはその作業の制限もしくは中止を求める場合があります。

●出展者バッジの着用

出展者は、搬入出時及び会期中は、事務局指定の出展者バッジ、またブースの装飾設置作業
をされる方は作業員バッジ着用してください。
お持ちでない場合は、会場内に入ることができません。

●小間内出展者関係の常駐

開催期間中、ブース内には事務局指定の出展者バッジを着用した出展関係者は常駐し、来場
者との対応、出展物の管理にあたってください。
また出展責任者は電源スイッチ等の安全を確認の上、退館して下さい。

●呼び出し放送の制限

会期中の呼び出し放送は致しません。

●会場内音量制限

マイク・BGM・ビデオ機器などを使用される出展者は、近隣の小間への配慮をお願いし
ます。音量は60デシベル以下をおまもりください。
近隣出展者からクレームのあった場合は、事務局の指示に従い、直ちに音量を下げて
ください。

出展者バッジ、搬入出車両証申込書 (Mailでお送りください。)

展示会のスムーズな運営の為、下記の書類の提出をお願いします。提出締め切り11月25日(金)
 (E-mail: jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp)

◆出展者情報

御社名			
ご住所	〒		
ご担当者情報	所属	お名前	
ご連絡先	電話	携帯	
メールアドレス			

入力用のファイルは別途メールで送付いたします

◆ブース内装飾について(どちらかにチェックをしてください。)

- 1: 自社施工
- 2: 他社施工 他社施工の場合、業者の連絡先をご記入ください

施工業者		連絡先	
担当者名			

◆追加依頼

出展者バッジ(1社あたり5枚提供。追加分記入ください)	枚
作業員リボン(外部施工業者等が会場内で作業する場合に必要です)	枚
搬入出車両証(会場内の滞在時間は1時間以内をお願いします)	枚

◆出展者バッジ等お届け先(上記と異なる場合はご記入ください)

--

提出先: 〒102-0085 千代田区六番町 2-14 東越六番町ビル 朝リベルタス・コンサルティング内
 中小企業研究開発(サポイン・サビサポ) 展事務局 ☎: 03-6262-7678/Fax: 03-6262-3040
 E-mail: jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp

電気工事追加申込書 (Mailでお送りください。)

※追加申請締め切り11月25日 (金)

発注日 月 日

(E-mail : jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp)

中小企業 研究開発(サポイン・サビサポ)展
事務局 宛
下記の備品を追加手配ください。

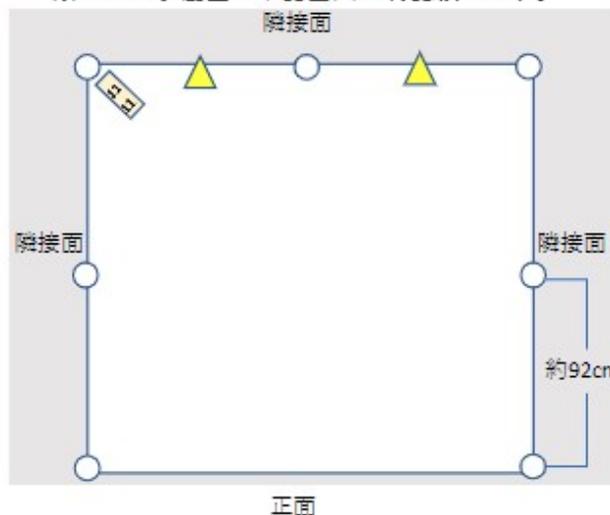
ブース番号 御社名	
ご担当者様	
ご住所 携帯電話	

入力用のファイルは別途メールで送付いたします

追加項目	金額(税別)	数量	金額
1 コンセント追加工事	3,000円		
2 照明追加 (壁面用LEDライト)	3,200円		
3 照明追加 (アーム付きライト)	3,800円		
4 その他(具体的に記入ください)			
合計			

(注) 基本プランは500wまでとなります。それ以上が必要な場合、1kw (500w追加) で7000円〜となります。

※追加工事位置を下記図面に明記願います。



※約92cm×2面、ポール(図面○印)約6cm、ライトは各壁面パネルの中心に付く想定です。

ご請求先：上記と異なる場合はご記入ください。

提出先：〒102-0085 千代田区六番町 2-14 東越六番町ビル 糊リベルタス・コンサルティング内
中小企業研究開発 (サポイン・サビサポ) 展事務局 ☎: 03-6262-7678/Fax : 03-6262-3040
E-mail : jimukyoku@gotech-tenjikai.go.jp

追加レンタル備品

出展に際し、追加でご要望のある場合は、11月25日（金）までに事務局あてにご連絡ください。
※記載されていないご要望の備品については事務局にご相談ください。

No.1 デコラテーブル	No.2 デコラテーブル	No.3 受付カウンター	No.4 受付カウンター
 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 1200 D: 452 H: 700 【カラー】 【素材】 天板:メラミン化粧板/クロームメッキ-系ラタン式 【価格】 3,800円(税別)</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 1500 D: 450 H: 700 【カラー】 【素材】 天板:メラミン化粧板/クロームメッキ-系ラタン式 【価格】 3,500円(税別)</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 1200 D: 600 H: 750 【カラー】 W 【素材】 メラミン 【価格】 12,000円(税別)</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 1500 D: 600 H: 750 【カラー】 W 【素材】 メラミン 【価格】 13,000円(税別)</p>
No.5 折り畳みイス	No.6 貴名受け	No.7 カタログスタンド	No.8 パネルスタンド
 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 420 D: 460 SH: 400 H: 700 【カラー】 BR 【素材】 鋼板・合成皮革 【価格】 600円(税別) 【取付料】 サイズ/形状/数量/送料/その他</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 【カラー】 【素材】 【価格】 1,500円(税別)</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 250 D: 350 H: 1240 【カラー】 【素材】 【価格】 5,000円(税別) 【取付料】 カタログ/A4用 600枚</p>	 <p>商品仕様 【サイズ】 W: 450 D: 450 H: 1130-1600 【カラー】 【素材】 【価格】 5,500円(税別) 【取付料】 カラー: W500×H500×H1000×H1100(900×900mm)</p>
No.9 32インチモニター	No.10 43インチモニター	No.11 ノートPC	No.12 飛沫防止パーティション
 <p>32inchモニター 壁取付金具付き @56,500(税別)</p> <p>※再生用デバイスはお持ち込み下さい。</p>	 <p>43inchモニター 壁取付金具付き @66,000(税別)</p> <p>※再生用デバイスはお持ち込み下さい。</p>	 <p>SSD搭載 Core i5 第8世代 メモリ 32GB</p> <p>Note PC@20,000(税別) ※レンタル期間は施工日から会期終了日までとなります。</p>	 <p>飛沫防止パーティション サイズW500×H500×D120 (開口部: W200×H100) その他: 折り切り/アクリル (組み立て式) ※受注数量のため納期が1週間程かかります。お早めにお申し込み下さい。 @4500(税別)</p>

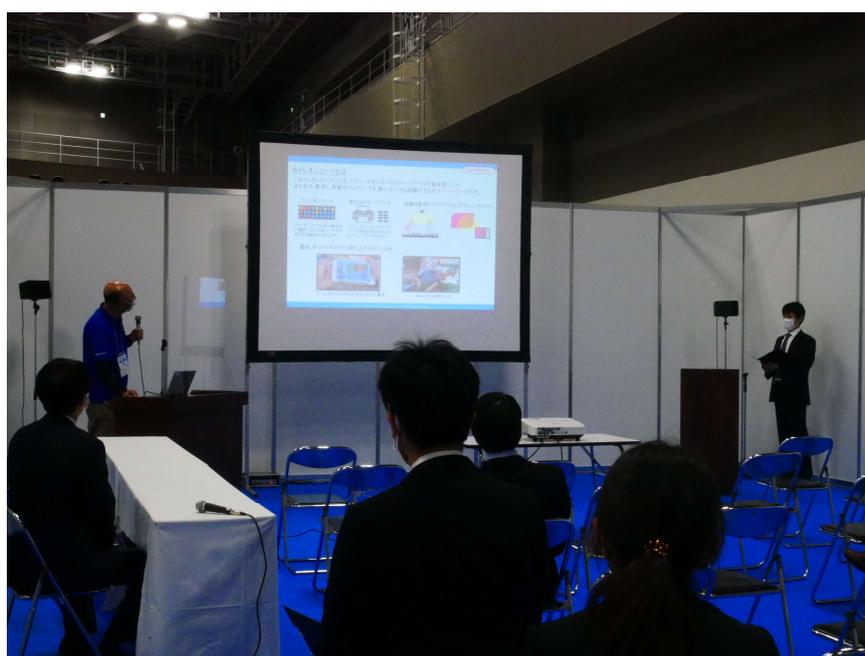
(注) No.11 Note PCにつきまして、会議後に会場での返却となります。万が一、紛失、盗難、故障、お持ち帰りしてしまった場合の延長や送料などは自己負担となりますので予めご了承ください。

2-6 イベントの実施

(1) ピッチ発表の実施

出展企業の技術・製品の売り込みのみならず、新たな分野間での企業連携等を促進するべく、出展者によるピッチ発表（各10分程度）を実施することとし、出展者とスケジュール調整等を行った。次頁にピッチ発表一覧を示す。

ピッチ発表の様様



【ピッチイベント発表者一覧】

サポイン計画名	出展形態	企業名
次世代カラーバーコードの独自技術「カメレオンコード」を活用した個体を特定する動線の認識・収集・分析のデジタル化と AI 解析による生産性向上の高度化技術開発	リアル	株式会社インフォファーム
高機能材料を用いたセラミック-金属ハイブリッド金型の開発	リアル	美濃窯業株式会社
配向性ファイバー足場で培養した神経細胞とこれを用いた薬の有効性と毒性を信頼性高く評価できる試験法の開発	リアル	株式会社幹細胞&デバイス研究所
自然空気(GWP=1)を冷媒として用いる極低温冷凍空調機の開発	リアル	Zメカニズム技研株式会社
次世代半導体プロセスに対応可能な超臨界技術を用いたウエハ乾燥技術の開発	リアル	株式会社レクザム
自働車構造用CFRP-金属ハイブリッド部品のプレス成形加工技術に関する研究	リアル	矢島工業株式会社
VRゴーグルによる3D脳機能定点観測の研究開発	リアル	MIG株式会社
液体を検査媒体とすることで高圧工程を安全・低コストに実現する量産対応高圧漏れ検査装置の開発	リアル	VISTA株式会社
IoTデバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発	リアル	株式会社三友製作所

(2) ビジネスマッチング及び商談の実施

運営事務局によるビジネスマッチング及び商談調整を実施した。事前に出展者の希望するマッチング先の情報を収集し、事務局が打診・調整を図り、当日のマッチングにつなげた。

(3) 中小企業診断士による特別講演（セミナー）等

中小企業庁による Go-Tech 事業の紹介を行い、Go-Tech 事業として新たに始まった出資獲得枠の制度に関連して「資金調達の実現（いま）～補助金と増資・ファイナンスの基本～」と題し、中小企業診断士1名による特別講演（セミナー）を実施した。

(4) マッチングの仲介

ビジネスマッチングのため、出展企業に詳細情報徴求シートへの記入・提出を依頼し、そこに記載されたマッチング希望情報に基づきマッチングの仲介を行った。

【詳細情報徴求シート入力フォーム】

◆黄色セルは必須項目です。入力されるとセルの色は白に変わり、チェック欄の表示が消えます。
 ◆必要情報をご入力の上、貴社のサポイン・サビサ事業の成果である製品・商品の写真・図2〜3枚を併せてお送り下さい。
 ◆項目欄の緑色の項目（開示欄に＊印）は、Webサイト等で開示させて頂く場合がございます。
 ◎本展事務局では、出展企業様の成果の事業化を後押しするため、川下企業等とのマッチング（商談仲介等）を重視しています。ぜひ下記の「マッチングに関する要望」欄に貴社のご要望を記入してください。

No.	開示	項目	入力欄	チェック（必須項目が未入力の場合表示）
1		出展登録時のID（メールアドレス）		☑入力不要
2	*	【事業名】を正確に記入してください。 【ガイドブックの「事業名」に記載される項目です】		☑入力必須
3	*	【本社】所在地を市区町村以降も含め正確に記入してください。（郵便番号も併記してください） 【ガイドブックの「所在地」に記載される項目です】		☑入力必須
4	*	【主たる研究開発拠所】所在地を市区町村以降も含め正確に記入してください。（郵便番号も併記してください） 【ガイドブックの「主たる研究開発拠所」に記載される項目です】		☑入力必須
5	*	【貴社の主要事業の概要について、右欄に50字以内で記入してください。（自由記述）】 【ガイドブックの「主要事業概要」に記載される項目です】		☑入力必須
6	*	出展する「基盤技術」を右欄の13区分から選んでチェックを入れてください。（複数選択可） 【ガイドブックの「基盤技術」に記載される項目です】	<input type="checkbox"/> 1. デザイン開発 <input type="checkbox"/> 2. 情報処理 <input type="checkbox"/> 3. 精密加工 <input type="checkbox"/> 4. 製造環境 <input type="checkbox"/> 5. 接合・異材 <input type="checkbox"/> 6. 立体造形 <input type="checkbox"/> 7. 表面処理 <input type="checkbox"/> 8. 機械制御 <input type="checkbox"/> 9. 複合・新機能材料 <input type="checkbox"/> 10. 材料製造プロセス <input type="checkbox"/> 11. バイオ <input type="checkbox"/> 12. 測定計測 <input type="checkbox"/> 13. 先端技術を活用した高度なサービス開発	☑選択必須
7	*	出展する「利用技術」を右欄の32区分から選んでチェックを入れてください。（複数選択可） 【ガイドブックの「利用技術」に記載される項目です】	<input type="checkbox"/> 1. 設計 <input type="checkbox"/> 2. 圧縮成形、押出成形、空気の機械による加工、射出成形、鍛造、鋳造及びプレス加工 <input type="checkbox"/> 3. 圧延、伸縮及び引抜き <input type="checkbox"/> 4. 研磨、削削、切削及び表面処理 <input type="checkbox"/> 5. 塗毛及び防錆 <input type="checkbox"/> 6. 製織、製毛及び編成 <input type="checkbox"/> 7. 織製 <input type="checkbox"/> 8. 染色 <input type="checkbox"/> 9. 粉砕 <input type="checkbox"/> 10. 紡織 <input type="checkbox"/> 11. 製紙 <input type="checkbox"/> 12. 分離 <input type="checkbox"/> 13. 洗浄 <input type="checkbox"/> 14. 熱処理 <input type="checkbox"/> 15. 溶接 <input type="checkbox"/> 16. 溶射 <input type="checkbox"/> 17. 塗装及びめっき <input type="checkbox"/> 18. 精製 <input type="checkbox"/> 19. 加水分解及び電気分解 <input type="checkbox"/> 20. 発酵 <input type="checkbox"/> 21. 重合 <input type="checkbox"/> 22. 真空の維持 <input type="checkbox"/> 23. 巻取り <input type="checkbox"/> 24. 製造過程の管理 <input type="checkbox"/> 25. 機械器具の修理及び調整 <input type="checkbox"/> 26. 非破壊検査及び物理的測定 <input type="checkbox"/> 27. AI <input type="checkbox"/> 28. IoT <input type="checkbox"/> 29. ブロックチェーン <input type="checkbox"/> 30. XR <input type="checkbox"/> 31. ビジネス監査 <input type="checkbox"/> 32. その他	☑選択必須
8	*	上記で「その他」を選択した場合はその内容を記入してください。 出展する成果のターゲットに該当する「川下（販売先）分野」を右欄の21区分から選んでチェックを入れてください。（複数選択可） 【ガイドブックの「販売先分野」に記載される項目です】	<input type="checkbox"/> 1. 医療・健康・介護 <input type="checkbox"/> 2. 環境・エネルギー <input type="checkbox"/> 3. 航空・宇宙 <input type="checkbox"/> 4. 自動車 <input type="checkbox"/> 5. ロボット <input type="checkbox"/> 6. 農業 <input type="checkbox"/> 7. コンタクトレス <input type="checkbox"/> 8. 星雲機械 <input type="checkbox"/> 9. 情報通信 <input type="checkbox"/> 10. スマート家電 <input type="checkbox"/> 11. 食品 <input type="checkbox"/> 12. 建築物・構造物 <input type="checkbox"/> 13. 電池 <input type="checkbox"/> 14. 半導体 <input type="checkbox"/> 15. 工作機械 <input type="checkbox"/> 16. エコフレンド <input type="checkbox"/> 17. 印刷・情報記録 <input type="checkbox"/> 18. 光学機器 <input type="checkbox"/> 19. 化学製品製造 <input type="checkbox"/> 20. 物流・流通 <input type="checkbox"/> 21. その他	☑選択必須
9		上記で「その他」を選択した場合はその内容を記入してください。		
10	*	出展する成果が対応可能な技術ニーズ及び想定される利用シーンについて、100字以内で台帳に具体的に記入してください。（自由記述） 【ガイドブックの「技術ニーズ・期待されるシーン」に記載される項目です。ここに記入いただいた内容をそのままガイドブックに掲載することを予定しています】		☑入力必須
11	*	出展する成果の特長や特長を端的に示すワード（例えば「Mass」「検査精度」「ドローン」など）を、右欄に5つまで記入してください。（自由記述）	① ② ③ ④ ⑤	☑入力必須
12				
13				
14				
15				
16	*	出展する成果を生んだサポイン事業・サビサ事業の概要について、右欄に200字以内で記入してください。（自由記述） 【ガイドブックの「サポイン事業・サビサ事業の概要」に記載される項目です。ここに記入いただいた内容をそのままガイドブックに掲載することを予定しています】		☑入力必須
17	*	出展する成果の他の製品・商品比較としての優位性について、「機能・性能」「コストパフォーマンス」「その他」の別にそれぞれ、右欄に100字以内で記入してください。	機能・性能	☑入力必須
18	*	【ガイドブックの「機能・性能」「コストパフォーマンス」の別にそれぞれ、右欄に100字以内で記入してください。ここに記入いただいた内容をそのままガイドブックに掲載することを予定しています】	コストパフォーマンス	☑入力必須
19	*	【ガイドブックの「機能・性能」「コストパフォーマンス」の別にそれぞれ、右欄に100字以内で記入してください。ここに記入いただいた内容をそのままガイドブックに掲載することを予定しています】	その他	☑入力必須
20	*	出展する成果に関して、川下企業等の買手に対するPRを、右欄に200字以内で記入してください。（自由記述） 【ガイドブックの「買手へのメッセージ」に記載される項目です。ここに記入いただいた内容をそのままガイドブックに掲載することを予定しています】		☑入力必須

【詳細情報徴求シート入力フォーム（続き）】

21	マッチングに関する要望	出展期間中に 商談を希望する企業 があれば、右欄にその名称をフルネームでご記入下さい。可能であれば部署名・担当者名も、ぜひ記入してください。（自由記述）	商談を希望する企業①			
22			商談を希望する企業②			
23		(注) ○「商談を希望する企業」とは、貴社の既存の顧客である企業に加えて、新たに商談を希望される企業も入ります。 ○事務局では、ご記入頂いた企業と貴社の開催期間中に商談等を行えるよう支援致します。 ○違って、ご連絡を差し上げることをご留意下さい。	商談を希望する企業③			
24			商談を希望する企業④			
25			商談を希望する企業⑤			
26	出展期間中に 支援・助言などの相談したい相手 があれば、右欄にその組織の名称をフルネームでご記入下さい。可能であれば部署名・担当者名も、ぜひ記入してください。（自由記述）		相談したい相手①			
27			相談したい相手②			
28		(注) ○「相談したい相手」とは、大学・研究機関の専門家、専門会社、地銀・債金・ファンド・VCなどを指します。 ○事務局では、ご記入頂いた相手と貴社の開催期間中に面会・相談等を行えるよう支援致します。 ○違って、ご連絡を差し上げることをご留意下さい。		相談したい相手③		
29			相談したい相手④			
30			相談したい相手⑤			
31	個別商談等日時及び対応希望	個別商談・面談が可能な日時の欄にチェックを入れてください。	12月14日	<input type="checkbox"/> 11時～ <input type="checkbox"/> 12時～ <input type="checkbox"/> 13時～ <input type="checkbox"/> 14時～ <input type="checkbox"/> 15時～ <input type="checkbox"/> 16時～	♡選択必須	
32			12月15日	<input type="checkbox"/> 10時～ <input type="checkbox"/> 11時～ <input type="checkbox"/> 12時～ <input type="checkbox"/> 13時～ <input type="checkbox"/> 14時～ <input type="checkbox"/> 15時～ <input type="checkbox"/> 16時～		
33			12月16日	<input type="checkbox"/> 10時～ <input type="checkbox"/> 11時～ <input type="checkbox"/> 12時～ <input type="checkbox"/> 13時～ <input type="checkbox"/> 14時～ <input type="checkbox"/> 15時～		
34		出展期間中に個別商談・面談に対応される予定の方々の全員の氏名・役職をいずれもフルネームで右欄に記入してください。（自由記述）	①			
35		(注) 6人以上の場合においては、⑤の中に複数お書きください。	②			
36		③				
37		④				
38		⑤				
37	展示物	出展ブースで予定している展示物を右欄から選んでチェックを入れてください。（複数選択可） なお、オンライン出展の場合は、別途ご相談させて頂く場合があります。 上記で「その他」を選んだ方は、右欄に具体的に記入してください。	<input type="checkbox"/> 商品・製品 <input type="checkbox"/> 画像上映 <input type="checkbox"/> ポスター・パネル <input type="checkbox"/> その他			
38						
39		1日目（12/14）の展示会終了後に会場内で行う出展企業同士の名利交換会への参加を希望されますか。右欄のプルダウンメニューより選択してください。			♡選択必須	
40	広報のために、ポスターは必要ですか。必要な場合は、右欄に必要な枚数を記入してください。 (注) ○ポスターはチラシの裏面とほぼ同様の情報が記載してありますが、裏面はごさいませぬ。 ○チラシは、メールに添付してあるファイルを、プリントアウトしてご利用ください。	ポスター（A2版）枚数	枚			
41	開催期間中（毎日）の13:00～14:00に実施予定の出展者ピッチ発表会（1件10分程度）での発表を希望する場合は、右欄の日時の欄にチェックを入れて下さい。 (注) 基本的に希望日程の中からピッチ発表1回分の特権枠を割り当てさせていただきます。応募多数の場合は、先着順となります。また、枠に空きが余裕の場合は、複数回発表いただくことも可能です。	12月14日	<input type="checkbox"/> 13:00～14:00			
42		12月15日	<input type="checkbox"/> 13:00～14:00			
43		12月16日	<input type="checkbox"/> 13:00～14:00			
42	出展ブース内にA1サイズのポスターを掲示して頂けます。電子データを事前に送って頂ければ当事務局で印刷致します。このサービスを利用される場合は、右欄に枚数を記入してください。	枚数	枚			
43	貴社WEBサイトにて、本展示会WEBサイトとのバーナードリンク（相互バーナード交換）を行って頂けますか。右欄のプルダウンメニューから選択してください。「バーナードリンクができる」場合は、「URL」を入力ください。	可否			♡選択必須	
44		URL				
45	貴社のWEBサイトURL、営業窓口（氏名・電話番号・メールアドレス）としての問合せ先を右欄に記入してください。 *【ガイドブックの「URL」に記載される項目です】	URL				
46		営業窓口の問合せ先				
47	展示会の期間中に出展ブース運営を担当される方の人数及び運営責任者（氏名・電話番号・メールアドレス）を記入してください。 *【ガイドブックの「出展担当」に記載される項目です。ここに記入いただいた担当者のお名前、連絡先電話番号、連絡先メールアドレスをそのままガイドブックに掲載することを予定しています】 ※電話番号とメールアドレスは会社代表のものを記載いただいても構いません	人数	人			
48		運営責任者			♡入力必須	
49	オンライン出展をされる企業のお名前を教えてください 【オンライン出展をされる企業のお名前を教えてください】 会期中にオンライン会議システム（Teams又はWebex）を利用して、会場とつなぐことが可能です。オンライン接続を希望される場合は、出展が可能な日程を右欄から選んでチェックを入れてください。（複数選択可）		<input type="checkbox"/> 12月14日（水） <input type="checkbox"/> 12月15日（木） <input type="checkbox"/> 12月16日（金） <input type="checkbox"/> 希望しない		♡選択必須	

<ご協力有難うございました。本エグゼセル表と製品・商品の写真・図2～3枚を併せてお送り下さい！>
【提供いただいた写真や画像もガイドブック等に掲載予定です】

(5) 商談件数

開催期間を通じた実際のブース来訪件数、名刺交換件数、商談件数は以下のとおり。

問10. 出展期間中のブース訪問社数(新規顧客)

①0	0 (0.0%)
②1~10	17 (32.1%)
③11~20	9 (17.0%)
④21~30	12 (22.6%)
⑤31~40	8 (15.1%)
⑥41~50	2 (3.8%)
⑦51以上	3 (5.7%)
(無回答)	2 (3.8%)
合計	53 (100.0%)

問11. 出展期間中のブース訪問社数(既存顧客)

①0	9 (17.0%)
②1~10	35 (66.0%)
③11~20	3 (5.7%)
④21~30	3 (5.7%)
⑤31~40	1 (1.9%)
⑥41~50	0 (0.0%)
⑦51以上	0 (0.0%)
(無回答)	2 (3.8%)
合計	53 (100.0%)

問12. 出展期間中の名刺交換社数(新規顧客)

①0	0 (0.0%)
②1~10	11 (20.8%)
③11~20	18 (34.0%)
④21~30	16 (30.2%)
⑤31~40	2 (3.8%)
⑥41~50	2 (3.8%)
⑦51以上	2 (3.8%)
(無回答)	2 (3.8%)
合計	53 (100.0%)

問13. 出展期間中の名刺交換社数(既存顧客)

①0	12 (22.6%)
②1~10	32 (60.4%)
③11~20	2 (3.8%)
④21~30	4 (7.5%)
⑤31~40	0 (0.0%)
⑥41~50	0 (0.0%)
⑦51以上	1 (1.9%)
(無回答)	2 (3.8%)
合計	53 (100.0%)

問14. 出展期間中の商談件数(新規顧客)

①0	26 (49.1%)
②1~10	22 (41.5%)
③11~20	1 (1.9%)
④21~30	1 (1.9%)
⑤31~40	0 (0.0%)
⑥41~50	0 (0.0%)
⑦51以上	0 (0.0%)
(無回答)	3 (5.7%)
合計	53 (100.0%)

問15. 出展期間中の商談件数(既存顧客)

①0	32 (60.4%)
②1~10	18 (34.0%)
③11~20	0 (0.0%)
④21~30	0 (0.0%)
⑤31~40	0 (0.0%)
⑥41~50	0 (0.0%)
⑦51以上	0 (0.0%)
(無回答)	3 (5.7%)
合計	53 (100.0%)

2-7 来場者募集(集客)

(1) 集客のための周知・広報

展示会開催に向けて、集客のための周知・広報（新聞、メディア等）や、来場促進ツール（チラシ・ポスター等）の作成・配布、WEB サイトでの来場者登録を行った。

【中小企業研究開発（サポイン・サビサポ）展 チラシ】

成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業（旧サポイン・サビサポ事業））成果展示・商談会

中小企業研究開発（サポイン・サビサポ）展

出展無料

出展予定100社

入場無料



Go-Tech 事業（旧サポイン・サビサポ事業） の成果に関する展示商談会

開催日： 2022 年 12 月 14 日（水） 11:00 ～ 17:00
15 日（木） 10:00 ～ 17:00
16 日（金） 10:00 ～ 16:00

場所： 東京ビッグサイト 東8ホール
（東京都江東区有明3-11-1）

■ 本年度の特長 ■

1. 出展者枠の大幅な拡大
2. 併催展との来場者回遊を強化
3. 新規顧客獲得・販路拡大につながるマッチング機会を提供
4. 多彩なイベント等の開催

詳細は裏面をご確認ください

[URL] <https://www.gotech-tenjikai.go.jp>

Web サイトにて出展者・川下企業・一般来場者等を順次受付中

- 出展募集は上記 URL で、令和4年11月7日まで先着順で受け付けています。
- 一般来場者・マッチング希望者は、11月上旬頃から受付開始を予定しています。



※本展は、万全な新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて開催します。

同時併催

中小企業 新ものづくり・新サービス展
新価値創造展 2022（第18回中小企業総合展東京）

主催 中小企業庁
共催 全国中小企業団体中央会

(2) 来場者数

来場者（集客）数については、2,000名と設定した（仕様書の指示）。実績値は下記の通りであった。

- ・ 来場者数=1日目 903名、2日目 1,024名、3日目 994名
（計 2,921名、昨年対比 106%）

2-8 会場設営・レイアウト・展示ブース設置

(1) 会場準備

運営事務局設置後、展示会会場である東京ビッグサイトに利用申し込み手続き等を行うとともに、会場利用に係る必要な付属設備（空調・清掃・搬入車両待機所等）を手配し、これらに係る費用を納入した。

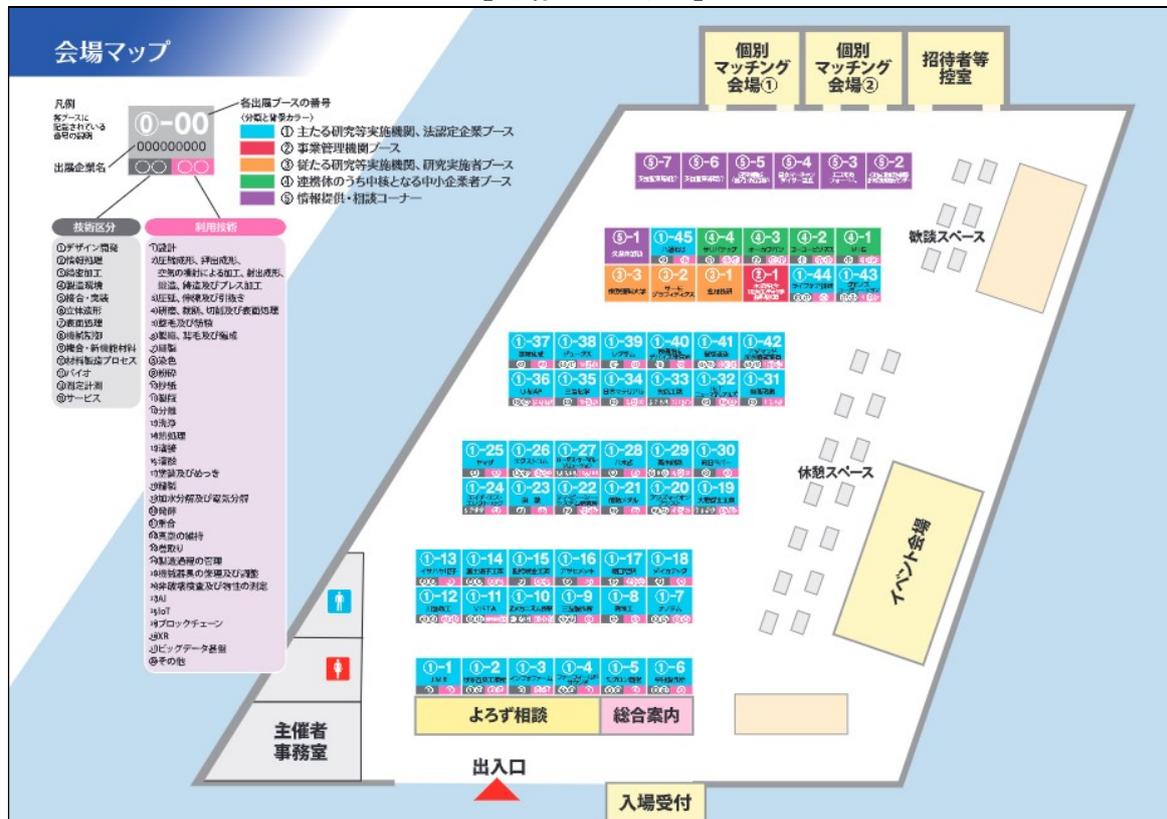
(2) 会場設営

展示ブース、イベント会場（東8ホール）、個別マッチング会場①・②、招待者等控室、入場受付、総合案内カウンター、よろず相談カウンター、休憩スペース、歓談スペースなど、展示会運営に必要な一切の会場設備・機材等の調達・設営・撤去を実施した。

(3) レイアウト

展示ブース数はリアルで55であった。行政情報ブースを1カ所(2ブース分)設置した。ブースに個別番号を付与し、会場マップ記載のブース配置図(番号付記)と照合して会場内の各ブースの位置を確認できるようにした。また、総合案内、よろず相談コーナー(出資等に関する相談コーナーを含む)を設置した。

【会場レイアウト】



(4) 展示ブースのスペック

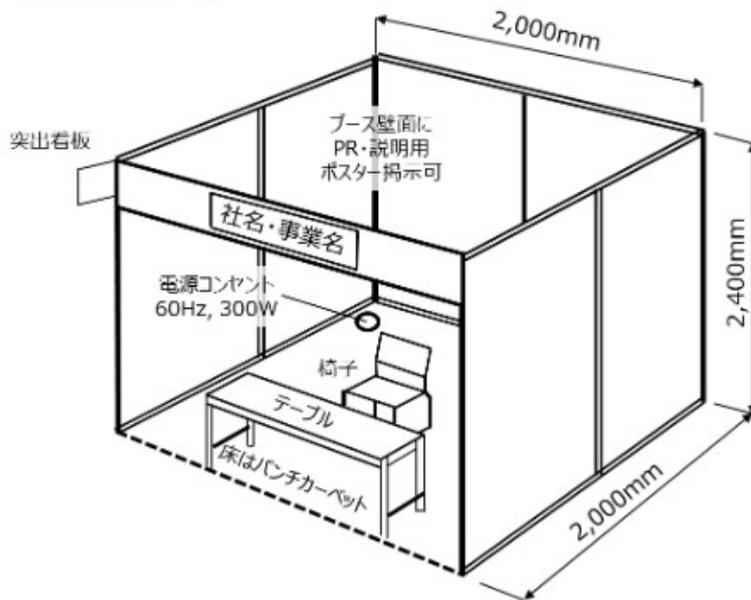
リアル展示ブースのスペックは下記の通り。

【展示ブース（リアル）】

■ 出展ブース規格

【基本規格】 ※仕様の一部変更される場合があります。

■ 直接出展用ブース



■ ブースの大きさ

幅 2,000mm × 奥行 2,000mm × 高さ 2,400mm
(白色・厚み 3mm のペニヤとシルバーのステンレス製支柱の組み合わせ)

■ 基本設備（無料）

- ① バックパネル・サイドパネル（オクタラムシステムパネル・白色）
サイズは幅 1,000mm × 高さ 2,400mm
- ② 社名・事業名看板（幅 1400mm × 高さ 280mm）ゴシック体・黒文字
- ③ 突出看板（幅 300mm × 高さ 280mm）
- ④ サポインまたはサブサポ事業計画概要説明パネル A1 サイズ程度（最大 3 枚までは事務局にて印刷してご提供）
- ⑤ 展示台 1 台（幅 1,800mm × 奥行 600mm × 高さ 700mm 程度、白布付き）
- ⑥ パイプ椅子 1 脚
- ⑦ 床（パンチカーペット貼り）
- ⑧ スポットライト（ブースごとに 2 灯程度を想定）
- ⑨ コンセント 1 個（100V 2 口タイプ、アース無し 300W まで使用可）

※上記以外のオプション設備（有料）は出展者説明会でご説明します。

※展示台、パイプ椅子の使用は必須ではありません。

(5) 基本設備に関する費用

出展ブースに備える基本設備（下記）に関する費用は運営事務局が負担した。

[リアル展示ブースのスペック]

- ・ブースサイズ

約4.0㎡（幅2.0m×奥行2.0m）

- ・基本設備

社名版、電気工事（スポットライト（ブースごとに2灯程度を想定）、コンセント1個（100V、300W）、展示台（幅1600mm×奥行600mm×高さ700mm程度）、パイプ椅子1脚、床（パンチカーペット）、突出看板（幅300mm×高さ280mm）、A1サイズポスター（希望者のみ3枚まで）。

- ・その他ブース装飾・追加備品、追加電気工事等（出展者費用負担のオプションとする）

[オンライン展示のブースのスペック]

基本としてブースサイズ等の基本設備の使用はリアル展示と同様とした。加えて、事務局でパソコンを1台用意し、出展者から会社紹介、技術紹介の動画を提供してもらい、会期中はそれを放映した。

2-9 会場運営

(1) 会場運営

出展者・来場者の受付、来賓対応、会場警備（会場設営時）、交通誘導（出展者の荷物搬入時）、会場清掃等、展示会開催に必要な会場運営業務を実施した。

(2) 来賓者への対応

会期中に来場された政務官及び国会議員への対応（会場案内、他展担当者との案内時間調整等）については、中小企業庁の指示に従って実施した。

(3) ガイドブック作成と配布

会場マップ 3,000 部、出展者紹介のガイドブック 3,000 部を作成し、会期中に出展者及び希望する来場者に配布した。ガイドブックについては開催の約 2 週間前に、専用 WEB サイトで公表した。次頁にガイドブック（一部抜粋）を示す。

(4) 出展者名刺交換会

展示会初日の終了後、出展者同士の交流・連携を支援するため、希望制の名刺交換会を実施した。21 社の参加があった。

出展者名刺交換会の模様



【ガイドブック（一部抜粋）】

中小企業 研究開発（サポイン・サビサポ）展

◆ ガイドブック



中小企業 研究開発 展

（サポイン・サビサポ）

成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業（旧サポイン・サビサポ事業））
成果展示・商談会

ガイドブック

開催日

2022年12月14日 水 11:00～17:00
15日 木 10:00～17:00
16日 金 10:00～16:00

場所

東京ビッグサイト 東8ホール
(東京都江東区有明3-11-1)

中小企業 研究開発 展

(サポイン・サビサポ)

成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業 (旧サポイン・サビサポ事業))
成果展示・商談会

もくじ

はじめに	1
出展成果一覧	2
会場図	4
商談ご参加の皆様へ	6
一般ご来場の皆様へ	7
タイムテーブル/ピッチイベントプログラム	8

出展成果紹介 出展成果概要情報

①中小企業者(主たる研究等実施機関、法認定企業)	9～
②事業管理機関	63～
③中小企業者、大学・公設試等(従たる研究等実施機関、研究実施者)	65～
④連携体のうち中核となる中小企業者(いわゆるコア企業)	69～
⑤情報提供・相談コーナー	75～

参考資料

成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業 (旧サポイン・サビサポ事業)) の概要	79
--	----

はじめに

中小企業庁 技術・経営革新課

中小企業庁では、中小企業等の研究開発等を支援する「戦略的基盤技術高度化支援事業」（以下「サポイン事業」）や「商業・サービス競争力強化連携支援事業」（以下「サビサポ事業」）を実施してきました。本年度からはサポイン事業とサビサポ事業を統合し、「成長型中小企業等研究開発支援事業」（以下「Go-Tech 事業」）を実施しております。

サポイン事業・サポイン事業の成果の事業化支援及びGo-Tech事業の制度普及を目的として本展示会を開催することといたしました。

全国のサポイン・サビサポ事業の成果を一堂に展示することにより、中小企業間のコミュニティの拡大、ビジネスチャンスの提供を行います。

本展示会が、中小企業におけるイノベーションの創出に繋がることを期待しております。

出展成果一覧

① 主たる研究等実施機関、法認定企業

ブース	企業名	計画名
①-1	JMR株式会社	上行号線大駅新駅舎を造るための次世代型大口部テストとデリバリーサービス及び周辺デバイスの統合的な開発
①-2	有限会社坂本石灰工業所	「お灸文化に革命をもたらす「aQua」〜火を使わないお灸のデザイン開発〜」
①-3	株式会社インフォファーム	建設カーゴの拡張がIPアドレスを課税対象とする際の課税回避策の検討/法人向けに建設上の敷設費削減
①-4	ファーフィールドサウンド株式会社	次世代自動車ハンズフリー通話システムのための音声強弱信号処理技術の研究開発
①-5	ミクロン精密株式会社	マイクロ超音波・電解ハイブリッド内面加工装置の開発
①-6	中村製作所株式会社	電気自動車向けIGBT用高性能ヒートシンク成形用金型の開発
①-7	株式会社ナノテム	高純度・高品位加工を実現する列間ハニカムダイヤモンド砥石とマイクロプロセスを統合させた専用研磨システムの開発 吸着・浮上機能を付与した超大型・軽量多孔質セラミックス定盤の開発
①-8	森鉄工株式会社	多軸精密制御による次世代型プレス機及び金型の研究開発
①-9	株式会社三友製作所	IoTデバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発
①-10	エメカニズム技研株式会社	自然空気(GWP=1)を冷媒として用いる極低温冷凍空調機の開発
①-11	VISTA株式会社	液性を検査媒体とすることで再工程を安全・低コストに実現する量産対応高圧洗浄検査装置の開発
①-12	川並鉄工株式会社	炭素繊維複合を適用した航空機構造部品の製作
①-13	イサハヤ電子株式会社	電機機に適合したエレクトロニクス材料の加工方法を創出した次世代型電機部品加工機の開発
①-14	富士端子工業株式会社	アルミ・銅バイメタル端子の製造に資する異形・異種金属の摩擦溶接技術の開発
①-15	豊橋徳金工業株式会社	コンタクトプローブ耐久性向上のための表面処理及び微小部品用小ロットめっきシステムの開発 テノダイアモンド分散複合技術による金めっき被膜の高機能化と金代替めっき技術の開発 めっきの多層化とグラフェン複合銀めっきによる大電流電気接点用めっきの開発 高耐熱耐腐蝕による銅めっきウイスキーの瓶蓋技術と加熱処理の工程削減、省エネルギー技術の開発
①-16	株式会社アサヒメッキ	あらゆるアルミ系素材に適用し、かつ毒物を使用しない表面処理技術の開発
①-17	坂口電熱株式会社	ミニマルレーザ系アニール装置と原子レベルアンチエイリアス(AAA)技術の研究開発
①-18	ダイカテック株式会社	表面テクスチャリングによる環境負荷低減型熱交換器用プレートの開発
①-19	大塚富士工業株式会社	非モルデンパール型レーザークラッディングによる超耐熱主軸受(ボールベアリング)の開発
①-20	株式会社プラズマイオンアシスト	大電流急速充電を可能にした蓄電デバイス用導電性DLC長尺アルミ箔電極の開発
①-21	株式会社翔防メタル	高靱性に優れた硬質アルマイト皮膜形成技術の開発
①-22	株式会社ディ・ビー・シー・システム研究所	航空機用ジェットエンジン向け透熱・蒸散バリアコーティングシステムの研究開発
①-23	株式会社東設	低消費電力半導体の受渡電圧ウエハボイドレス超高速めっき装置技術の開発
①-24	有限会社エイチ・エス・エレクトリック	HIPIMS対応可能なフレキシブルパルス電源システムの開発
①-25	株式会社ヤマダ	電圧調整と電圧を用いた前送制御で発電、その電力により回転を自己制御し、異音の発生を防ぐ建材の材料開発
①-26	エクストコム株式会社	光MEMS技術を用いた数値的な構造の超小型・高精度・高速度変位計測エンコーダの実用化開発
①-27	株式会社ローダス・サーマル・ソリューション	脱炭素を実現する熱ソリューションビジネスエコシステムの共創
①-28	株式会社八木組	PEEK合金加工機アリアシアットのハイブリッド精密成形技術によるX線透過型装置の開発・事業化
①-29	高木産業株式会社	超高分子量ポリエチレン繊維を用いた海洋環境物係留ロープの耐久性向上技術の開発 高耐疲労強度全天候型絶縁ロープの製造・点検技術の開発
①-30	株式会社朝日ラバー	色のバラツキが少なく、視認性に優れた炭素分散特性のある自動車内装照明用LEDの蛍光体層開発
①-31	美濃産業株式会社	高機能材料を用いたセラミックス-金属ハイブリッド金型の開発 潤滑性、耐久性に優れたメカニカルシール用部材の開発
①-32	I&Tニューマテリアルズ株式会社	電磁波・熱・振動の発生抑制が可能な電磁シールド材の開発/7G無線機搭載車載用電磁シールド材の開発

ア-ス	企業名	計画名
①-33	矢島工業株式会社	自動車構造用CFRP-金属ハイブリッド部品のプレス成形加工技術に関する研究
①-34	日本マテリアル株式会社	フォトニクスを用いた高性能マグネシウム製品のクローズド製造プロセスの創成
①-35	三協化学株式会社/日本大学	建築物におけるアスベスト含有仕上塗材を安全かつ完全に除去できる革新的剥離工法の開発
①-36	株式会社U-MAP	AINウィスカー(窒化アルミニウム針状結晶)を用いた次世代高機能放射材料の研究開発
①-37	株式会社置球化成	不燃透明複合材とそれを用いた照明カバーの製造技術の開発
①-38	株式会社ジューグス	燃料電池用電極触媒の低白金化の技術開発と量産技術の開発
①-39	株式会社レクザム	次世代半導体プロセスに対応可能な超微細技術を用いたウエハ乾燥技術の開発
①-40	株式会社幹細胞&デバイス研究所	冠動脈ファイバー足場を構築した幹細胞とこれを用いた薬の有効性と毒性を高精度で評価できる試験法の開発
①-41	産学連携株式会社/株式会社ジェス・インR&D	世界初の磁気ナノフェノールの量産化を目的に、独自の増し・減り・帯電制御による仮設計から製造技術の確立
①-42	アダマンド並本精密宝石株式会社	内視鏡3D光プローブ式精密測定機の開発
①-43	クモノコーポレーション株式会社	「ベガス」と「スケルカ」を用いた路面及び路面下の3次元計測(見える化)の事業化
①-44	ライフケア技研株式会社	発汗計を搭載した世界初のウェアラブル型熱中症予兆チェッカーの開発
①-45	株式会社八幡ねじ	溶液を使用しない環境に優しいアルミニウムの新製造処理「水蒸気プロセス」とその設備の開発

② 事業管理機関

ア-ス	企業名	計画名
②-1	公益財団法人木原記念供養生命科学振興財団	血中の鉄量金属測定によるがんリスク診断技術の開発 等

③ 従たる研究等実施機関、研究実施者

ア-ス	企業名	計画名
③-1	金岡技研株式会社	次世代型ディスプレイを縮小化・低コスト化する超微細なクランプの大型化に向けた製造技術の開発 等
③-2	株式会社サーモグラフィティクス	炭素性グラファイトをヒートスプレッターとして用いた高熱伝導パワームジュール基材の開発 等
③-3	学校法人東京理科大学	キノコ菌培地からの高純度希少糖生産法の研究開発

④ 連携体のうち中核となる中小企業者

ア-ス	企業名	計画名
④-1	MIG株式会社	VRゴーグルによる3D脳機能定点観測の研究開発
④-2	株式会社コーユービジネス	AR技術を活用した教えやすいワクワクするプログラミング教材の開発と提供
④-3	株式会社オーカワパン	AI・IoT活用の中小食品製造業向け「工程計画自動作成システム等」開発・販売事業
④-4	株式会社サリバテック	唾液がん検査サービス事業における病変検出での検査可能な環境構築

⑤ 情報提供・相談コーナー

ア-ス	企業名	計画名
⑤-1	久保井塗装株式会社	サボイン事業の成果展示
⑤-2	公益財団法人くまもと産業振興財団・県林業技術センター	情報提供・相談コーナー
⑤-3	一般社団法人エコまちフォーラム	情報提供・相談コーナー
⑤-4	NPO法人日本マーチャンダイザー協会	情報提供・相談コーナー
⑤-5	個別相談(出資・投資等)	情報提供・相談コーナー
⑤-6	支援施策等紹介	情報提供・相談コーナー
⑤-7	支援施策等紹介	情報提供・相談コーナー

商談ご参加の皆様へ

商談方法

- 予約面談(事前予約)、予約面談(当日予約)、フリー面談の3通りあります。

予約面談(事前予約)

事前にアポイントを取得されている場合は、指定のお時間に出展社ブースに起こしてください。出展社担当者が会場内の商談会場へご案内いたします。

予約面談(当日予約)

当日、ご希望の出展社ブースにて、商談希望の旨をお伝えください。
出展担当者より商談時間をご案内させていただきます。
お時間になりましたら、出展社ブースにお越しください。
※時間によっては、その場で商談ができる場合もございます。

フリー面談

予約なく、面談可能ですが、面談時間は10分程度を目安にしてください。
混みあっている時間帯によっては、名刺交換のみの場合もございますこと、
予めご了承ください。
十分な商談のためには、予約面談をお薦めします。

留意点

- 予約面談において、原則マイク等による個別のお呼び出しはいたしません。
スムーズな進行に向けて時間厳守をお願いします。
- 予約時間になっても、お越しにならない場合は、予約を取消させていただく場合がございます。予めご了承ください。
(面談希望の場合は、再度予約をお取りください)

一般ご来場の皆様へ

アンケート

- 配布しております「アンケート」は、必ず提出をお願いします。
- 出入口に「回収箱」を用意しておりますので、お帰りの際に提出ください。
- なお、当日提出することが難しい場合は、後日事務局まで提出いただけるようお願いいたします。

飲食・喫煙スペース

- ホール内は飲食禁止となります。飲食は会場外にてお願いいたします。
- 館内は禁煙となります。喫煙は、喫煙スペースにてお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策に関するご案内

安心してご参加いただけますよう、お客さまの安全と安心を第一とし、「3密回避」^(※)と「衛生管理」の2つの対策軸を掲げ、以下の対策を行っております。お客さまにはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解並びにご協力を賜りますようお願いいたします。

(※)3密とは、「換気が悪い密閉空間」、「人が集まって過ごすような密集場所」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い密接場面」です(厚生労働省HPより)。

ご参加いただくお客さまへのお願い

検温へのご協力

非接触体温計による検温のご協力を
お願いします。



マスク着用のご協力

マスクの着用にご協力をお願いします。



ソーシャルディスタンス確保のご協力

列にお並びの際など、
お客さま同士との十分な距離の
確保にご協力をお願いします。



手洗い、消毒のご協力

館内の出入口にアルコール系
消毒液を設置しております。手拭消毒、
こまめな手洗いをお願いします。



3密回避と衛生管理への取り組み

人混み回避

消費初期に努め、お客さまとス
タッフ、または他のお客さまとの
間で過度な群衆を避けていただ
けるようご案内いたします。

飛沫防止 パーティション設置

高密集場等にアクリル板・アクリ
ルスクリーンを設置しています。

パブリックスペースの 喚起の徹底

館内においてはこまめな換気が実
施し、空気の流れ替えを行いま
す。

館内の徹底的な 除菌清掃

館内パブリックエリアの換気扇に
ついて、清掃、消毒を頻りに行
い、衛生的な状態を保ちます。

スタッフのマスク 着用

お客さまにご安心して滞在してい
ただけるよう、館内での接客業務
の際マスクの着用を義務付けて
います。

健康と衛生面の 管理徹底

全スタッフの出社前の検温と記録
確認を行うことで、体調不良の
スタッフがお客さまと接することを
排除します。

※展示会終了後に新型コロナウイルスに感染した場合には、速やかに「成長型中小企業等研究開発
支援事業(Go-Tech事業(旧リボーン・リビオ事業))成果展示・商談会」事務局までご連絡をお願いします。

タイムテーブル

Timetable

12/14 水	11:00~17:00 ● ブース展示	13:00~14:00 ● 出展者による ピッチイベント <small>※出展者・来場者が観覧できます</small>	17:00~18:00 ● 出展者名刺交換会 ● 出展者同士による マッチング会 <small>※出展者が参加できます</small>	
12/15 木	10:00~17:00 ● ブース展示	13:00~14:00 ● 出展者による ピッチイベント <small>※出展者・来場者が観覧できます</small>	14:00~15:00 ● 特別 セミナー <small>※出展者・来場者が 観覧できます</small>	15:00~17:00 ● 個別相談 <small>※出展者・来場者が 相談できます</small>
12/16 金	10:00~16:00 ● ブース展示		13:00~14:00 ● 出展者によるピッチイベント <small>※出展者・来場者が観覧できます</small>	

※イベント概要等につきましては、本展 Web サイトにて随時公開いたします。

ピッチイベントプログラム

Pitch Event

ピッチ発表企業	成果名	12/14 水	12/15 木	12/16 金
株式会社インフォファーム	次世代カラーバーコードの独自技術「カメレオンコード」を活用した偽造を防止する船運の記録・収集・分析のデジタル化とAI 解析による生産性向上の高度化技術開発	13:00~13:10		
美添窯業株式会社	高機能材料を用いたセラミックス-金属ハイブリッド製品の開発	13:15~13:25	13:45~13:55	13:45~13:55
株式会社幹細胞&デバイス研究所	肥育性ファイバーで培養した幹細胞とこれを用いた薬の有効性と毒性を信頼性高く評価できる試験法の開発	13:30~13:40		
Zメカニズム技研株式会社	自然空気(GWP=1)を冷媒として用いる樹形型冷凍空調機の開発		13:00~13:10	
株式会社レクザム	次世代半導体プロセスに対応可能な超微細技術を用いたウエハ乾燥技術の開発	13:45~13:55	13:15~13:25	
矢島工業株式会社	自動車用CFRP-金属ハイブリッド部品のプレス成形加工技術に関する研究		13:30~13:40	
MIG株式会社	VRゴーグルによる3D超精密測定技術の研究開発			13:00~13:10
VISTA株式会社	液体を検査媒体とすることで高圧工程を安全・低コストに実現する厚膜対応高圧薄れ検査装置の開発			13:15~13:25
株式会社三友製作所	IoTデバイス故障解析用プラズマ精密探傷装置の開発			13:30~13:40

※ピッチ発表企業や時間帯は変更となる可能性があります。

※詳細はピッチ イベント会場入り口に設置している案内看板にてご確認ください。

2-10 WEB 出展会場の運営

WEB 展示ブースのスペックは下記の通り。

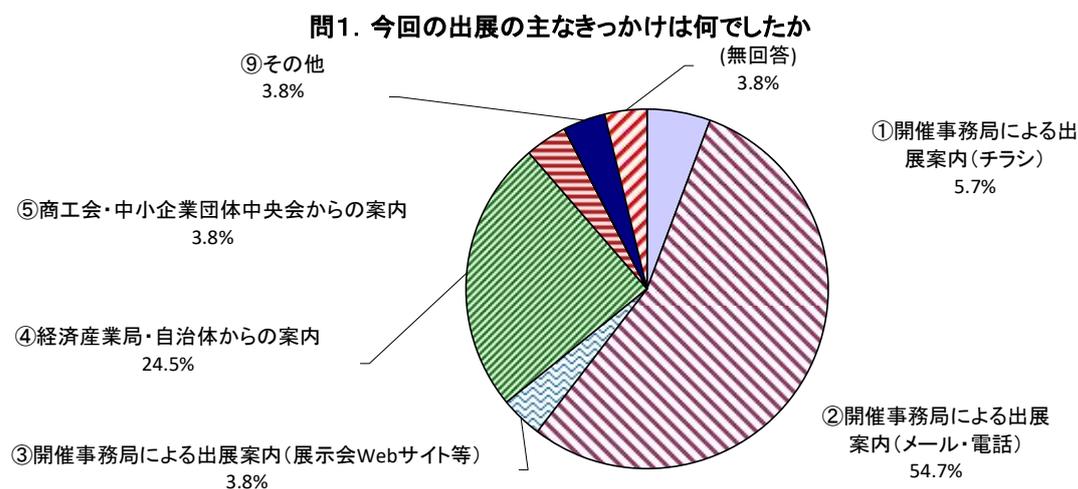
[オンライン展示のブースのスペック]

基本としてブースサイズ等の基本設備の使用はリアル展示と同様とした。加えて、事務局でパソコン（Microsoft Teams、Webex 等のアプリを使用可能）を 1 台用意し、出展者から会社紹介、技術紹介の動画を提供してもらい、会期中はそれを放映した。

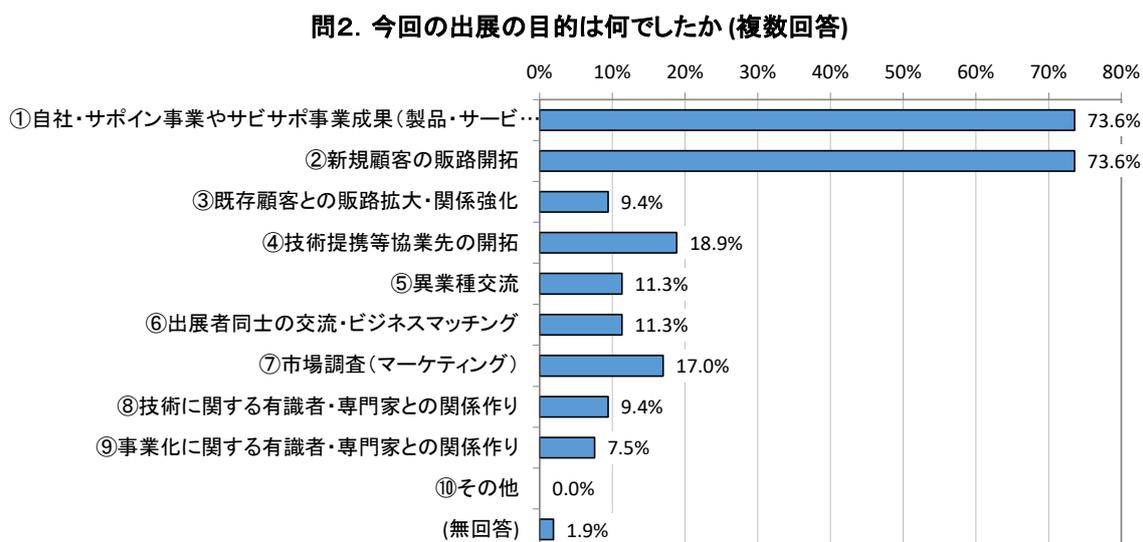
2-11 出展者及び展示会来場者に対するアンケート調査

(1) 出展者アンケート集計結果

※ 以下の各グラフの回答率算定の母数（n数）は53。

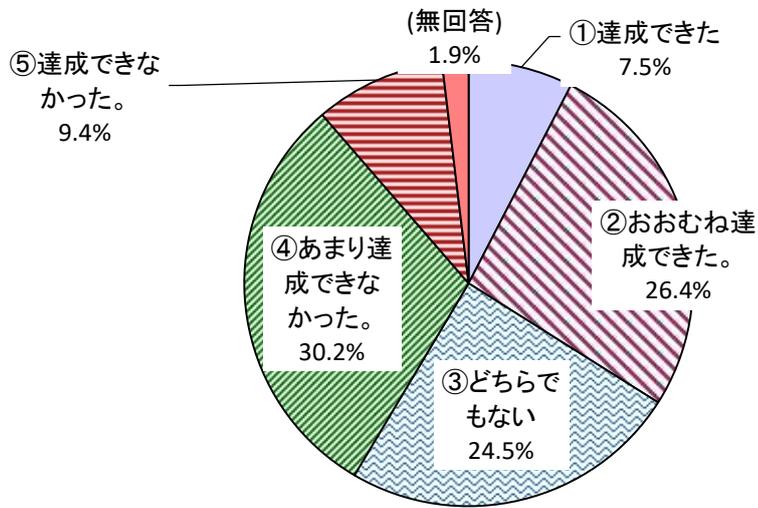


「開催事務局による出展案内（チラシ）」への回答が相対的に多い。



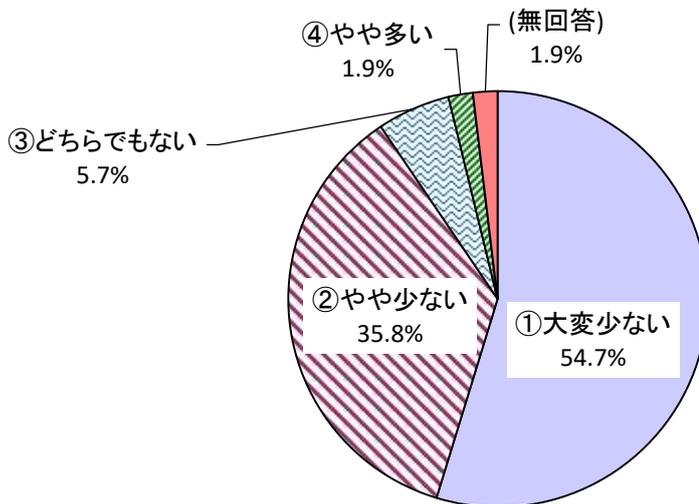
「自社・サポイン事業成果（製品・サービス・技術等）のPR」と「新規顧客の販路開拓」への回答が相対的に多い。

問3. 目的はどの程度達成されましたか。



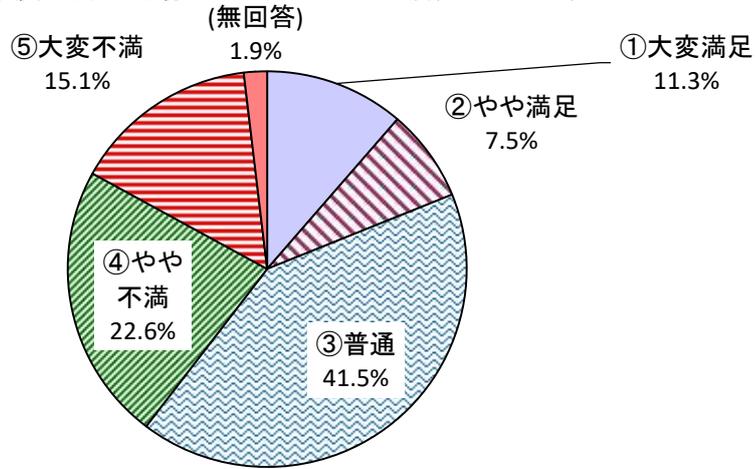
「あまり達成できなかった」と「達成できなかった」を合わせた「不満」層が4割近い。

問4. 本展示会への来場者の“数”についてのご感想をお聞きます。



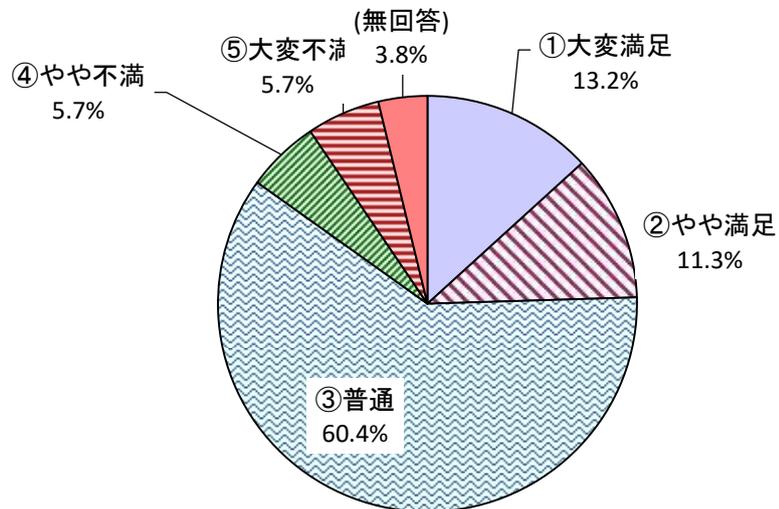
「大変少ない」と「やや少ない」を合わせた「不満」層が9割を超えている。

問5. 本展示会の会場レイアウトについて満足していますか



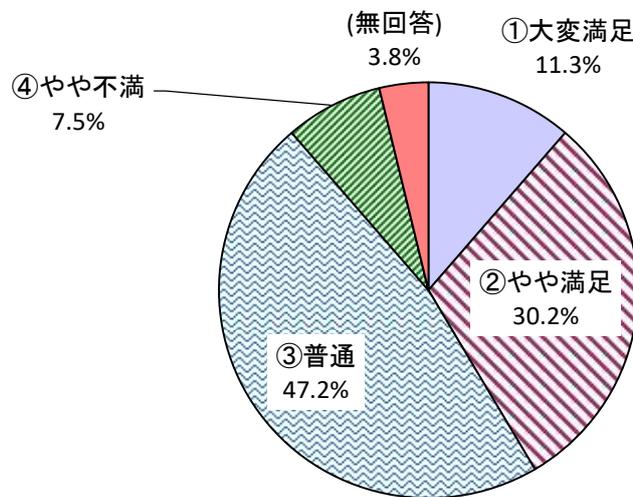
「大満足」、「やや満足」、「普通」を合わせた層が半数を超えている。

問6. 本展示会の出展ブースの配列について満足していますか



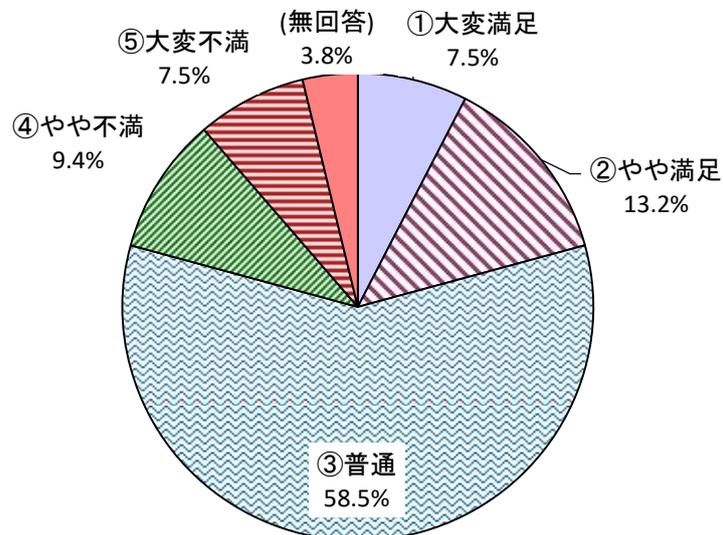
「大満足」、「やや満足」、「普通」を合わせた層が8割程度を占めている。

問7. 本展示会の開催時期(12月中旬)について満足していますか



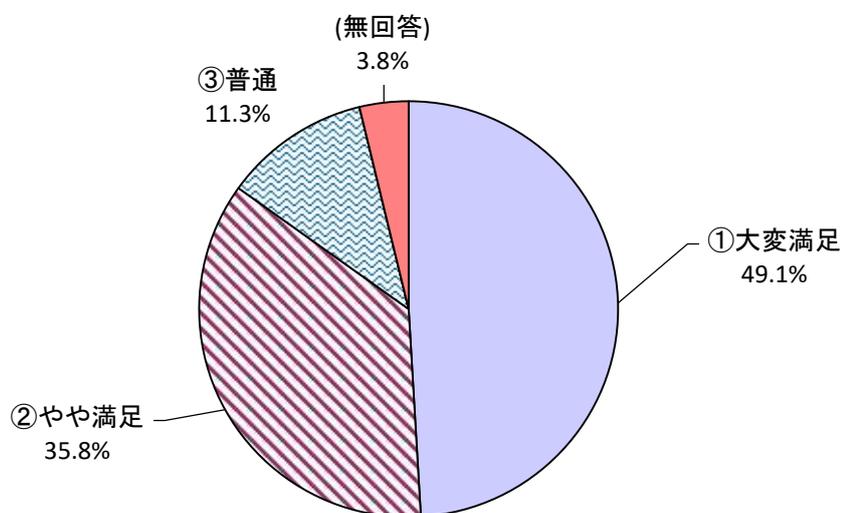
「大変満足」、「やや満足」、「普通」を合わせた層が9割程度を占めている。

問8. 本展示会の出展募集開始時期(10月中旬)について満足していますか



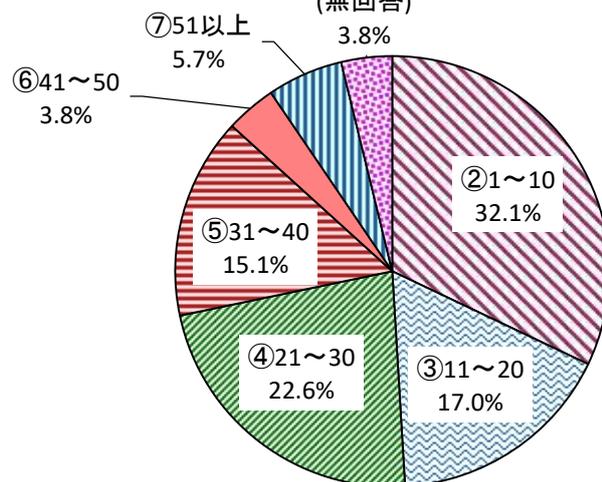
「大変満足」、「やや満足」、「普通」を合わせた層が8割程度を占めている。

問9. 本展示会の開催場所(東京)について満足していますか



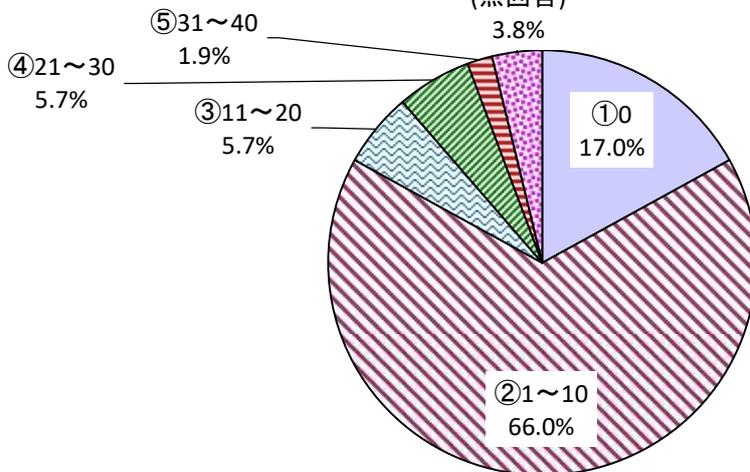
「大変満足」、「やや満足」、「普通」を合わせた層が9割程度を占めている。

問10. 出展期間中のブース訪問社数(新規顧客)についてお答え下さい
(無回答)



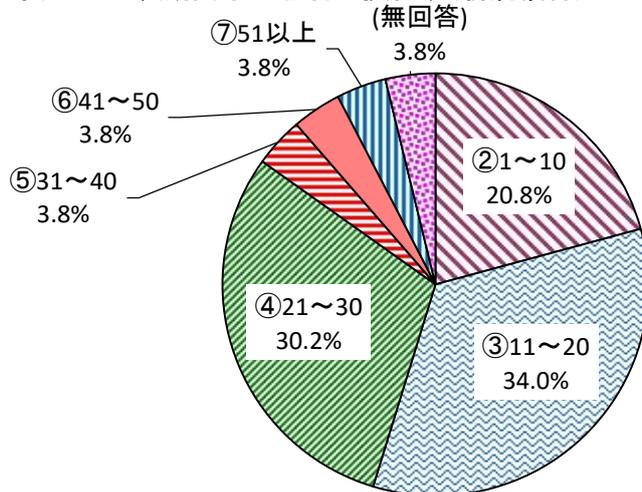
「1~10」への回答が最も多く、次いで「21~30」への回答が多い。

問11. 出展期間中のブース訪問社数(既存顧客)についてお答え下さい
(無回答)



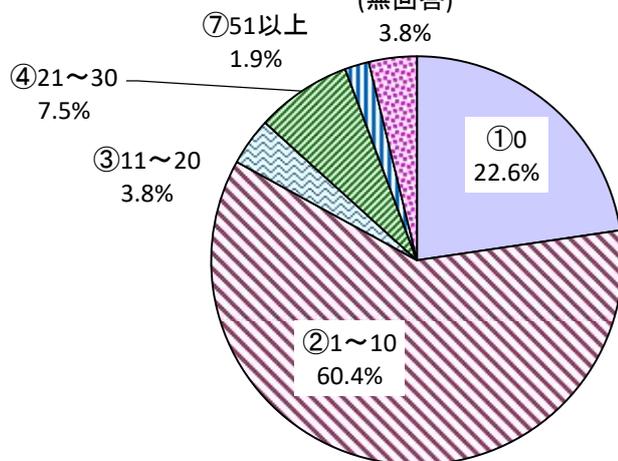
「1~10」という回答が、全体の6割以上を占めている。

問12. 出展期間中の名刺交換社数(新規顧客)についてお答え下さい
(無回答)



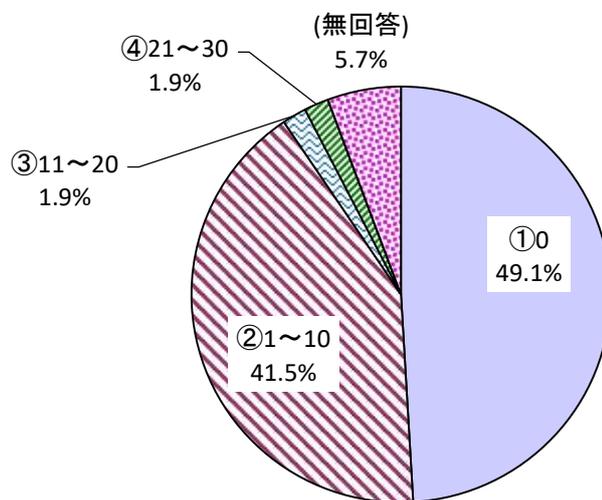
「11~20」への回答が最も多く、次いで「21~30」への回答が多い。

問13. 出展期間中の名刺交換社数(既存顧客)についてお答え下さい
(無回答)



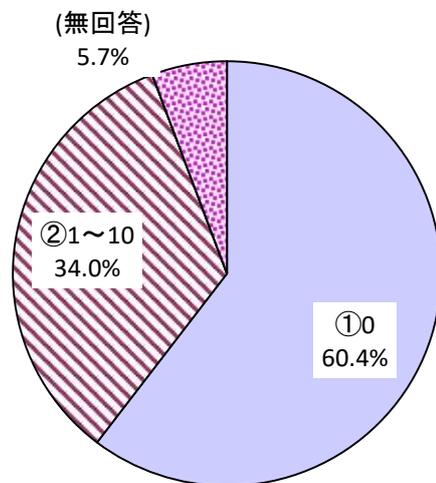
「1~10」が全体の6割程度を占めている。「0」が2割程度ある。

問14. 出展期間中の商談件数(新規顧客)についてお答え下さい



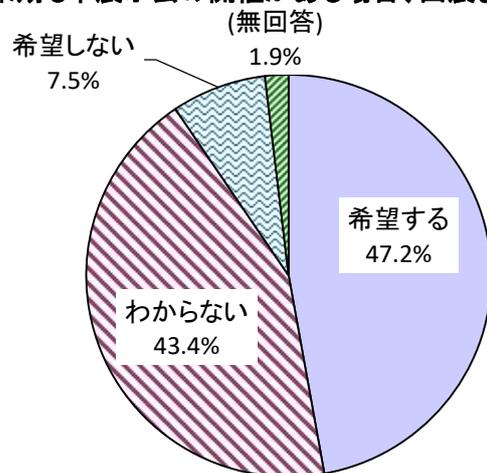
「0」への回答が最も多く、次いで「1~10」への回答が多い。

問15. 出展期間中の商談件数(既存顧客)についてお答え下さい



「0」が全体の6割程度を占めている。次いで「1~10」が3割超ある。

問16. 来期も本展示会の開催がある場合、出展を希望しますか。



「希望する」への回答が最も多く、次いで「わからない」への回答が多い。

問 17. 今年度、本展示会以外にどの展示会に出展されましたか。または出展する予定ですか。展示会名が分かればご記載ください。(自由記述/一部抜粋)

- 自動認識総合展 (2022.9)。インダストリーフロンティア (2022.7)。スマート工場 EXPO (2023.1)。スマート物流 EXPO (2023.1)
- カフェレスジャパン。CareTEX。感染対策 EXPO。
- セミコン 2022 (ミニマルブース)。難加工技術展。
- 防衛産業参入促進。JapanDrone。JIMTOF。
- 機械要素技術展 (インテックス大阪)。名古屋ネプコン (ポートメッセなごや)。
- オートモーティブワールド。SURTECH。
- 表面処理加工技術展。機能性フィルム展。しごと発掘マッチング (2023.3 東京商工会議所主催)
- ふくしま再生可能エネルギー産業フェア
- 高機能素材 WEEK。オートモーティブ展。
- 4 月ファインケミカルジャパン。10 月 SAMPE。1 月オートモーティブワールド。2 月 TechBizExpo2023。
- 機械要素技術展
- 次年度ですが、高機能セラミックス展 (セラミックスジャパン) に出展予定です。
- 国際二次電池展。電池討論会。
- 東和新生会ビジネス交流会 (群馬県) へ 11/9 に参加済み。
- これまで、NEDO に出展。これからの予定は、TECHNO Frontier、熱設計。
- BioJapan2022
- 健康博覧会。HOSPEX。
- BioJapan (パートナーブースに出展)
- FOUMA JAPAN への出展を検討中
- パナソニック展示会。鶴岡市ふるさと納税イベント。

問 18. 今回の展示会のご感想、ご要望等をお聞かせ下さい。(自由記述/一部抜粋)

- 年末時期を割いて出展すべき展示会か悩ましい。問 17 に回答したような展示会内でサポイン/サビサポブースを設けた方がよいと思う。
- 公的支援情報が得られる。協業可能性情報が得られたのは収穫だった。
- 通常の展示会よりブース来場者は少ないが、来場いただいた方は目的を持ってサポインの展示会に来ている方が多く、内容の濃い会話・相談が多くできた。来場者が少ないことは

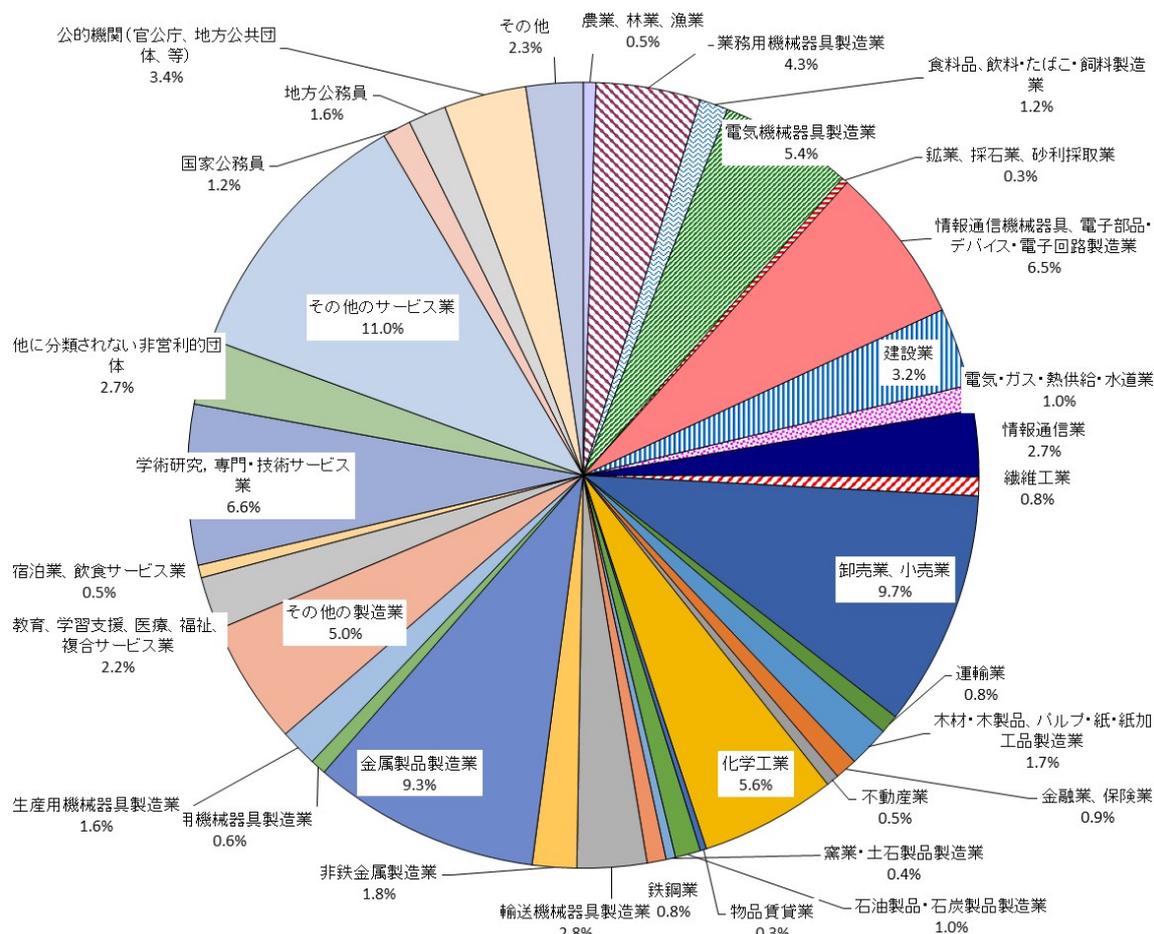
残念だった。名刺交換会については仕切る人がいなかったため、個々の企業が自由に名刺を交換する場となってしまう、おそらく参加した企業全てと交換はできなかった。運営側でももう少し仕切りが必要と思う。(半面、自由に交換したため会話は多くできた)

- 今年も新規のお客様とのご縁を頂きました。
- いわゆる招待券の配布による事前告知ができないか。集客を増やす工夫が必要に思われます。他展示会場とのコラボレーション(宣伝、案内告知)。
- 展示会宣伝用ポスターが1週間前に届くなど集客への意欲が弱いのではと感じてしまったので、改善して頂けたらと思います。
- 来場者が多くなる工夫をお願いします。
- セミコン併設に期待していましたが、思いのほかお客は少なかった。
- 新ものづくり新サービス展との場所の同一化。
- 他の展示会と一緒に行ってほしい。
- 様々な条件下の中、ご企画頂き誠にありがとうございました。端とはいえ、国際展示場で出展できる貴重なご機会であり、様々なお客様とお話しできたと思います。他の展示会からの流入に頼る以上、中々具体的な話につなげる難しさも感じております。
- 東8ホールの出展ブースが少なく、来場者も少なく残念であった。できれば東7ホールと同ホールで出展していただくと来場者も伸びたのではないかと感じました。無料で出展できたのは本当に有難い限りです。分野ごとに分けてもらえると、求めるニーズのターゲットが増えると思います。
- レイアウトが狭かったため、お客様の対応、製品展示の制限というところで苦労があった。又、今回宣伝用のポスターを頂きましたが、活用方法が社内へ掲示する程度に留まってしまい、多少の工夫が必要と思われる。宣伝に関しては事務局側と協力的に行える仕組みが出来るとういと思う。
- 出展させていただきありがとうございました。次につながる顧客が得られました。
- 来場者数は少ないものの、所々で重要な顧客と接点を持てたことは良かったです。3日間ではなく、1~2日に短縮することも検討の余地があるかと思えます。
- ピッチ報告会を重視してもらいたい。発表の時間割が前倒しになってしまったことが残念であった。ブースに出展させていただきありがとうございました。
- 昼食時、混みあうため、キッチンカー、出張販売等を利用できるようにしてほしいです。
- 東8ホールが遠く、向かいの展示会と比較してさみしい感じがする。
- はじめての出展。冷凍ではなく常温での検体が送付できるといい。
- 名刺交換の目標枚数より多い枚数が獲得できた。

(2) 来場者アンケート集計結果

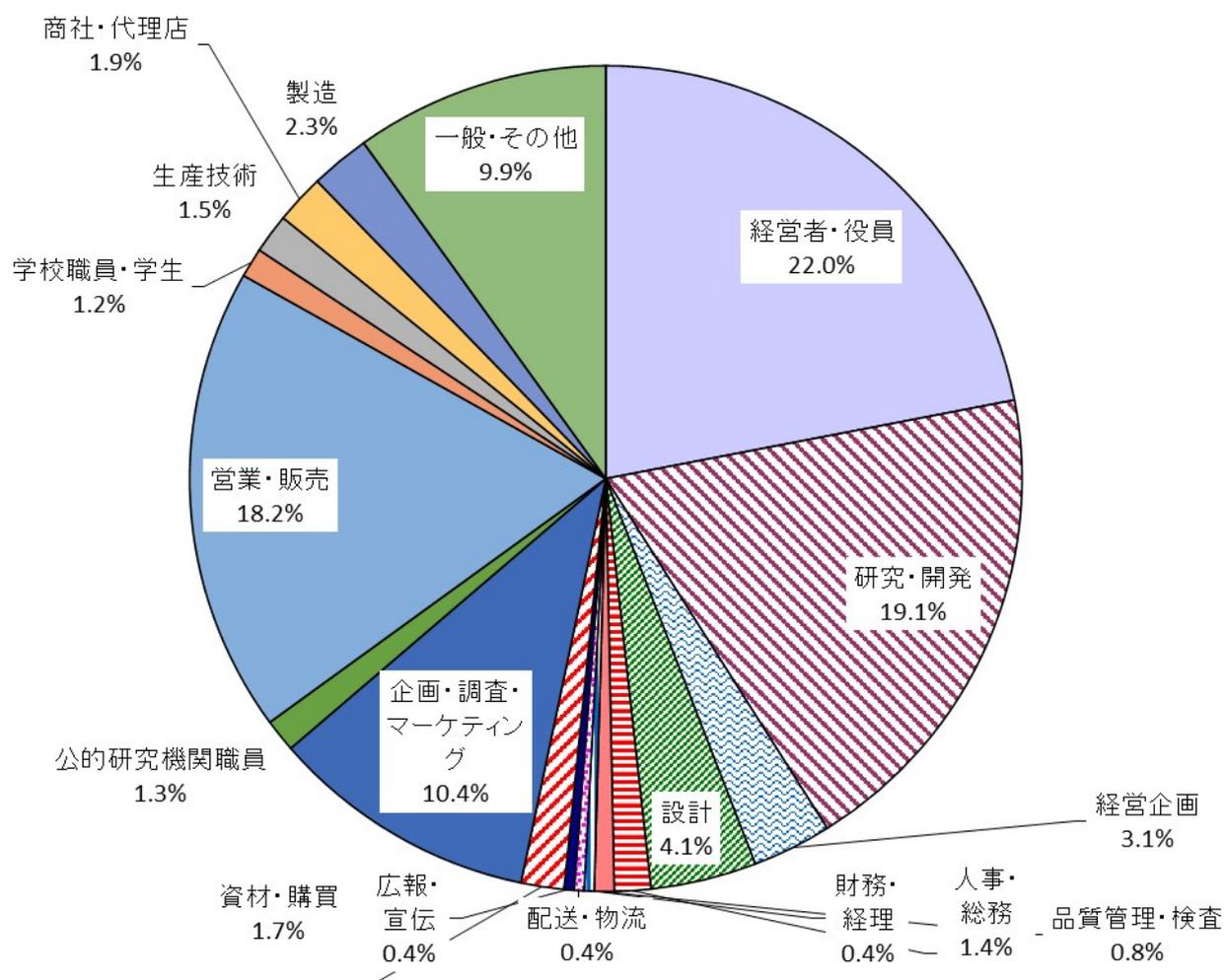
※ 以下の各グラフの回答率算定の母数（n数）は784。

Q1 貴方が属する業種はどれですか（1つ）



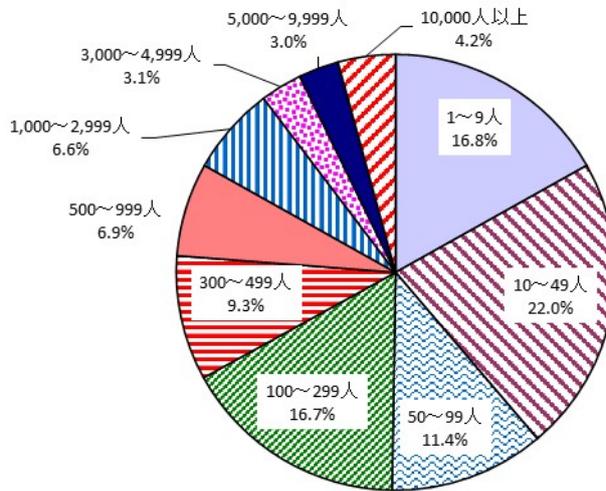
「他のサービス業」が最も多く、次いで「卸売業・小売業」が相対的に多い。

Q2 貴方の職種はどれですか（1つ）



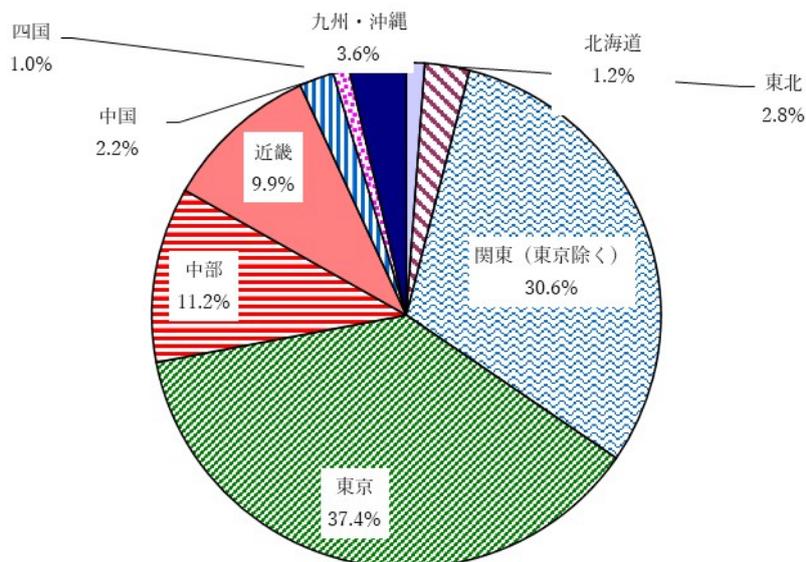
「経営者・役員」が最も多く、次いで「研究・開発」が相対的に多い。

Q3 貴方の所属先の従業員数はどれに当たりますか（1つ）



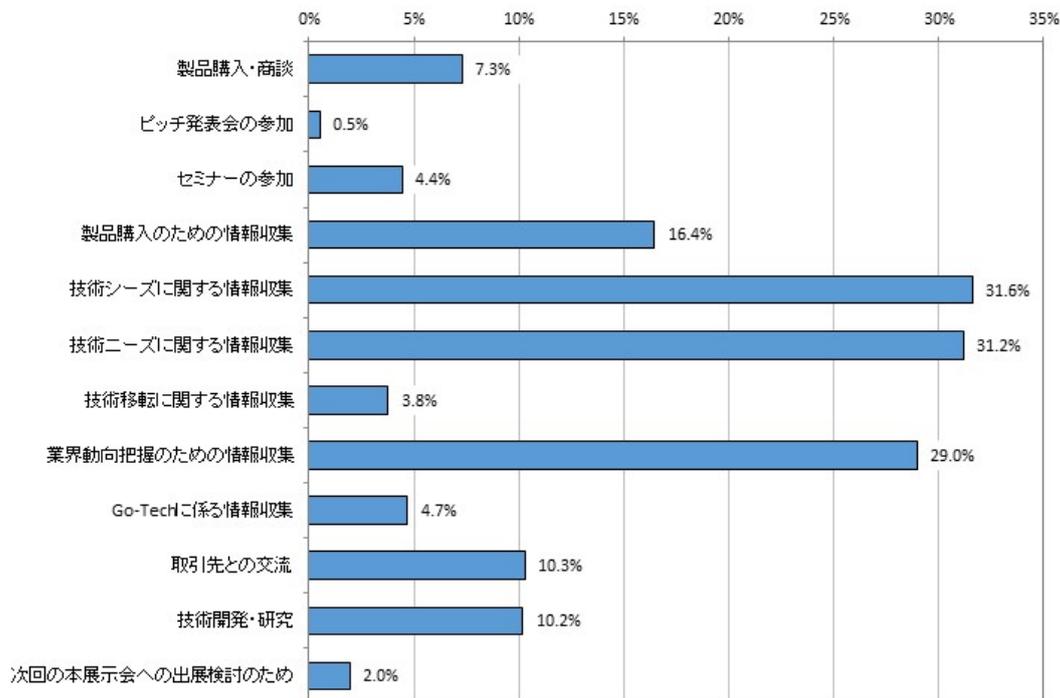
全体として、比較的小規模な企業等の来場が多く、「1~9人」と「10~49人」をはじめ、300人未満が相対的に多い。

Q4 貴方はどちらの地域からお越しになりましたか。（1つ）



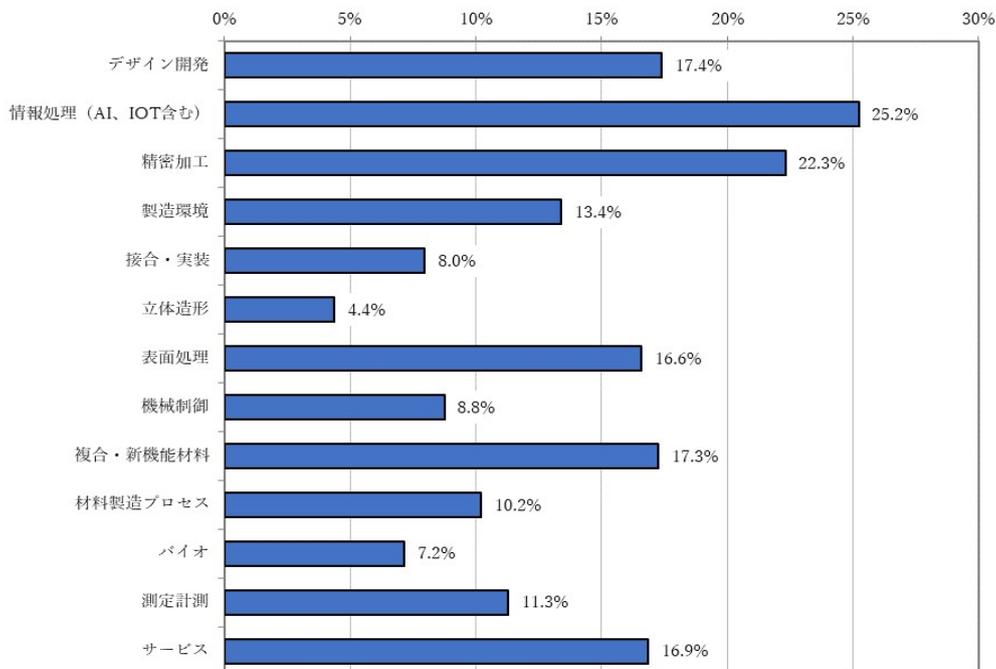
「東京」が最も多く、次いで「関東（東京除く）」と、関東地域が大半を占めている。

Q5 今回のご来場の目的は何ですか（複数回答）



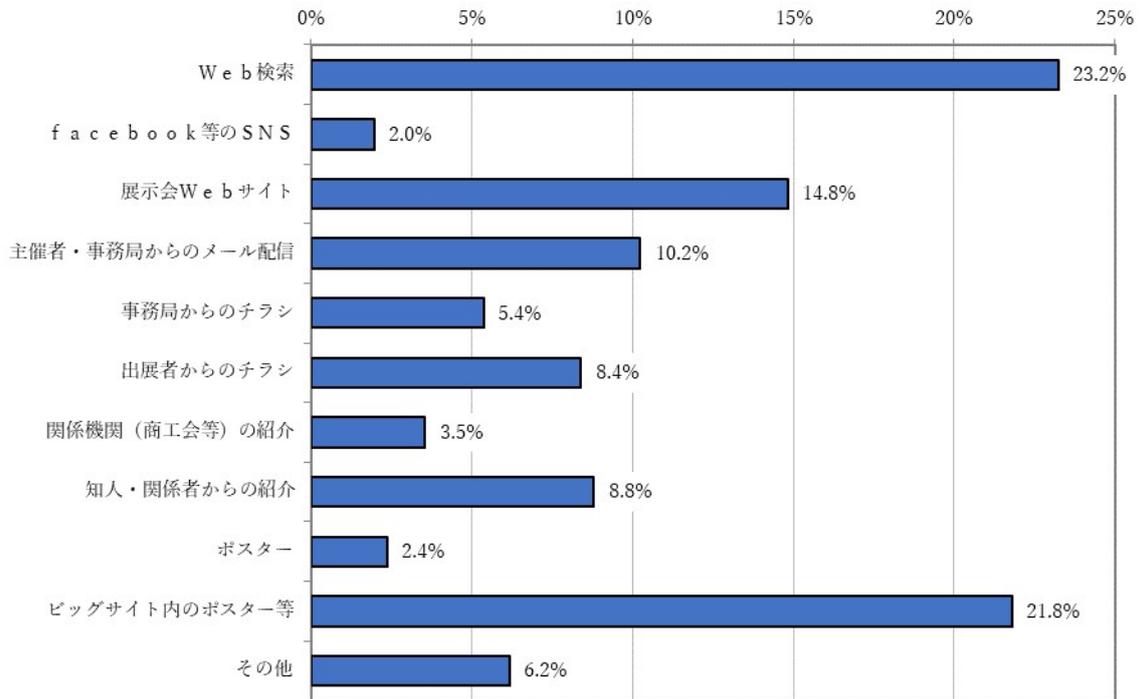
「技術シーズに関する情報収集」への回答が最も多く、次いで「技術ニーズに関する情報収集」への回答が相対的に多い。

Q6 貴方が関心を持っている基盤技術はどれですか。（複数回答）



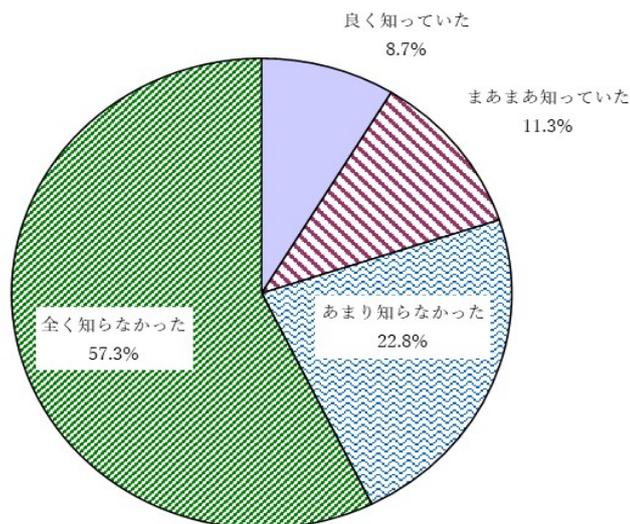
「情報処理 (AI、IOT 含む)」への回答が最も多く、次いで「精密加工」への回答が相対的に多い。

Q7 本展示会の開催を何で知りましたか。(複数回答)



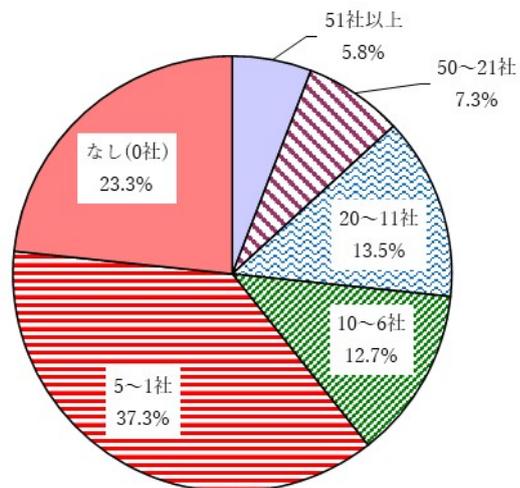
「Web検索」への回答が最も多く、次いで「ビッグサイト内のポスター等」への回答が相対的に多い。

Q8 貴方は来場前から“Go-Tech”という中小企業庁の補助金名を知っていましたか。(1つ)



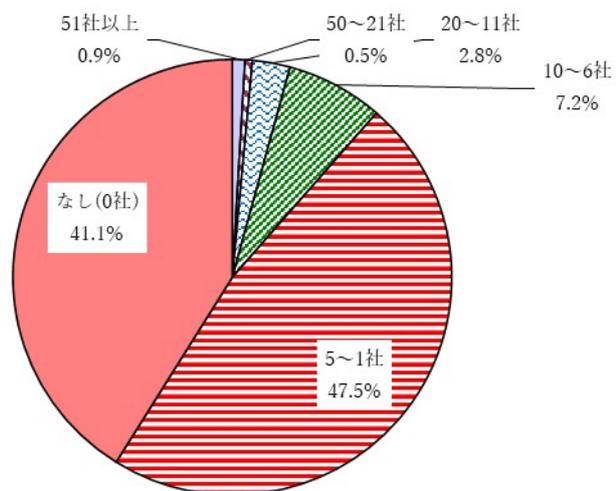
「全く知らなかった」「あまり知らなかった」という回答が大半を占めている。

Q9 会場での面談・商談について（1）対話なしで見学したブース数（1つ選択。以下同様）



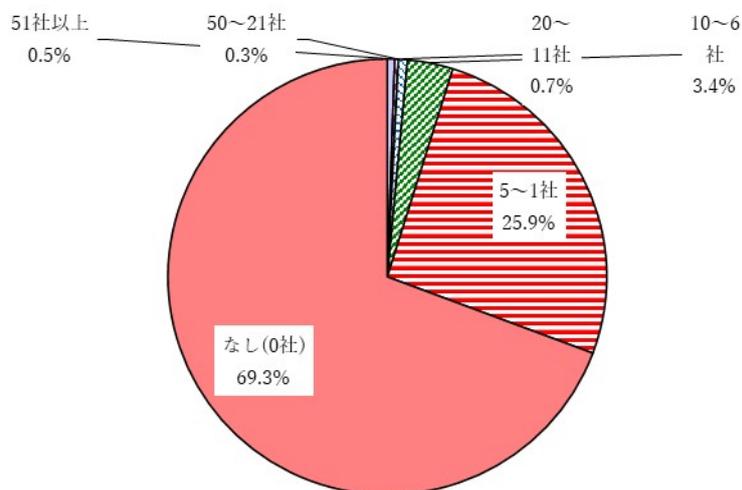
「5~1社」への回答が最も多い。「なし(0社)」が2割超ある。

Q9 会場での面談・商談について（2）名刺交換や挨拶をしたブース数



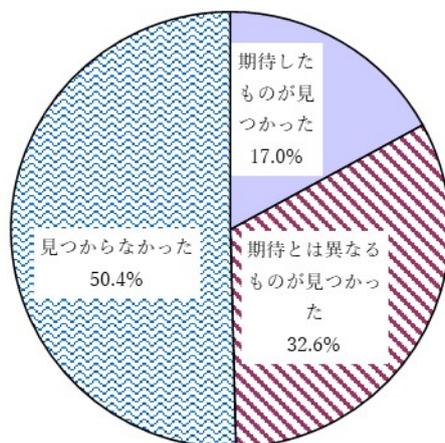
「5~1社」への回答が最も多い。「なし(0社)」が4割超ある。

Q9 会場での面談・商談について（3）面談・商談を行ったブース数



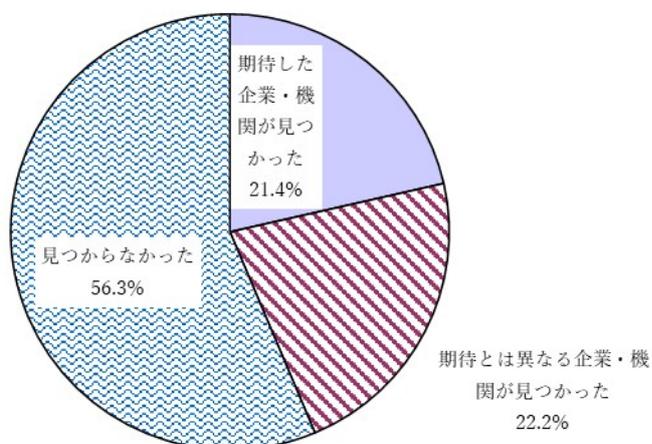
「なし（0社）」への回答が7割弱を占め、「5～1社」が約2割超ある。

Q11 お探しの製品・技術・サービスは見つかりましたか。



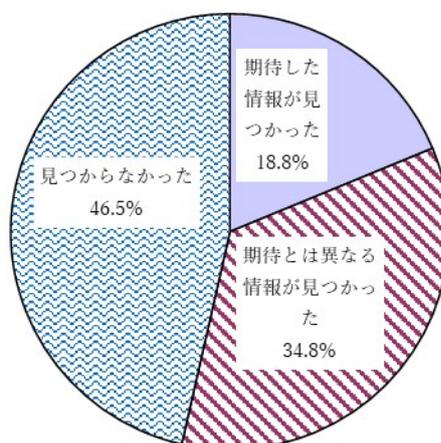
「見つからなかった」への回答が5割ある一方、「期待したものが見つかった」と「期待とは異なるものが見つかった」を合わせると5割弱となる。

Q11 お探しの企業・機関は見つかりましたか。



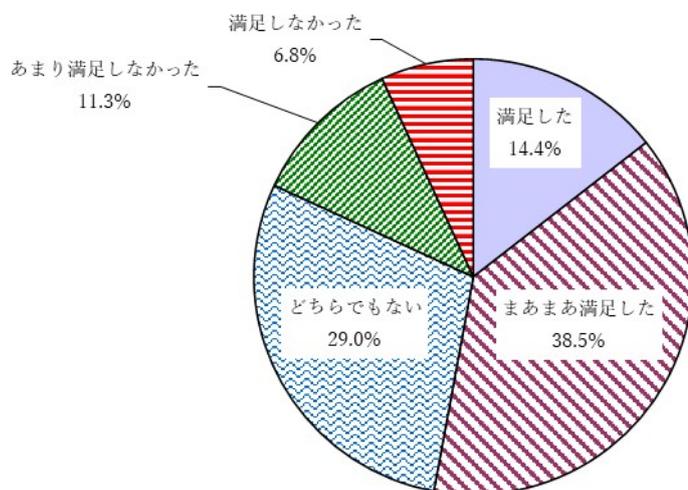
「見つからなかった」への回答が5割ある一方、「期待した企業・機関が見つかった」と「期待とは異なる企業・機関が見つかった」を合わせると4割超となる。

Q12 お探しの情報は見つかりましたか。



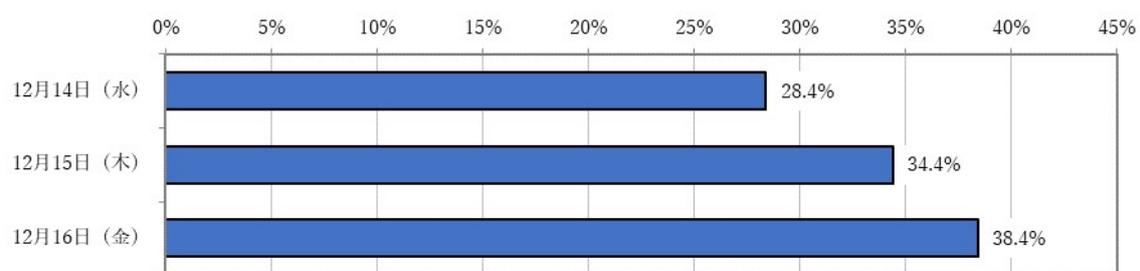
「期待した情報が見つかった」と「期待とは異なる情報が見つかった」を合わせると、5割超となる。

Q13 全体としてのご感想をお聞かせ下さい。



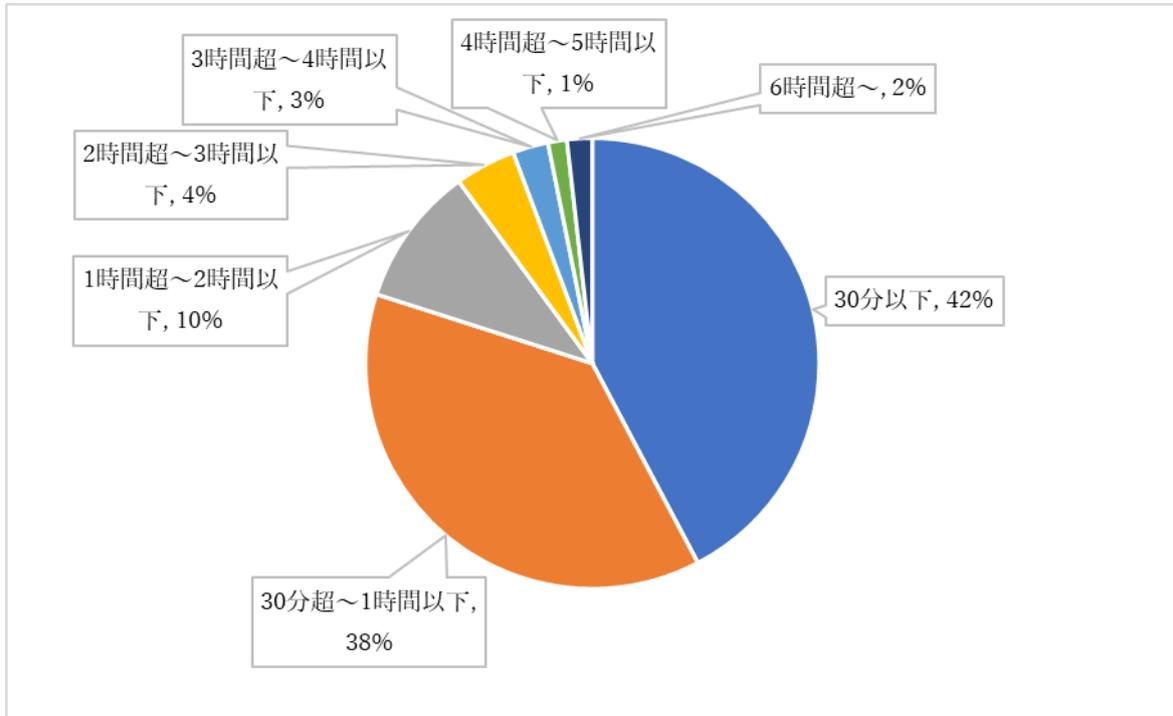
「満足した」「まあまあ満足した」を合わせた層が5割超を占めている。

Q14 来場された日と、会場に滞在した時間をお答え下さい。(1) 来場された日 (複数回答)



「12月16日(金)」という回答が最も多く、次いで「12月15日(木)」への回答が相対的に多い。

(2) 滞在時間 (自由回答)



「30分以下」「30分超～1時間以下」を合わせた層が8割超を占めている。

Q15 ご意見、ご要望をご自由にお書き下さい。(自由回答/一部抜粋)

- 新技術、ものづくりと3つに分けているのは不便で、見学者の手間が増えているだけ。サポインという名目で来場者少ない。合同展とかにした方が良い。
- とても良かった。
- 毎年開催されることで、キッカケが見つかる。
- もっといろいろ有るといい。
- 活気のある展示会であってほしい。
- もっと活気があるといいと思う。さびしく感じた。
- この類の展示会は、もっとあった方がうれしいです。
- 活気がない。
- ENGLISH テキストがあれば尚良し。
- 技術的に他の分野がどう進んでというものがわかるような資料があれば見てみたいです。
- もう少し活気があると良いと思います。
- 毎年見させて頂き、刺激を頂いております。

- また企画して下さい。
- 高度化技術のテーマをそれぞれの企業ブースの看板に一言欲しい。例えば「デザイン」「表面処理」等。
- 中小企業ものづくり、新サービス展との情報の共有が不十分で入場時の手続きが手間取った。違う業種でしたが、勉強に見せていただきました。ありがとうございます。
- サポイン一度はエントリーしてみたいと思いました。大学時代はエントリーした経験があります。
- 中小企業が安定して事業を営むために、研究開発が不可欠であり、Go-Tech はそれを支える重要な仕組みであると認識しています。さらなる規模拡大をお願い致します。
- デザイナー向けも有るといい
- パンプにビジネスモデルを示して欲しい。BtoB,BtoC など
- とても良い物が出ているのに、来場をもっと呼びかけないとダメではないか？もったいないです。
- 自分に興味のある分野でこれと言ったものはありませんでしたが、皆さんとても素晴らしい研究をされていることが分かりました
- コロナ感染が無ければもっと研究開発に予算を出してもらいたい
- 会場レイアウトを見直して欲しい。動線が良くないです
- もっと盛り上がるとよいと思う。良いものが出されている
- 極めて興味深い技術やサービスがあったが、いずれも大企業しか眼中になく失望した。何のための中小企業サポートなのか。
- 出展社の決定公表が遅い。主催側の PR が不足。
- 休憩スペースが広すぎる。展示スペースを広げた方が良い。

2-12 来年度以降の展示会の検討

過去にサポイン事業・サビサポ事業・Go-Tech 事業に採択された企業等を対象として、展示会や事業化に向けたニーズの実態把握を調査するためのアンケートを実施し、来年度以降の展示会の在り方を検討し、具体的な展示会案を提示する。

(1) 調査概要

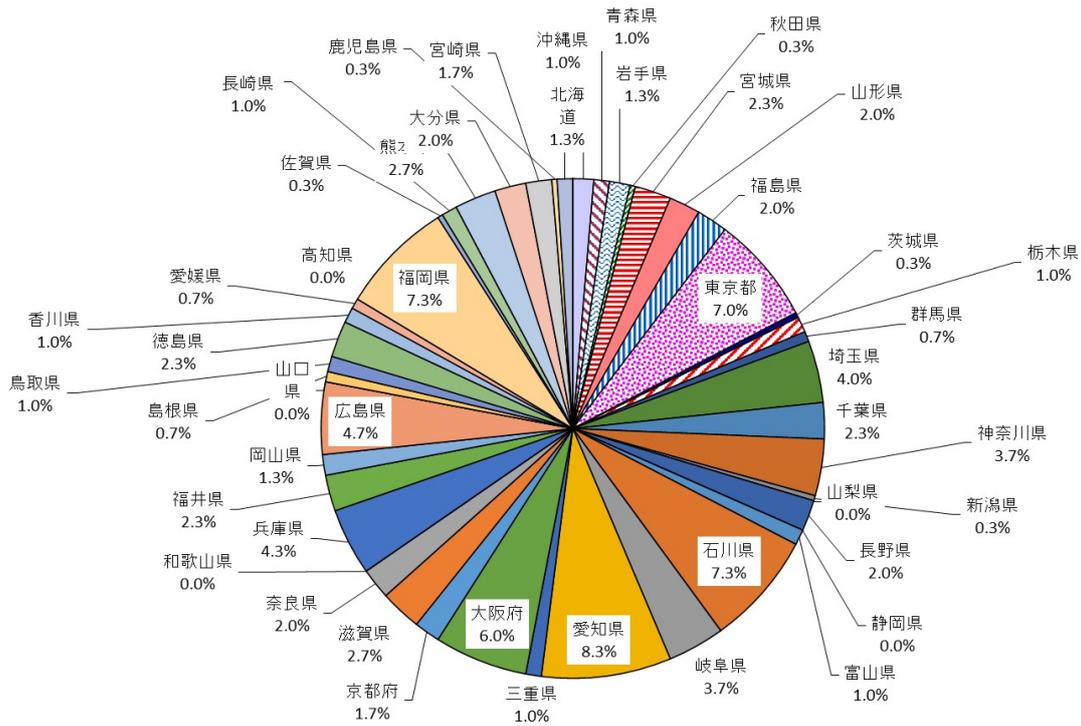
以下の調査概要に基づいてアンケート調査を実施した。

調査名称	展示会開催にかかる意向調査
調査方法	Web アンケート方式
所要時間	5分程度
調査対象者	○調査対象者：過去、現在を問わず下記に該当する方 ・サポイン事業又は Go-Tech 事業の『主たる研究等実施機関（法認定事業者）』 ・サポイン事業又は Go-Tech 事業の『従たる研究等実施機関（研究実施機関）のうち中小企業者および小規模事業者』 ・サビサポ事業の『連携体のうち中核となる中小企業者（コア企業）』 ・サビサポ事業の『連携体に参加した中小企業者』
調査期間	令和5年2月9日（木）～令和5年2月24日（金）

(2) 集計結果

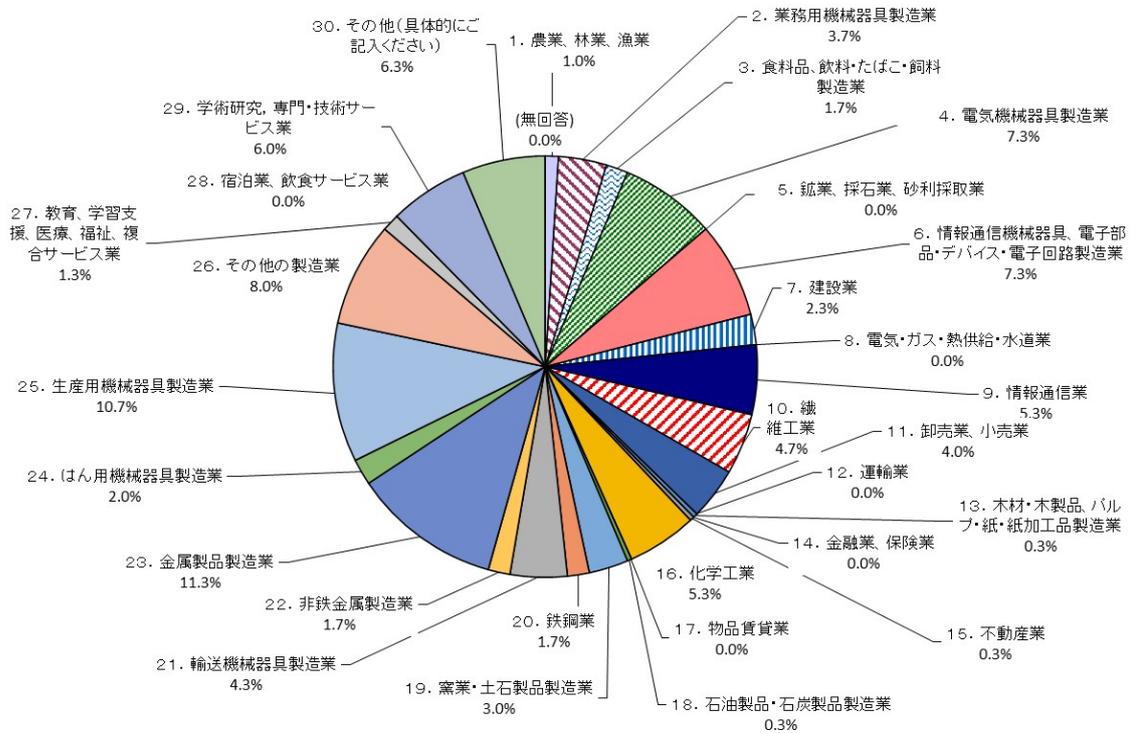
※ 以下の各グラフの回答率算定の母数（n数）は300。

問1. 貴社の本社所在地の都道府県をお答えください。該当する都道府県をプルダウンから選択してください。



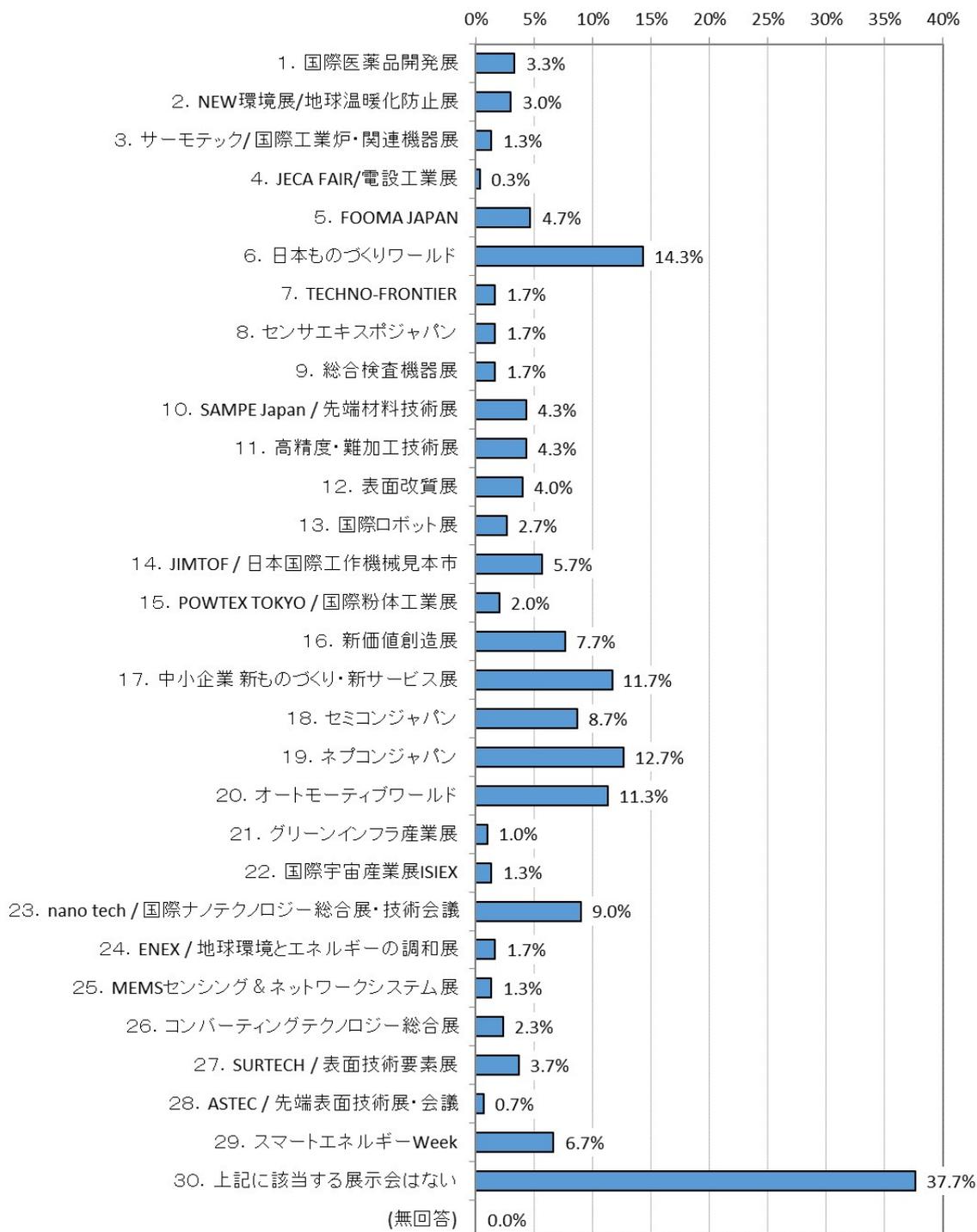
愛知県が 25 件と最も多く（8.3%）、次いで石川県と福岡県が 22 件（7.3%）、東京都が 21 件（7.0%）であった。

問2. 貴社が属する業種を選択してください。該当する選択肢をひとつお選びください。



金属製品製造業が最も多く、次いで生産用機械器具製造業とつづく。

問3. 国内開催の展示会で貴社が「今後出展を希望する」又は「過去出展して良かった」展示会についてお伺いいたします。該当する展示会をすべて選択してください。(複数回答)



「上記に該当する展示会はない」が最も多く、ついで「日本ものづくりワールド」、「ネプコンジャパン」、「中小企業 新ものづくり・新サービス展」、「オートモーティブワールド」とつづく。

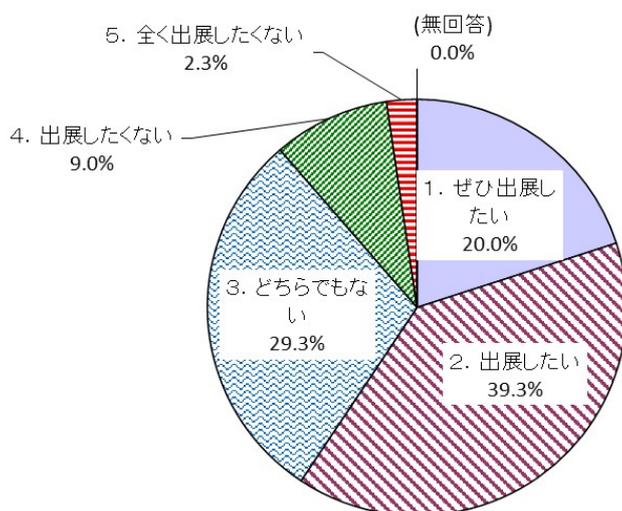
問4. 前問の選択肢の展示会以外で貴社が「今後出展を希望する」又は「過去出展して良かった」国内開催の展示会がございましたらご記入ください。(複数ある場合は優先度の高い展示会から5つをご記入ください)

展示会名称 (回答数が多いものを抜粋)	回答数
Bio Japan/再生医療 Japan/Healthtech Japan	17
IPF JAPAN / 国際プラスチックフェア	5
健康博覧会	5
国際福祉機器展	4
CEATEC	3
MF-TOKYO	3
N-PLEX / プラスチック高機能化展	3
サステナブル マテリアル展	3
食品開発展	3
農業 Week	3
Japan マーケティング Week	3

問5. 海外開催の展示会で貴社が「今後出展を希望する」又は「過去出展して良かった」展示会がございましたらご記入ください。(複数ある場合は優先度の高い展示会から5つをご記入ください)

展示会名称 (回答数が多いものを抜粋)	回答数
MEDICA	9
BIO International Convention	7
JEC World	5
CES	3

問6. 問3～問5で回答された展示会の中に、【Go-Tech 事業、旧サポイン事業、旧サビサポ事業の合同出展コーナー（基本出展料無料）】が設置された場合、貴社の出展意向についてお伺いいたします。該当する選択肢をひとつ選択してください。



「ぜひ出展したい」、「出展したい」が6割を占めている。

問6-①. 問6で「3. どちらでもない」、「4. 出展したくない」、「5. 全く出展したくない」と回答された方にお尋ねいたします。貴社が合同出展ブースに出展するために必要なことは何ですか。（自由記述）

課題として、大きく3つに分類される。

- ①来場者の属性や展示会テーマに関すること
- ②共同研究企業との調整
- ③研究開発状況

それぞれの意見は以下のとおり。

①来場者の属性や展示会テーマに関すること

- テーマが合っている事。旧サポイン事業にてお世話になった、見守りロボットを展示させて頂くにあたり、『場違い』になってしまうと、集客があまり望めないため。
- 当社における顧客（医師）が限定的であるため
- 現在、開発しているものはある特定のマーケットや特殊なユーザーにお使いいただきますので、一般的な開示はさけたいと考えております。
- 顧客が建設事業系であることが必要
- 事業内容がニッチなためブース来訪者からの商談化が難しい傾向にある。まずは来訪者が

多いこと。気象関連企業と同時に参加出来れば大変ありがたい。

- 途上国の教育関係者（初等教育）が多く参加すること。（製品の特性上）
- "当社の製品は医療関係（特に整形外科）関係であり、きわめて専門性の高いものである。
- よって、そのような顧客層に直接説明するには、その業界に特化した展示会に出展したい。
- 出展者の内容、業種が様々であると、エンドユーザーが集まりにくいと考えています。
- 成果が内部構造の色についての特許なのでデモンストレーション自体ポスターセッションの様になってしまう為、展示方法の工夫が必要
- 特定産業用途の装置であるため、来訪者を絞り込んだ展示会である必要がある
- 共同研究開発の為に金型の設計によって改善や製品の性能向上を求めている企業と出会えるような企画が必要
- 自治体向けの事業であるため、出展の希望は来場者層に依存する。
- 来場される方とのマッチングが期待できるかが不明（当社の拡販分野と出展する展示会の分野が一致しているかが不明）
- 新たなビジネスチャンス、製品の売上拡大等があれば嬉しいが、ニッチ産業なので顧客もニッチ層であり、出店しても効果があまり期待できない。
- 分野が限定されたものでないと、何が出展されているか分からないので、来場者に期待ができない。
- 合同出展ブースに出展する事業のジャンルがある程度まとまっていること。
- 展示会に出展希望であるが、旧サポイン事業の内容以外で出展したい。

②共同研究企業との調整

- 出展に当たりサポインの共同研究企業と調整する必要があり「どちらでもない」と回答。特に中間工程を担当している為、最終製品ではないのが難しい。
- 現在共同開発を進めている顧客との事業化が公知となること。
- 弊社の場合、産総研つくば 及び 産総研九州センターとの連携を主としているため、サポイン合同ブースへの展示は控えることになると思います。
- 当社単独での出展はなく、共同研究先と合同出展の調整が必要となるため。
- 研究等実施機関より提案がある場合、学内で審議のうえ出展することになります

③研究開発状況

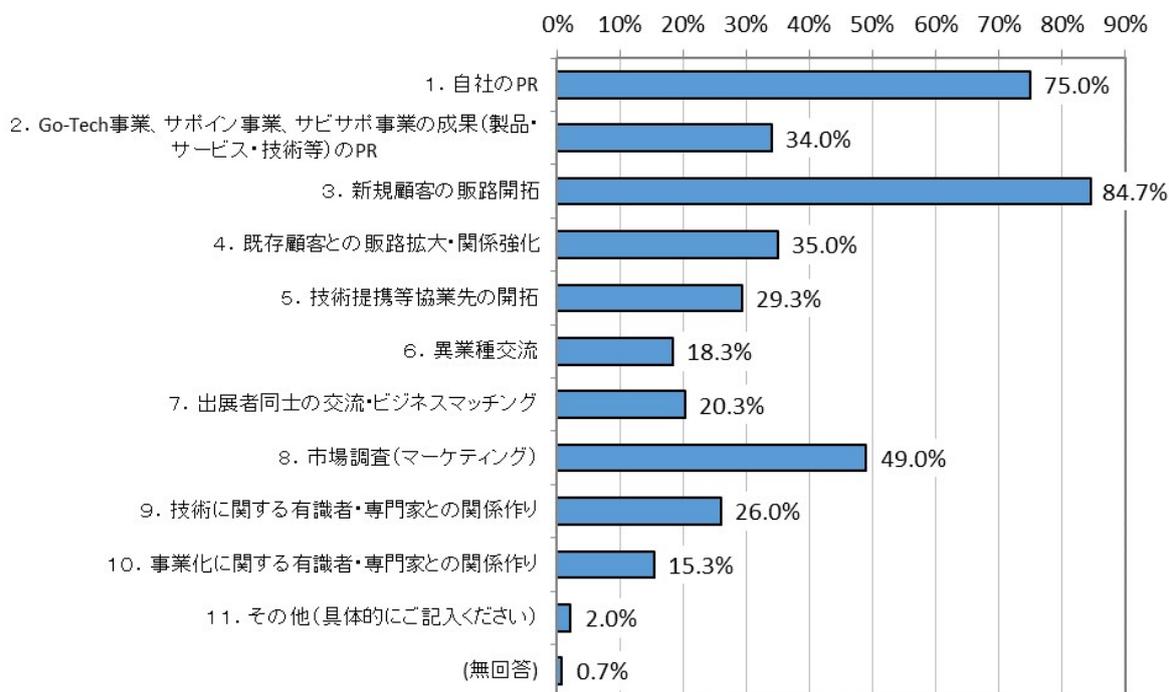
- 研究中であり今後検討したい。
- 最終製品化まで至っていないため。
- 旧サポイン事業の事業化しているが、大々的にアピールするほど量産などの対応ができない。出展するためには生産体制の構築が必要。また、出展する場合は自社ブースでアピールする方が良い。また、どのような来場者が見込めるかによっても出展するかどうかの判断材料となる。
- 研究開発の進捗次第で出展時期を判断したい。

- すぐに出展するほどの技術的情報がないが、情報及び権利化がうまくいけば出展も考える。
- 当該サポインの最終まで、やり切れなかった。そのため、対応能力がない。これを遂行するためには時間や資金が必要である。
- 現在の対象製品での情報収集は完了した。新規商品を上市できれば、出展したい。
- 申請サポインテーマの研究は縮小しており、進展がないため。
- 技術的課題が解決できてない状態では、社外に成果として公表することは差し控えたい。
- サポイン成果がある程度時間が経過しており、現在新たにアピールするところが見当たらない
- 弊社の開発技術がもう少し固まること
- 継続研究で成果を得ることが出来れば出展したい。
- 要素開発は終えたものの、現在商品化に取り組んでおり、完成までは開発内容詳細開示を伏せたい。展示会出展は現段階で不透明。まずは商品化を進める。
- 事業化のための製品改良、完成品として出展希望

その他、理由など

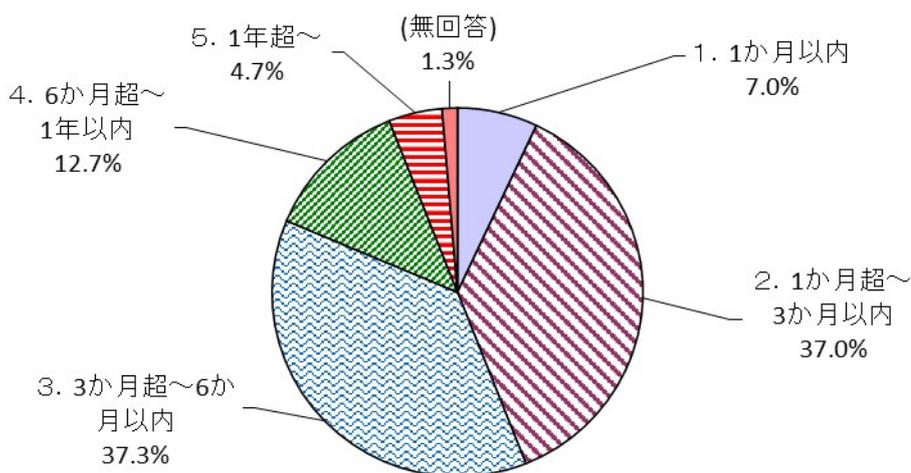
- 会社の規模が小さく、既に対応できないくらいに関心が寄せられており、どの展示会であっても新規の展示会へ対応できる体制がない。
- 自社ブースで出展することが重要だから。(出展補助であればありがたいです)
- 過去に出展経験がなく効果が十分把握できていないため。
- マッチングシステムの個別利用ができるか。
- 人力的な問題。
- スペースに制約があり、合同出展は難しい
- 開催場所が7か8号館ということもあり、お客様の足が遠く、隣の併設展にくらべても見劣りし、お客様が少なかった。お客様を多く呼び込めるように工夫してほしい。ブースの並び方も改めてほしい。他の展示会は入口から入って縦に並んでおり、遠くまでブースが見渡せるが、今回のは横に並んでおり、奥にあるブースには入りにくく感じた。
- コーナー全体の集客力、2022の展示会を見に行きましたが、閑古鳥でした。出展にかかるコスト（人件費等）に見合う集客は最低必要。

問7. 展示会に出展する際の主な目的についてお尋ねいたします。該当する選択肢をすべて選択してください。(複数回答)



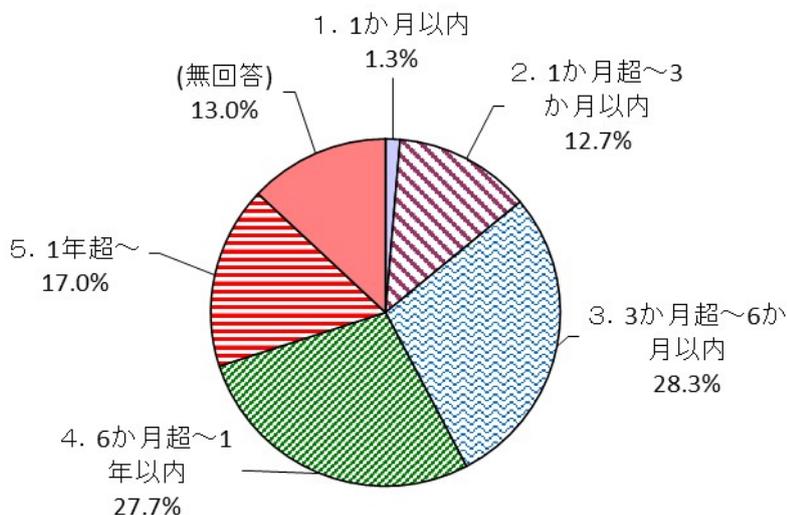
「新規顧客の販路開拓」が最も多く、「自社のPR」、「市場調査(マーケティング)」とつづく。

問8. 国内開催の展示会に出展する際に、出展決定から開催までの準備期間はどの程度必要でしょうか。該当する選択肢をひとつ選択してください。

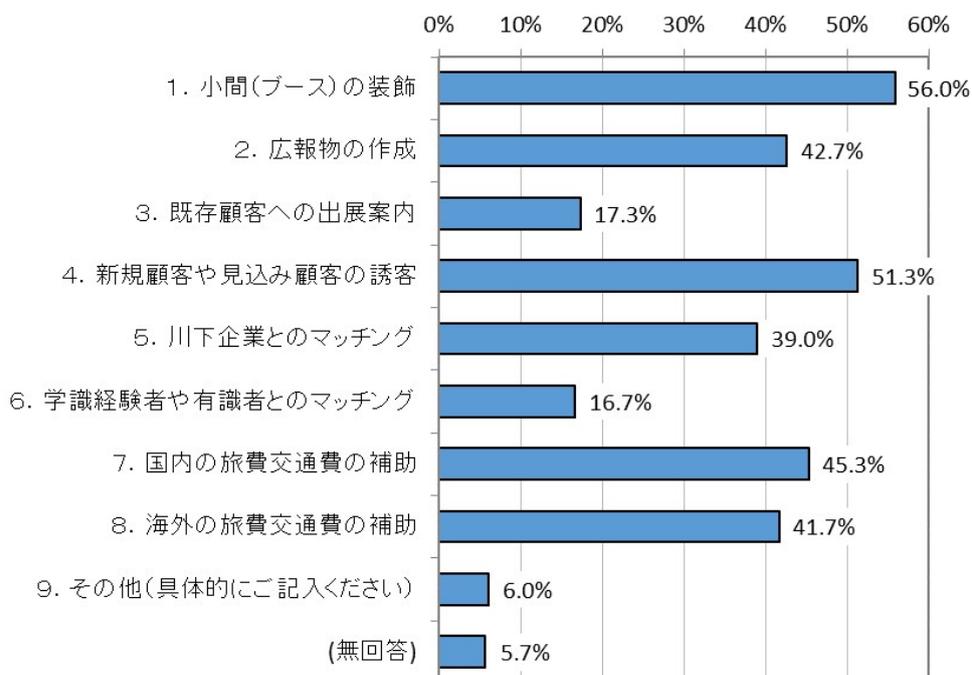


「3か月超～6か月以内」が最も多く、次いで「1か月超～3か月以内」が多い。1か月超～6か月以内が7割強を占めている。

問10. 海外開催の展示会に出展する際に、出展決定から開催までの準備期間はどの程度必要でしょうか。該当する選択肢をひとつ選択してください。



問12. 各種の展示会の中に【Go-Tech 事業、旧サポイン事業、旧サビサゴ事業の合同出展コーナー（基本出展料無料）】が設置された場合、合同展示コーナー事務局（中小企業庁）からの支援として希望する支援内容をお選び下さい。該当する選択肢をすべて選択してください。



「小間（ブース）の装飾」が最も多く、次いで「新規顧客や見込み顧客の誘客」が多い。また、「旅費交通費の補助」では、国内海外問わずに多い傾向である。

参考資料

1. 会場写真

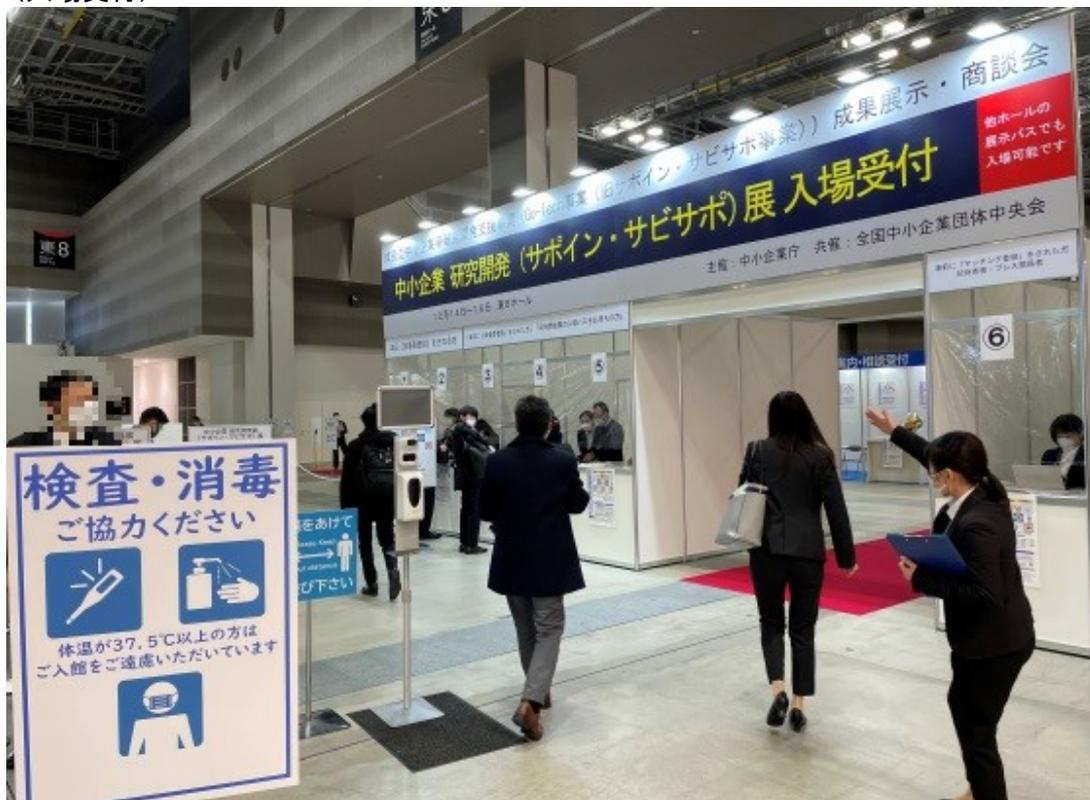
写真を以下に貼付する。

- 開会式



- 会場内（受付、ブース、商談の様態等）

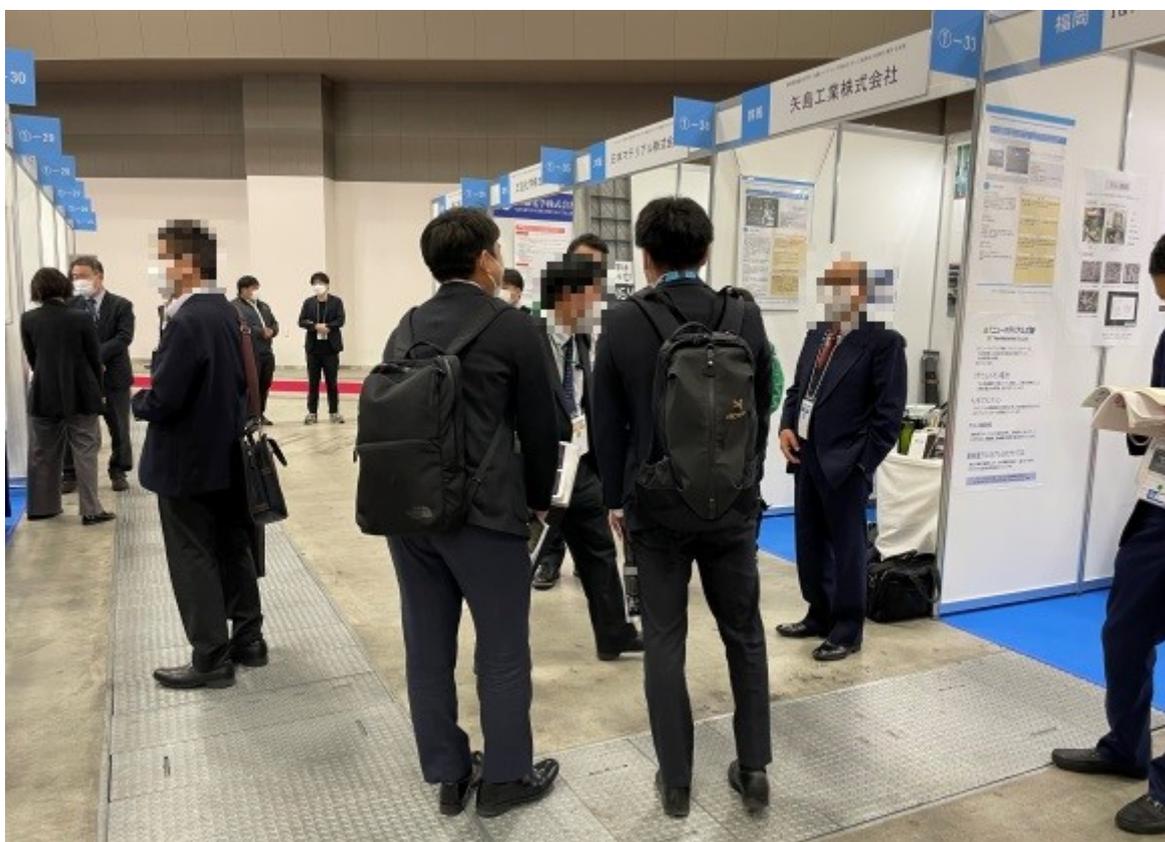
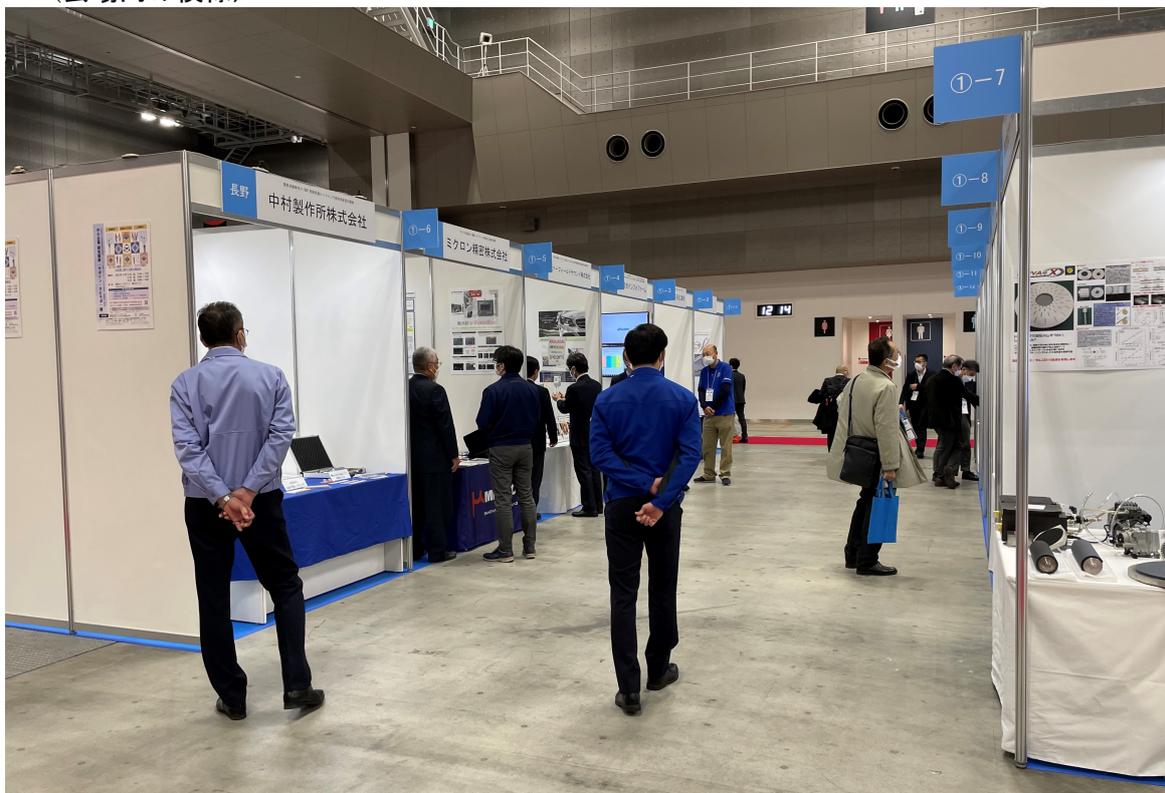
（入場受付）



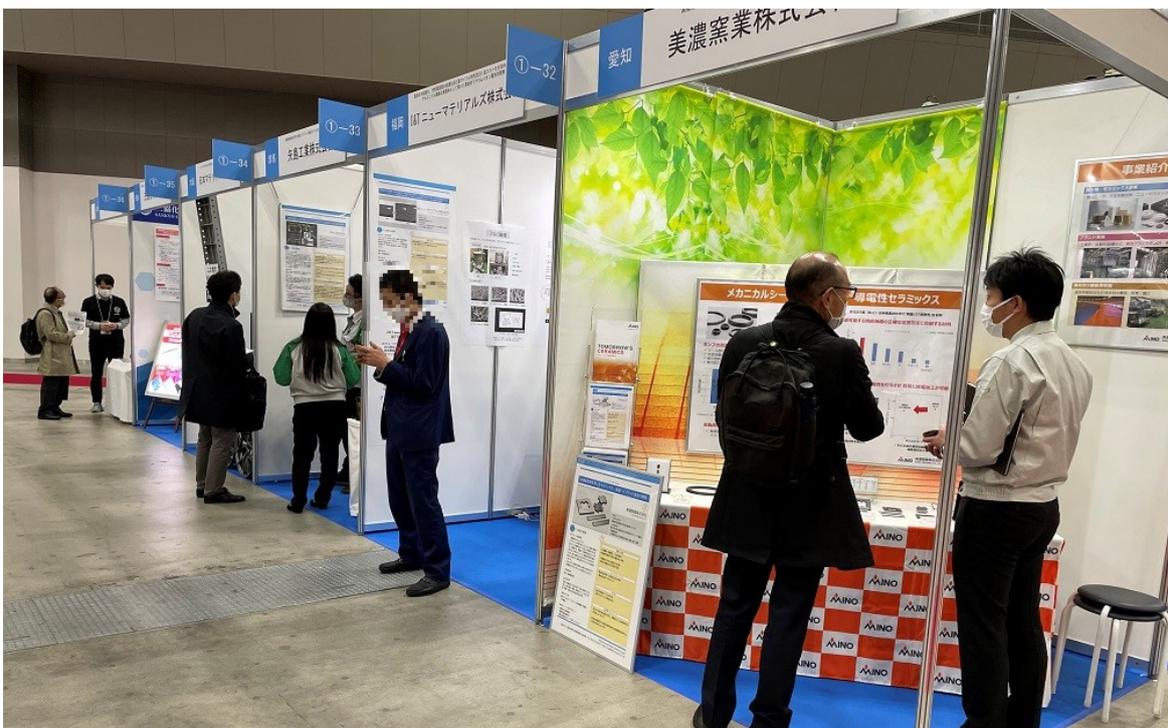
（総合案内・相談受付）



(会場内の模様)



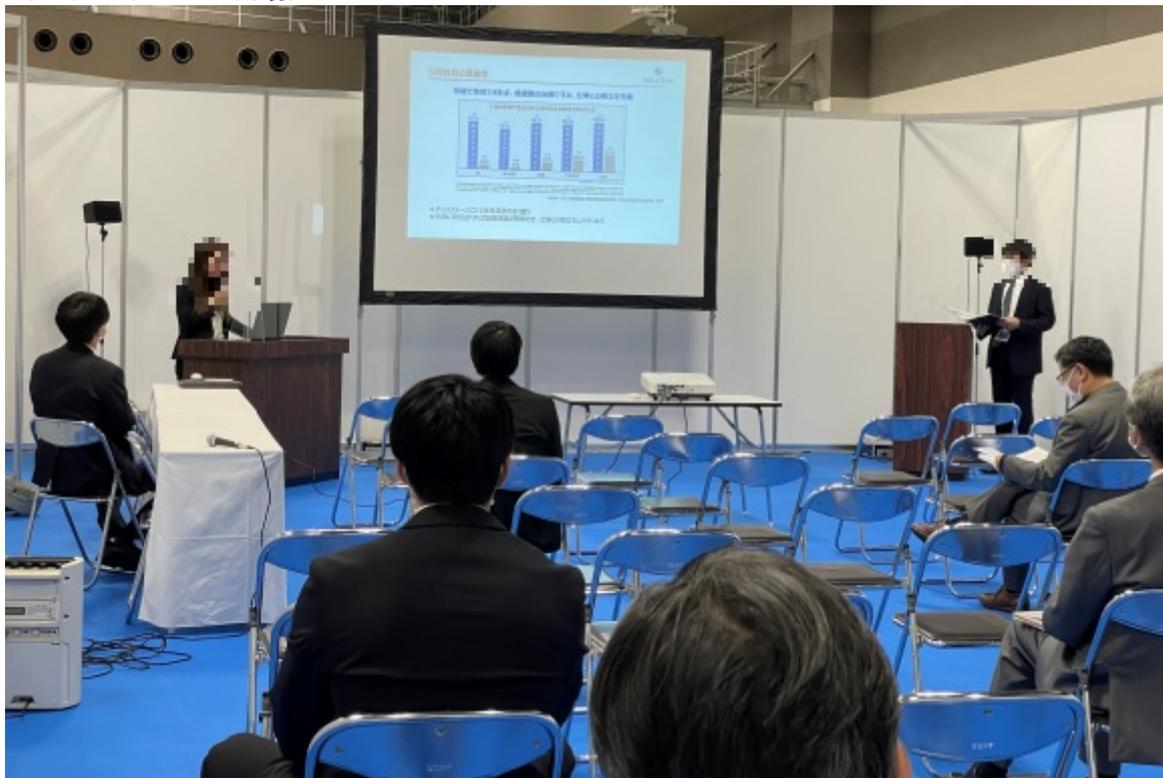
(リアル展示ブース)



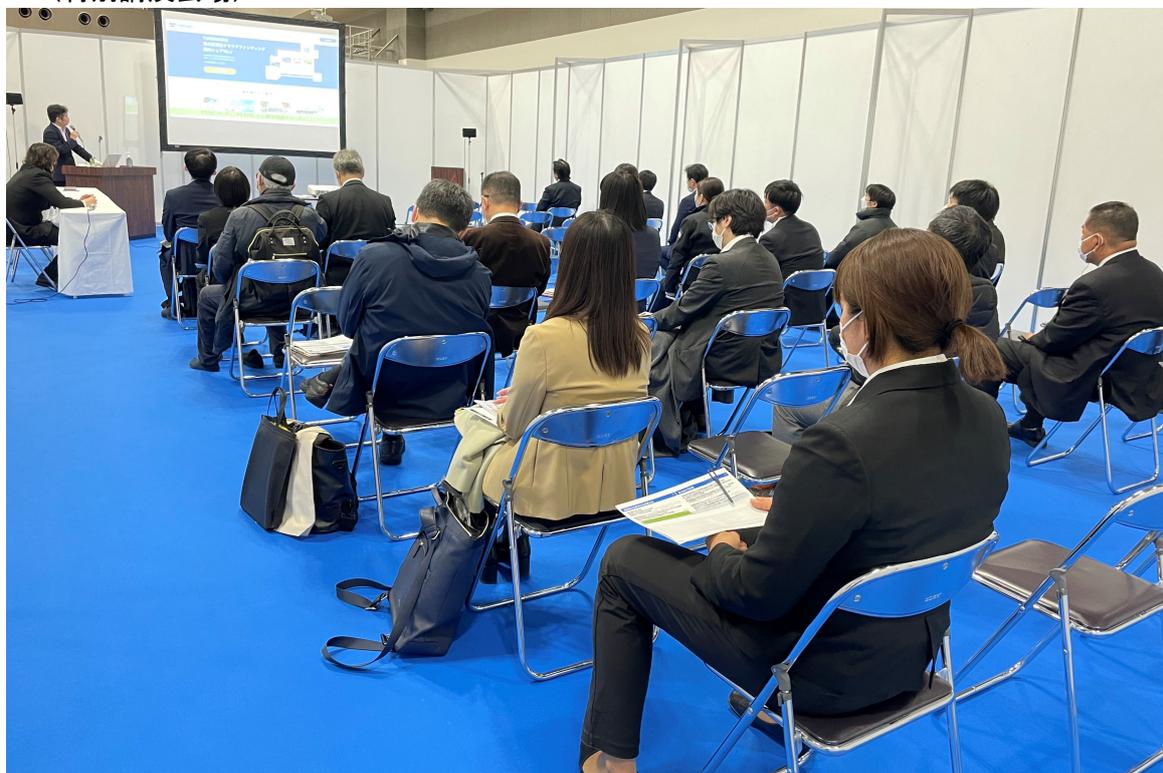
(商談の様子)



(ピッチイベント会場)



(特別講演会場)



以上